

平成26年度
多摩区区民意識アンケート調査
報告書



平成27年3月

 川崎市多摩区

目 次

I. 調査概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 主要な調査項目	3
4 回収状況	3
5 図表の見方	3
6 数の表現	4
7 標本誤差	4
II. 調査回答者の属性	5
1 問24 性別	7
2 問25 年齢	7
3 問26 職業	7
4 問26-1 業種・職務	8
5 問27 通勤先／通学先	8
6 問28 居住地	9
7 問29 住居形態	9
8 問30 世帯人数	10
9 問30 同居家族	10
10 問31 子どもの年代	11
11 問32 最寄り駅までの交通手段	11
12 問33 居住年数	11
13 問34 区の知らせや情報の入手手段	12
III. 調査結果	13
1 多摩区の長所・魅力	15
2 住みやすさ	17
3 定住意向	19
4 区外転居意向の理由	21
5 多摩区の生活環境	23
6 市政についてよくやっていると思うもの	36
7 市政について今後特に力を入れてほしいもの	38
8 市の施策や事業の総合満足度	40
9 地域活動の状況	42
10 行っている地域活動の分野	45

1 1	地域活動を行っていない理由	47
1 2	地域活動への取り組み意向	49
1 3	町内会・自治会への加入状況	51
1 4	町内会・自治会に加入していない理由	54
1 5	区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの	56
1 6	今後の地域活動への参加意向	58
1 7	子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの	60
1 8	災害発生への取り組み経験	63
1 9	災害発生への備えとして取り組んだこと	65
2 0	犯罪に関して特に気になっている問題	68
2 1	交通安全に関して特に気になっている問題	71
2 2	参加したことがある／知っている地域イベント	74
2 3	参加した（知っている）地域イベントの情報源	78
2 4	スポーツの取り組み状況	81
2 5	行っているスポーツ	83
2 6	地域の健康づくり活動への参加経験	85
2 7	認知症サポーター養成講座の受講経験	87
2 8	3大学関連イベントへの参加経験	89
2 9	参加している（知っている）3大学関連イベント	91
3 0	今後10年程度で目指すべきまちのイメージ	94
3 1	新たな総合計画で力を入れるべき施策	97
IV.	調査票	103

I. 調査概要

I. 調 査 概 要

1. 調査の目的

区民が日ごろ多摩区について感じていることや、区民の地域活動に関する意識、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識、さらには、新たな総合計画の策定を視野に入れた10年後の多摩区のイメージなどを調査することで、多摩区役所が区民に身近な総合行政機関として、地域の問題解決や、地域の魅力を活かした取組を効果的に推進していくための参考とすることを目的とした。

2. 調査の方法

- (1) 調査の対象者 …… 多摩区在住の18歳以上の男女個人（外国人を含む）
- (2) 標本数 …… 2,000 サンプル
- (3) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 …… 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- (5) 調査期間 …… 平成26年10月1日（水）～10月31日（金）
- (6) 調査委託機関 …… 株式会社 総合企画

3. 主要な調査項目

- (1) 生活環境の満足度について
- (2) 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて
- (3) 区役所が推進する主な取組について
- (4) 10年後の多摩区のイメージについて

4. 回収状況

- (1) 標 本 数 : 2,000 票
- (2) 無 効 回 答 数 : 1 票
- (3) 有 効 回 答 数 : 819 票
- (4) 有 効 回 収 率 : 40.9%

5. 図表の見方

- (1) 表中のnは回答者総数のことである。いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。
- (2) 百分比はNを100%として算出し、図表中では原則として単純集計については小数第2位を四捨五入して第1位まで、その他のクロス集計については小数第1位を四捨五入して整数としたものを使用した。このため、百分比の合計が100%に満たない、又は上回る場合がある。

6. 数の表現

N＝調査対象者数

n＝各質問ごとの回答者数

7. 標本誤差

(1) 各項目のはじめに質問項目と共に示してある単純集計のnは、回答者数のことである。質問に対する回答は、1つの場合や2つ以上、いくつでもよい場合(複数回答)などがあるが、複数回答の場合、合計比は100%を超えることがある。

(2) 百分比はnを100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した(経年推移では、小数第1位を四捨五入して整数で表示)。図表中の「0」または「0.0」は四捨五入の結果を示し、「－」は皆無の結果を示している。このため、百分比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。また、2つ以上の選択肢の合計値が、グラフと文中との間で誤差が生じる場合もある。

(3) 標本誤差

この調査の標本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b＝標本誤差(単純無作為抽出の場合)

N＝母集団数

n＝比率算出の基数(サンプル数)

P＝回答の比率

回答の比率 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
819	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.4	± 3.5
722	± 2.2	± 3.0	± 3.4	± 3.6	± 3.7
651	± 2.4	± 3.1	± 3.6	± 3.8	± 3.9
514	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.3	± 4.4
473	± 2.8	± 3.7	± 4.2	± 4.5	± 4.6
340	± 3.3	± 4.3	± 5.0	± 5.3	± 5.4
242	± 3.9	± 5.1	± 5.9	± 6.3	± 6.4
104	± 5.9	± 7.8	± 9.0	± 9.6	± 9.8

注) 1. 上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出した。

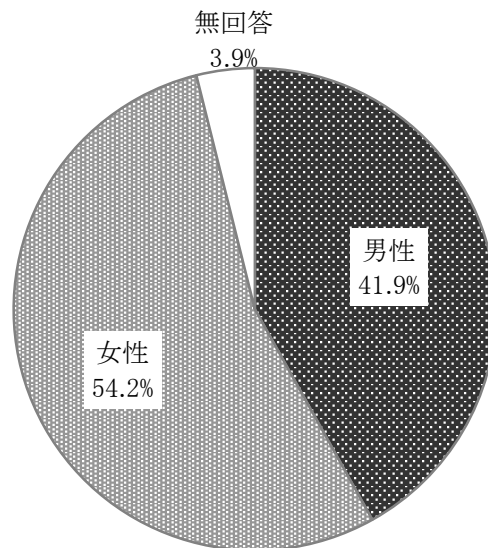
2. この表は、ある設問の回答者数が819人でありその設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.4%以内ということを表わす。

Ⅱ. 調査回答者の属性

Ⅱ. 調査回答者の属性

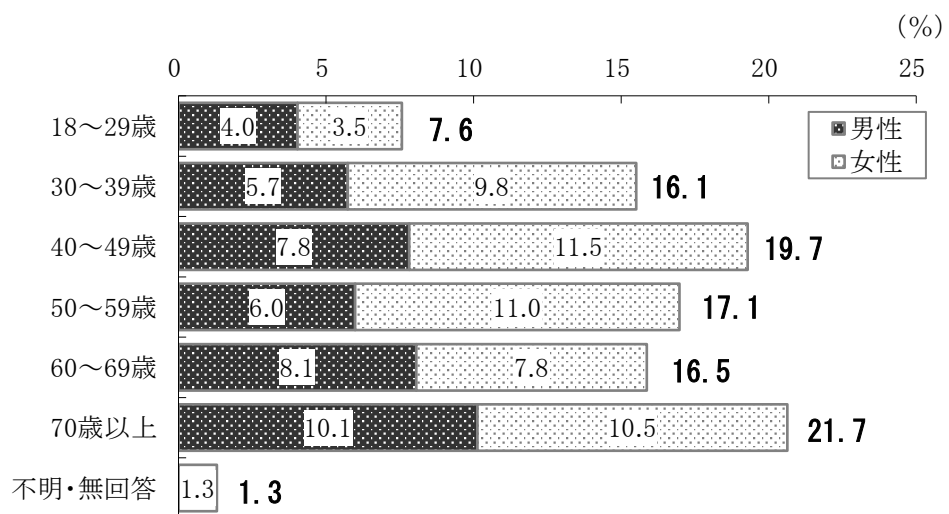
問24 性別

(N=819)



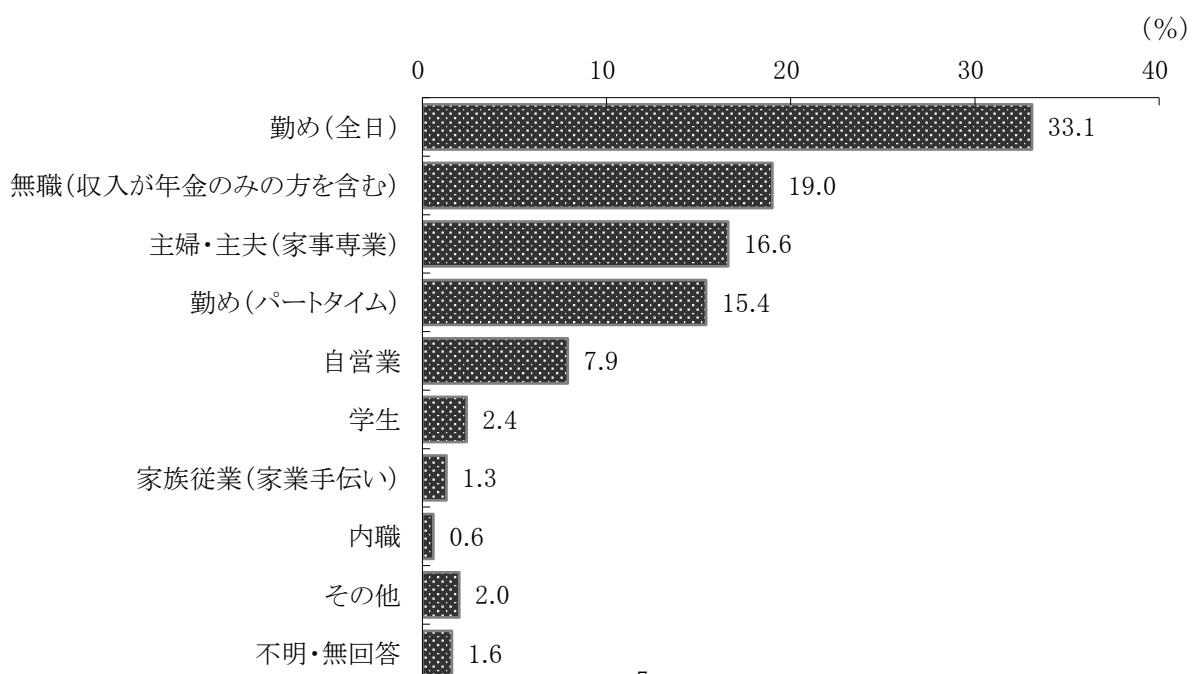
問25 年齢

(N=819)



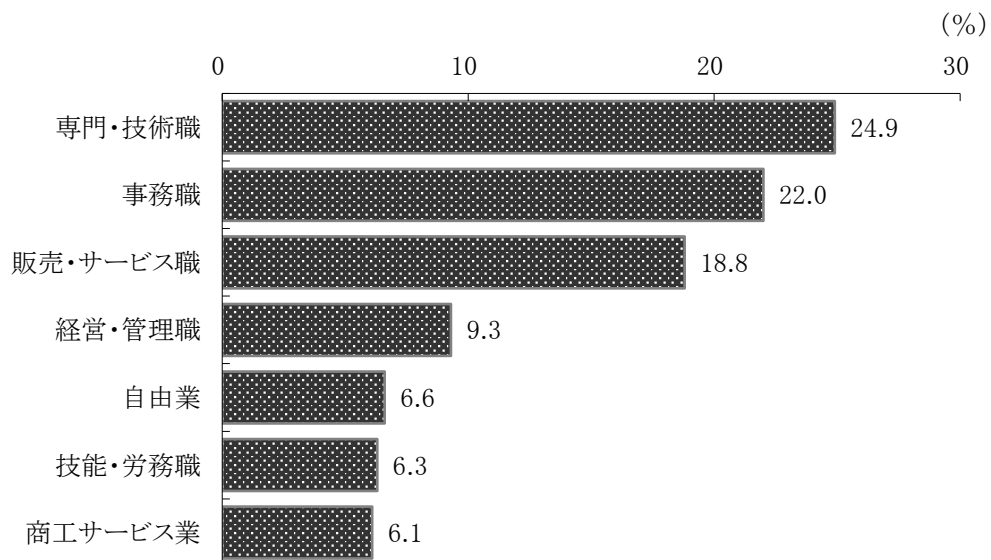
問26 職業

(N=819)



問26-1 業種・職務

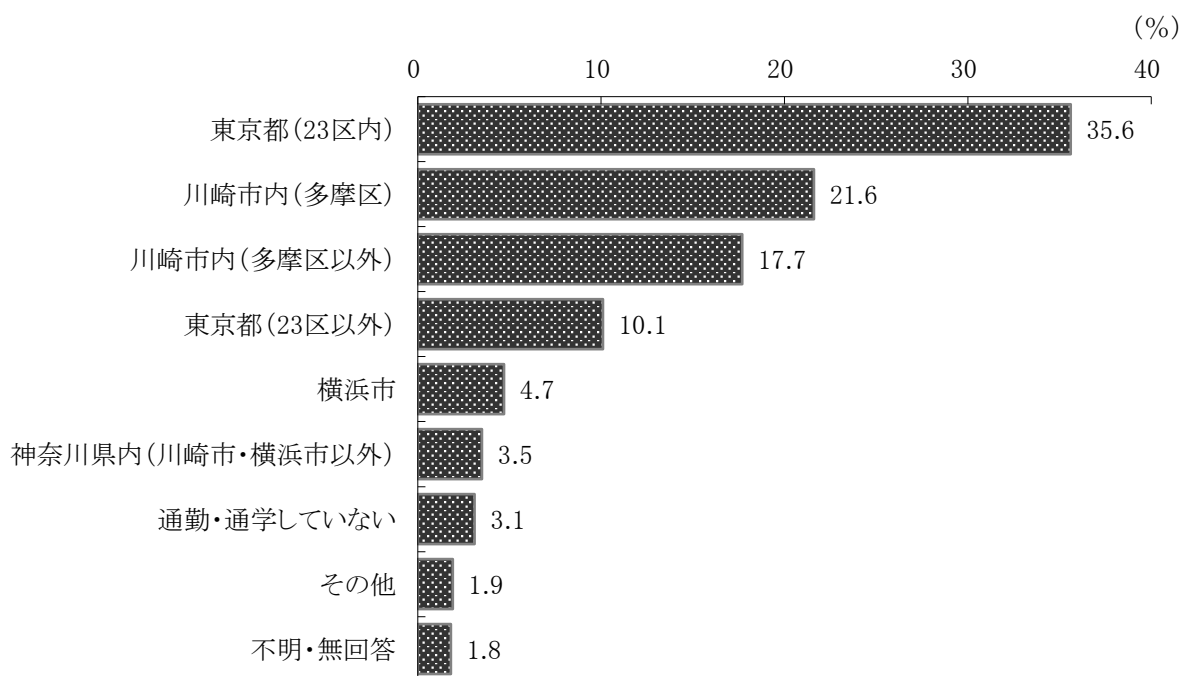
(N=473)



※ 問26で「1. 自営業」、「2. 家族従業（家業手伝い）」、「3. 勤め（全日）」、「4. 勤め（パートタイム）」と選択した人のみ回答。

問27 通勤先／通学先

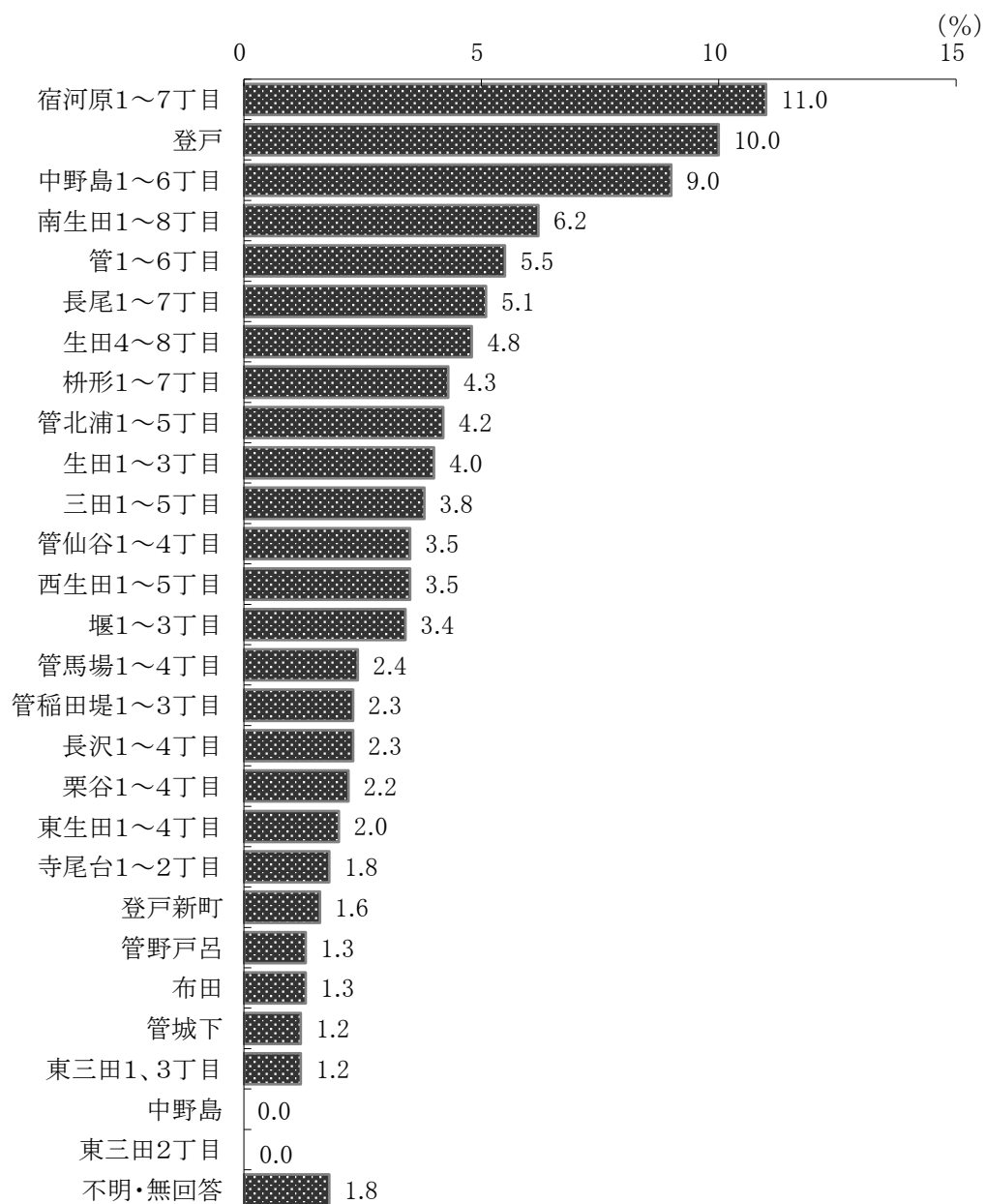
(N=514)



※ 問26で「6. 主婦・主夫（家業専業）」、「8. 無職（収入が年金のみの方を含む）」、「不明・無回答」であった人を除いて集計。

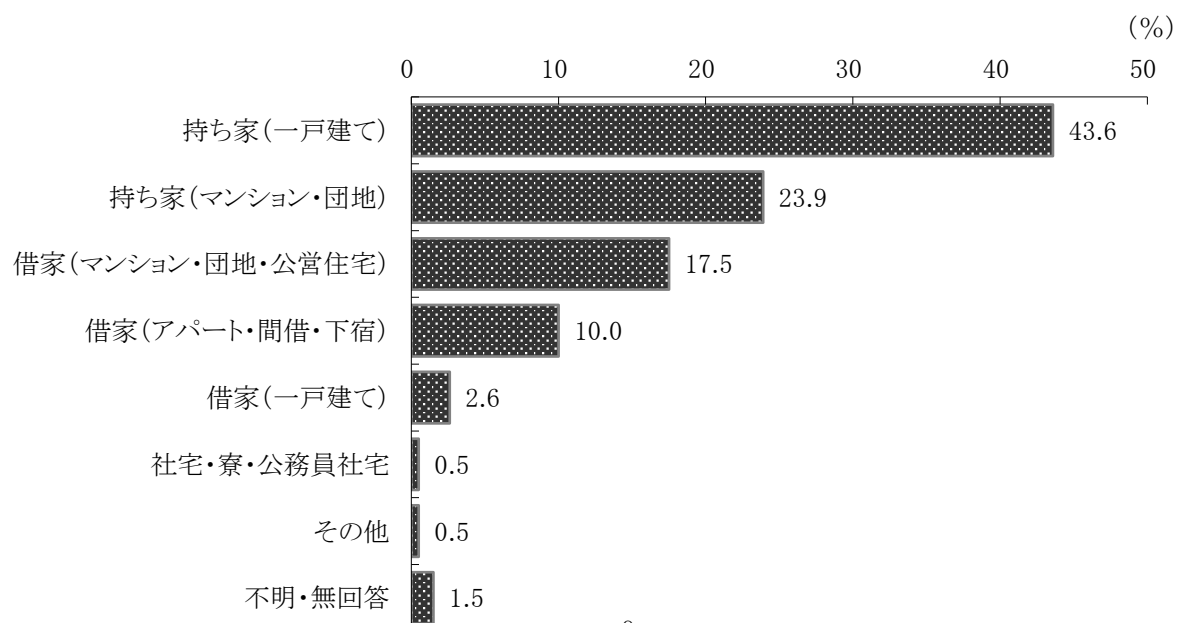
問28 居住地

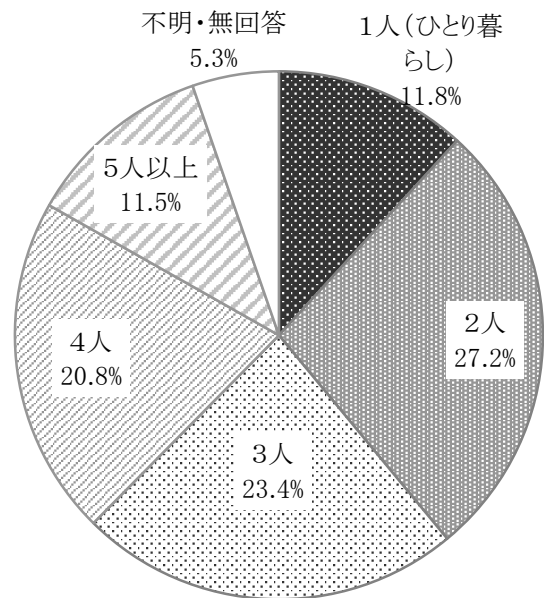
(N=819)



問29 住居形態

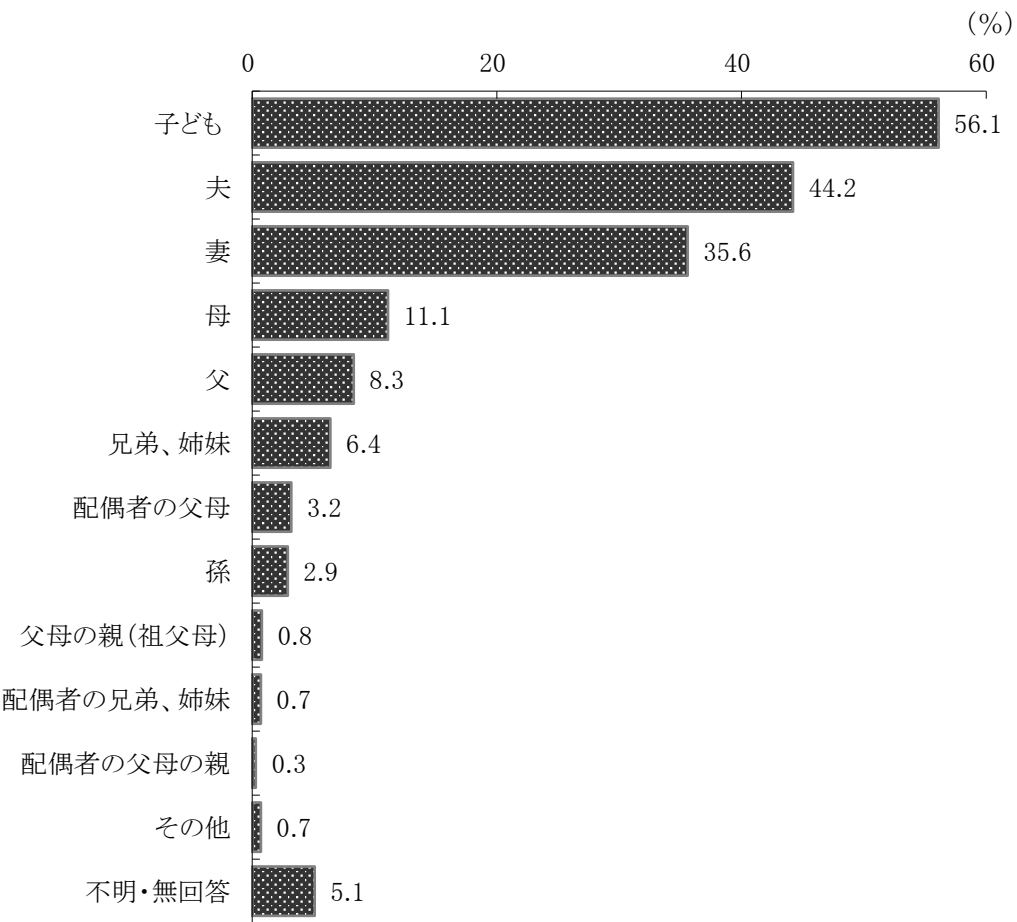
(N=819)





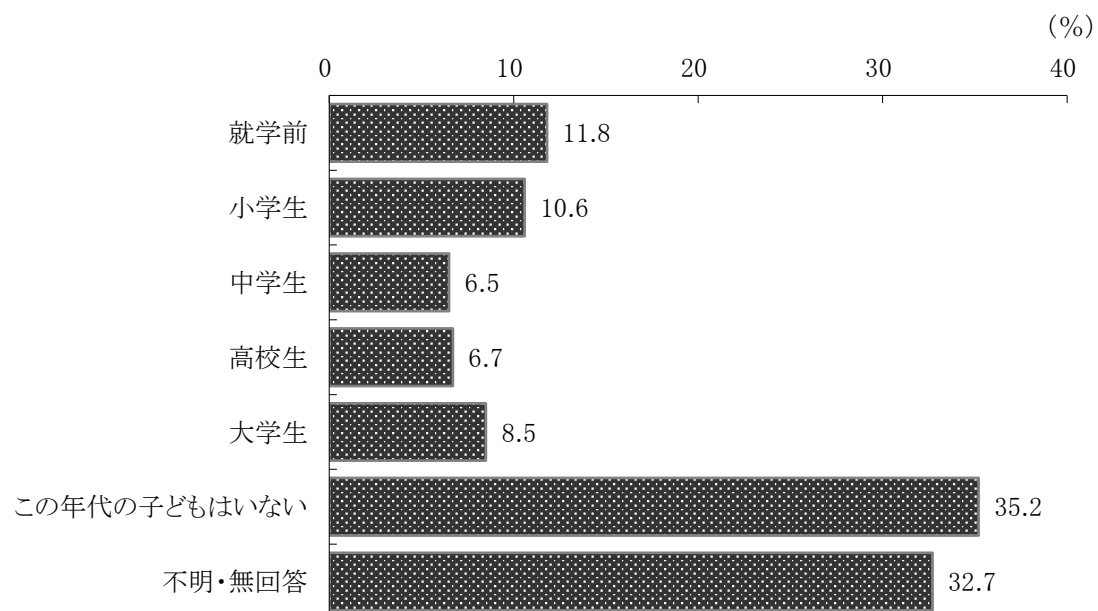
同居家族

(N=819)



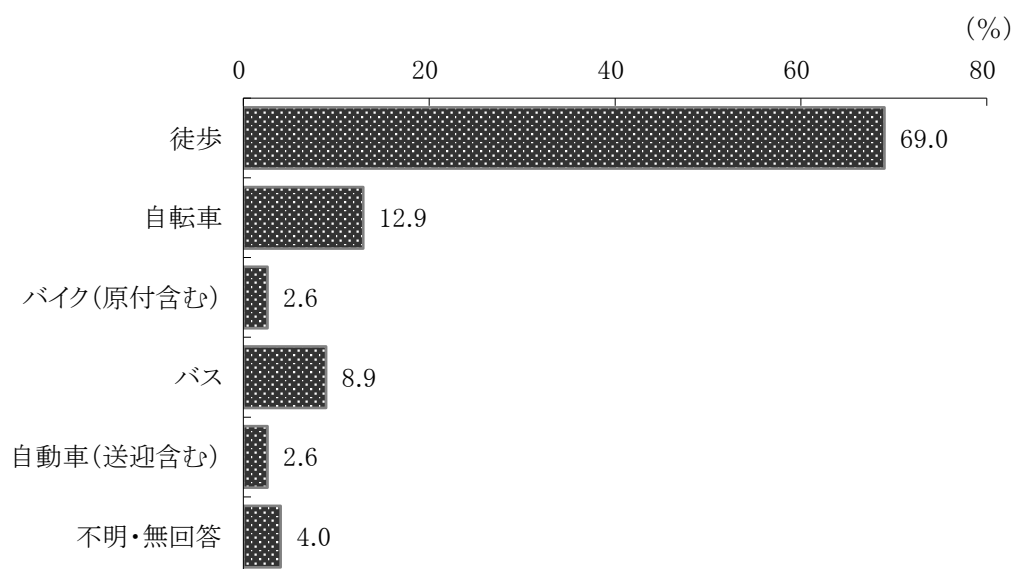
問31 子どもの年代

(N=819)



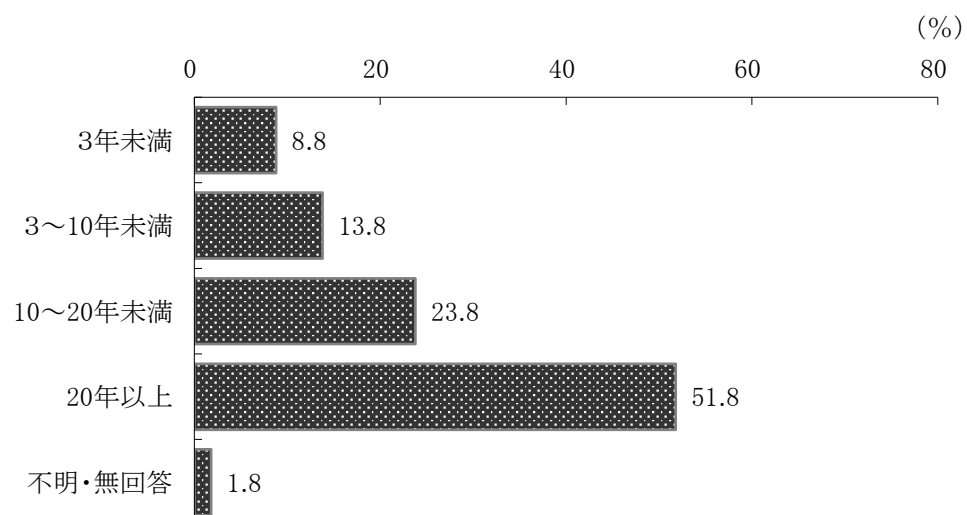
問32 最寄り駅までの交通手段

(N=819)



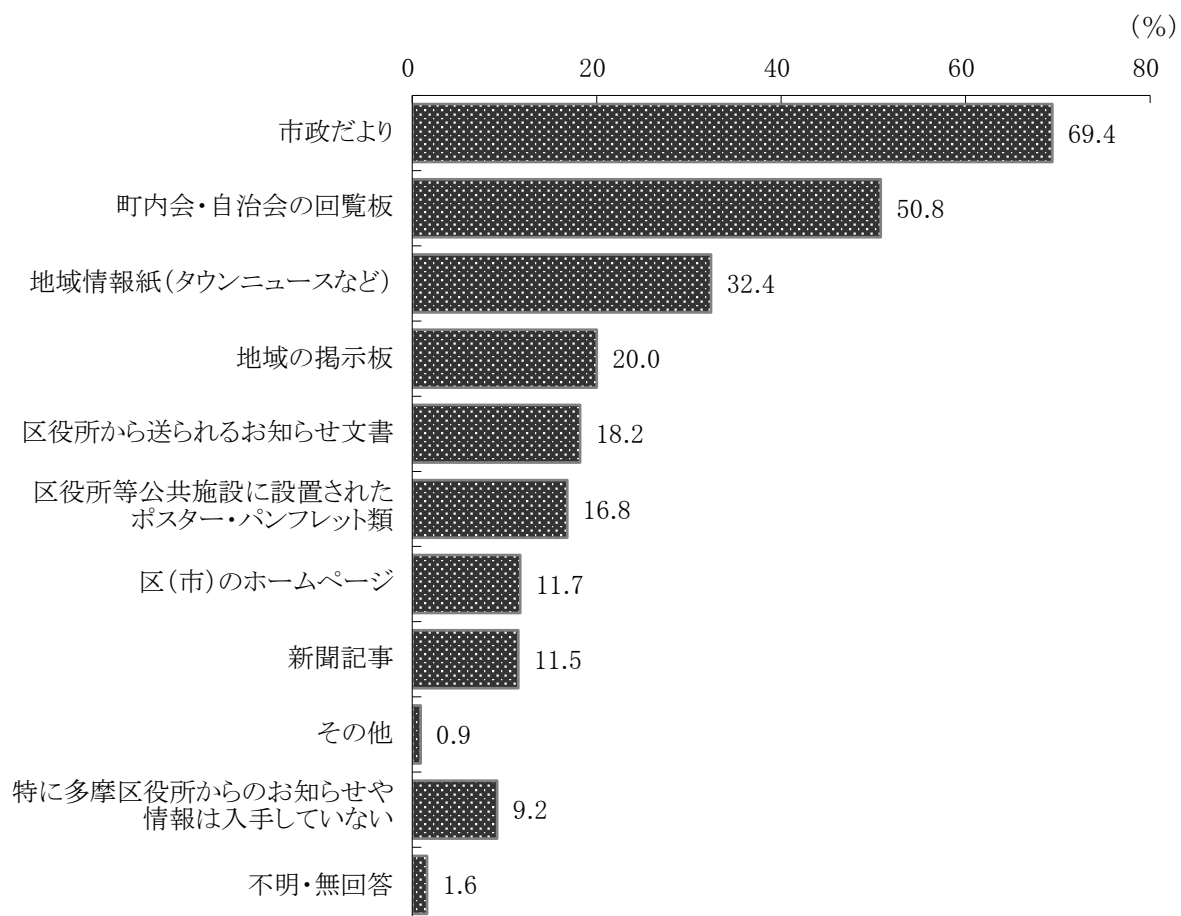
問33 居住年数

(N=819)



問34 区の知らせや情報の入手手段

(N=819)



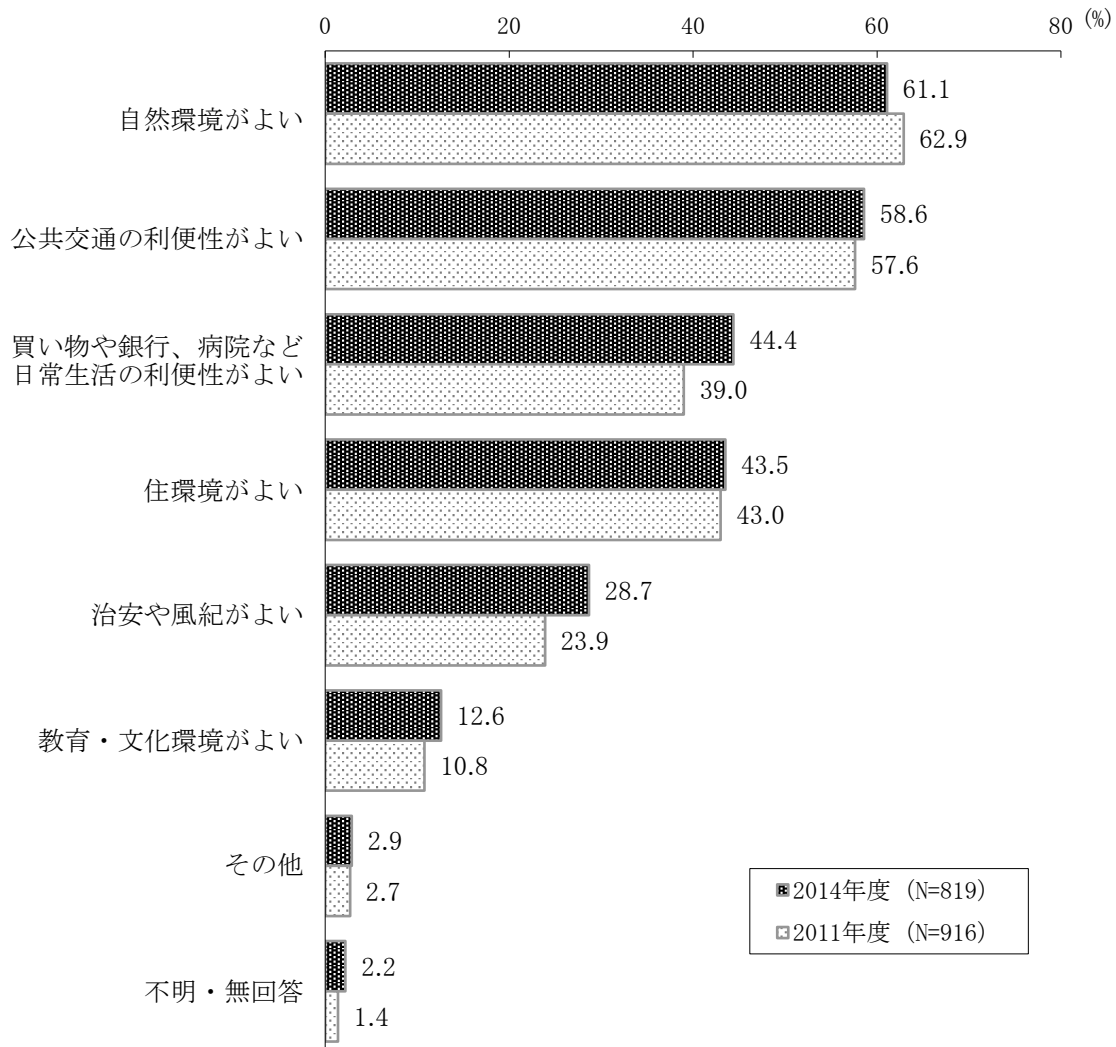
III. 調查結果

Ⅲ 調査結果

1. 多摩区の長所・魅力

問1 あなたが多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。（いくつでも○）

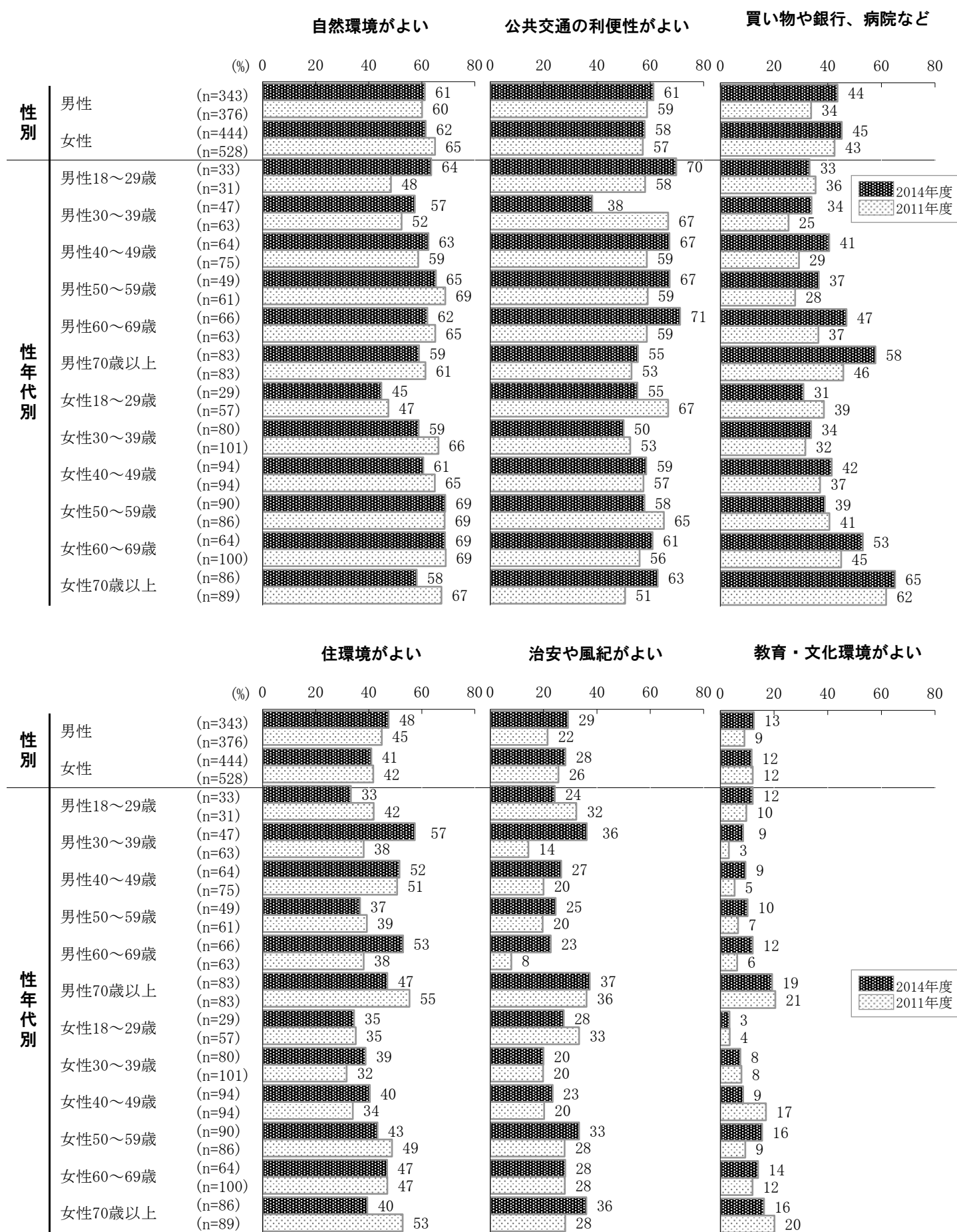
図 1－1 多摩区の長所・魅力



「多摩区の長所・魅力」について聞いたところ、「自然環境がよい」（61.1%）が最も高い結果となり、次いで「公共交通の利便性がよい」（58.6%）と上位2項目が50%を超える高い結果となった。

2011年度も「自然環境がよい」「公共交通の利便性がよい」が上位2項目となっており、ほぼ同じ傾向となった。

図 1－2 多摩区の長所・魅力（性別・性年代別）

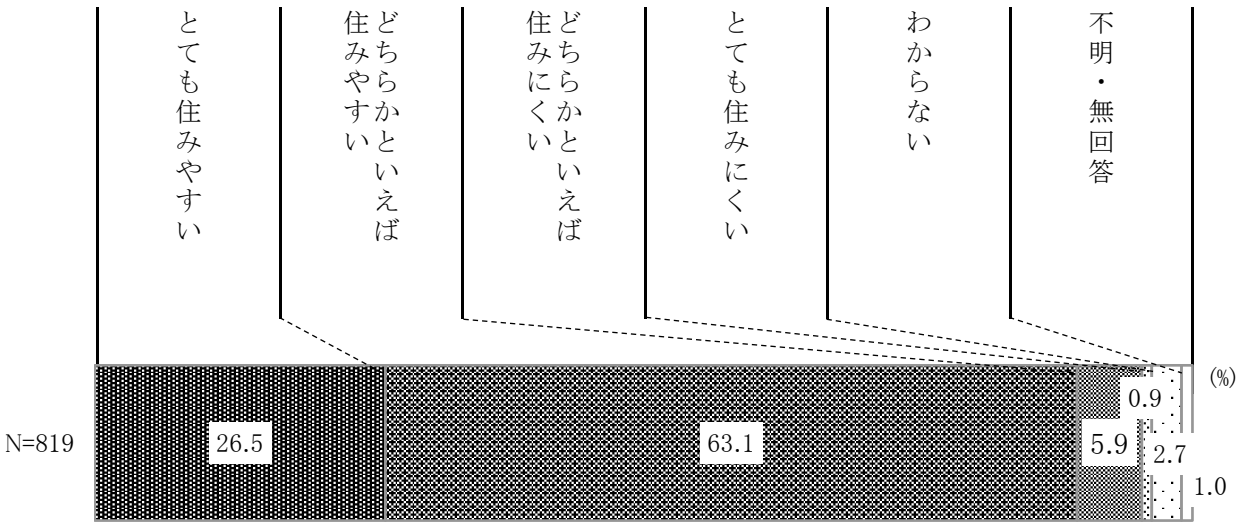


性別による各項目の大きな差は見られなかったが、性年代別では「買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい」では、男女ともに70歳以上が高い結果となった。

2. 住みやすさ

問2 あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。（○は1つだけ）

図 2-1 住みやすさ



《2011年度実施時：参考値》

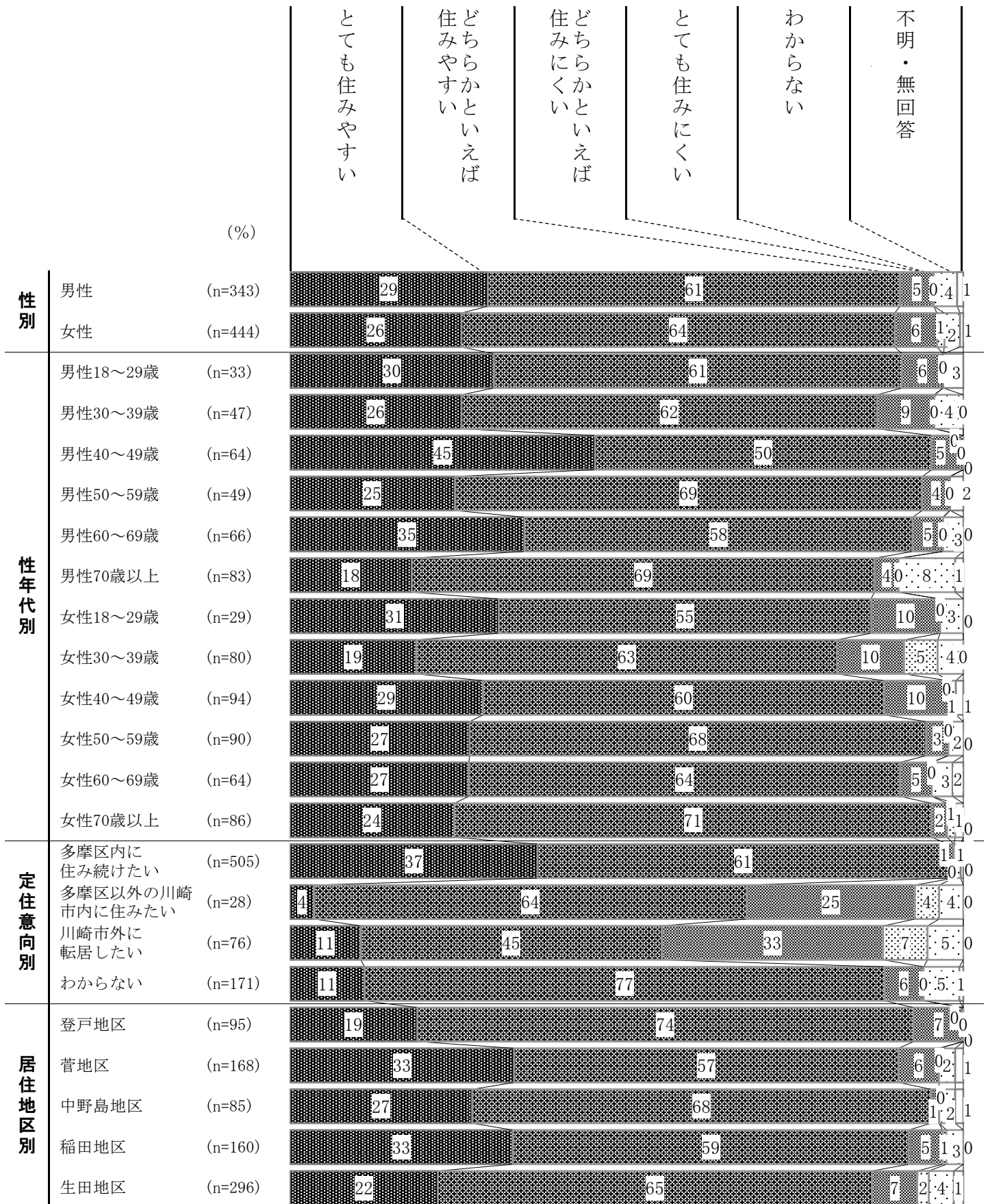
非常に住みやすい	23.6%		
どちらかといえば住みやすい	67.9%	住みやすい計	91.5%
どちらかといえば住みにくい	6.2%		
非常に住みにくい	1.1%	住みにくい計	7.3%
その他	0.7%		
不明・無回答	0.5%		

（回答選択肢を変更したため参考値扱いとした。）

「住みやすさ」について聞いたところ、「どちらかといえば住みやすい」（63.1%）、「とても住みやすい」（26.5%）の順となり、「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』（89.6%）が高い結果となった。

2011年度との比較では、『住みやすい計』が（91.5%）とほぼ変わらない結果となった。

図 2-1 住みやすさ（性別・性年代別・定住意向別・居住地区別）

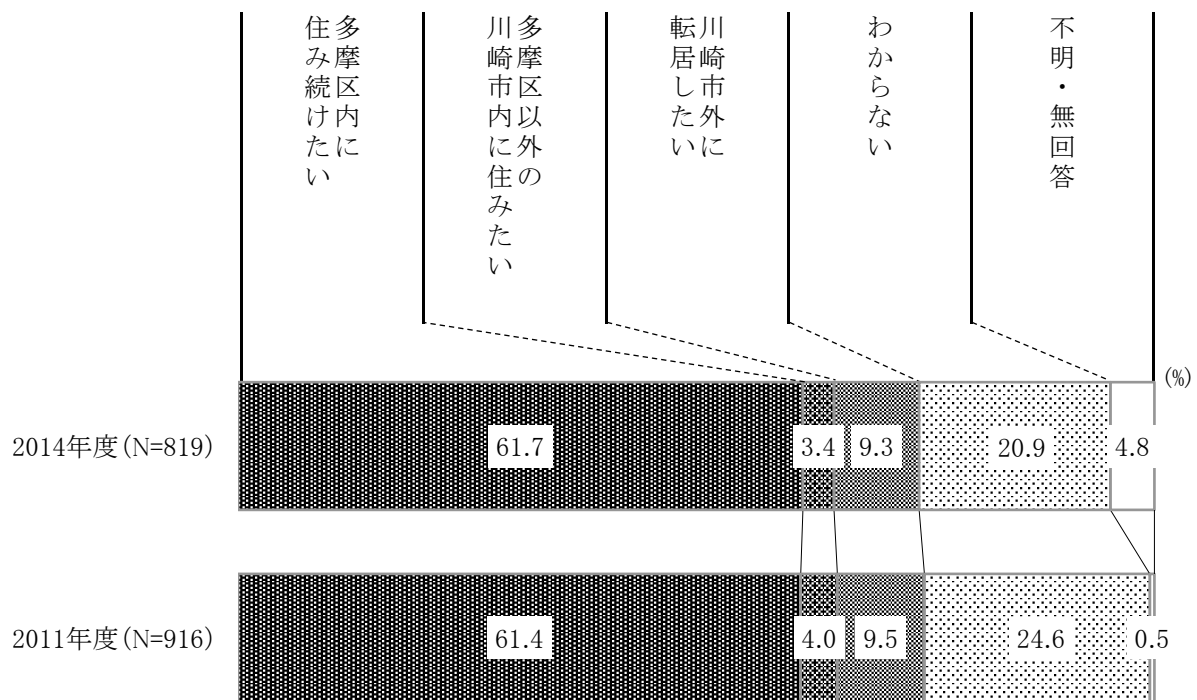


「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい計』では、性別、性年代別、定住意向別、居住地区別の全てで半数を超える高い結果となった。

3. 定住意向

問3 あなたは多摩区に住み続けたいと思いますか（○は1つだけ）

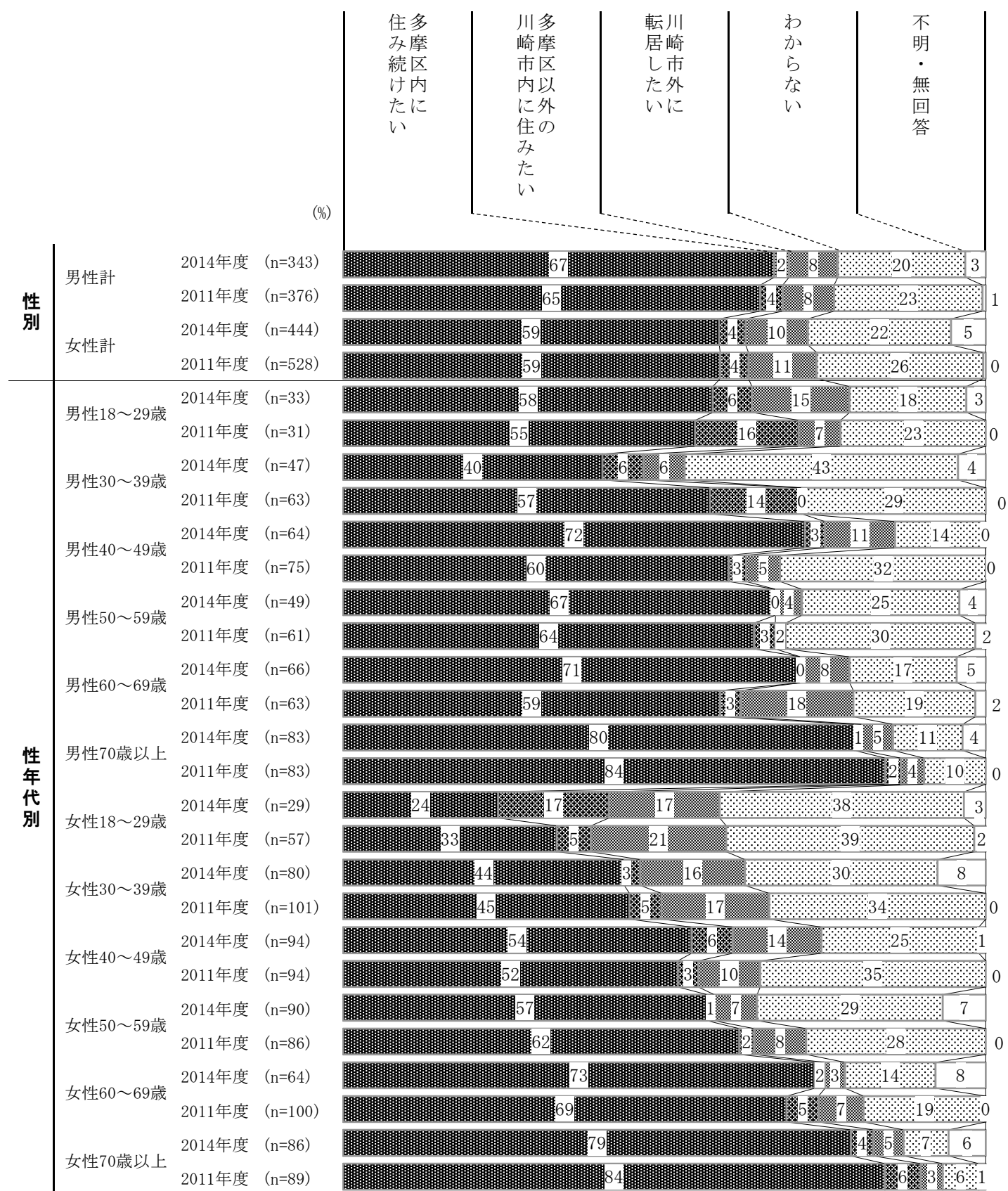
図3-1 定住意向



「定住意向」について聞いたところ、「多摩区内に住み続けたい」（61.7%）が最も高い結果となった。

2011年度も、「多摩区内に住み続けたい」（61.4%）が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

図 3-2 定住意向（性別・性年代別）

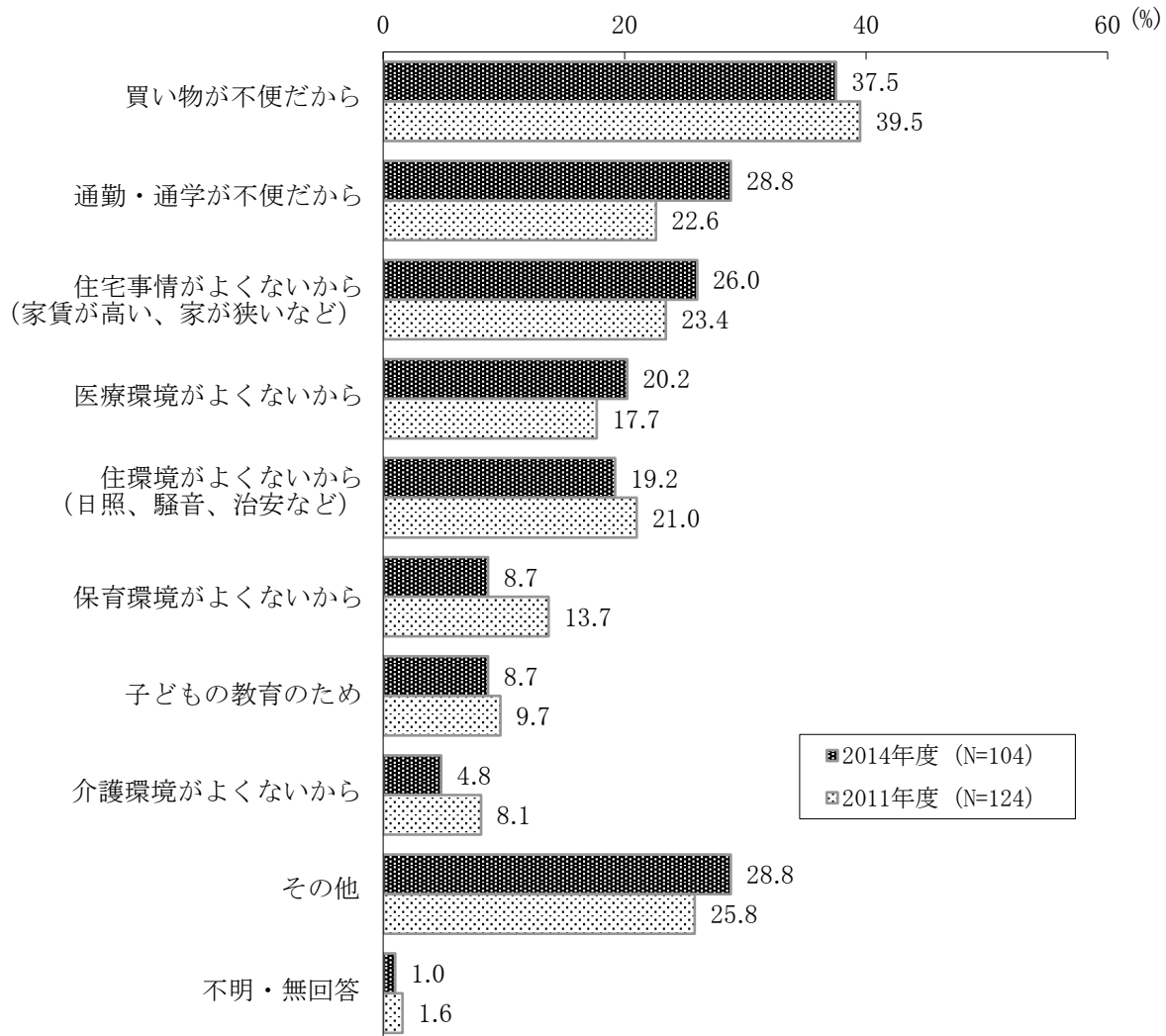


「定住意向」について性別で見たところ、2011年度と同様に女性より男性の方が、「多摩区内に住み続けたい」率が高い結果となった。性年代別では、男女ともに70歳以上の「多摩区内に住み続けたい」率が高いものの、女性においては、年代が下がるにつれて率が下がる傾向となっている。

4. 区外転居意向の理由

問3-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

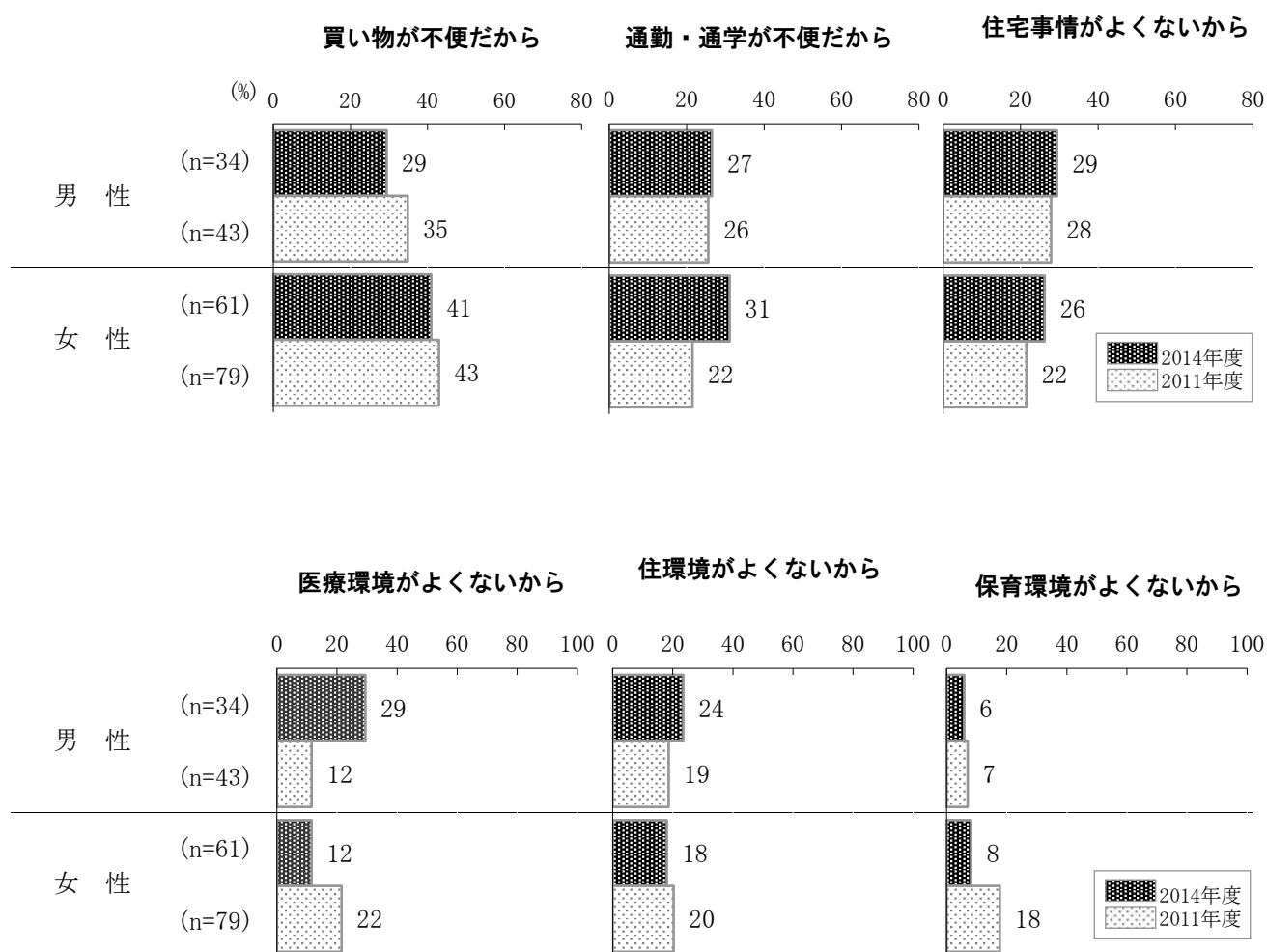
図4-1 区外転居意向の理由



(3) の定住意向で「多摩区以外の川崎市内に住みたい」、「川崎市外に転居したい」と回答した人に「区外転居意向の理由」について聞いたところ、「買い物が不便だから」(37.5%)が最も高く、次いで「通勤・通学が不便だから」(28.8%)、「住宅事情がよくないから(家賃が高い、家が狭いなど)」(26.0%)の順となり、上位3項目は2011年度と同じ結果となった。

その中で「通勤・通学が不便だから」は、2011年度と比較して6.2ポイント上昇する結果となった。

図 4－2 区外転居意向の理由（性別）＜上位6位＞



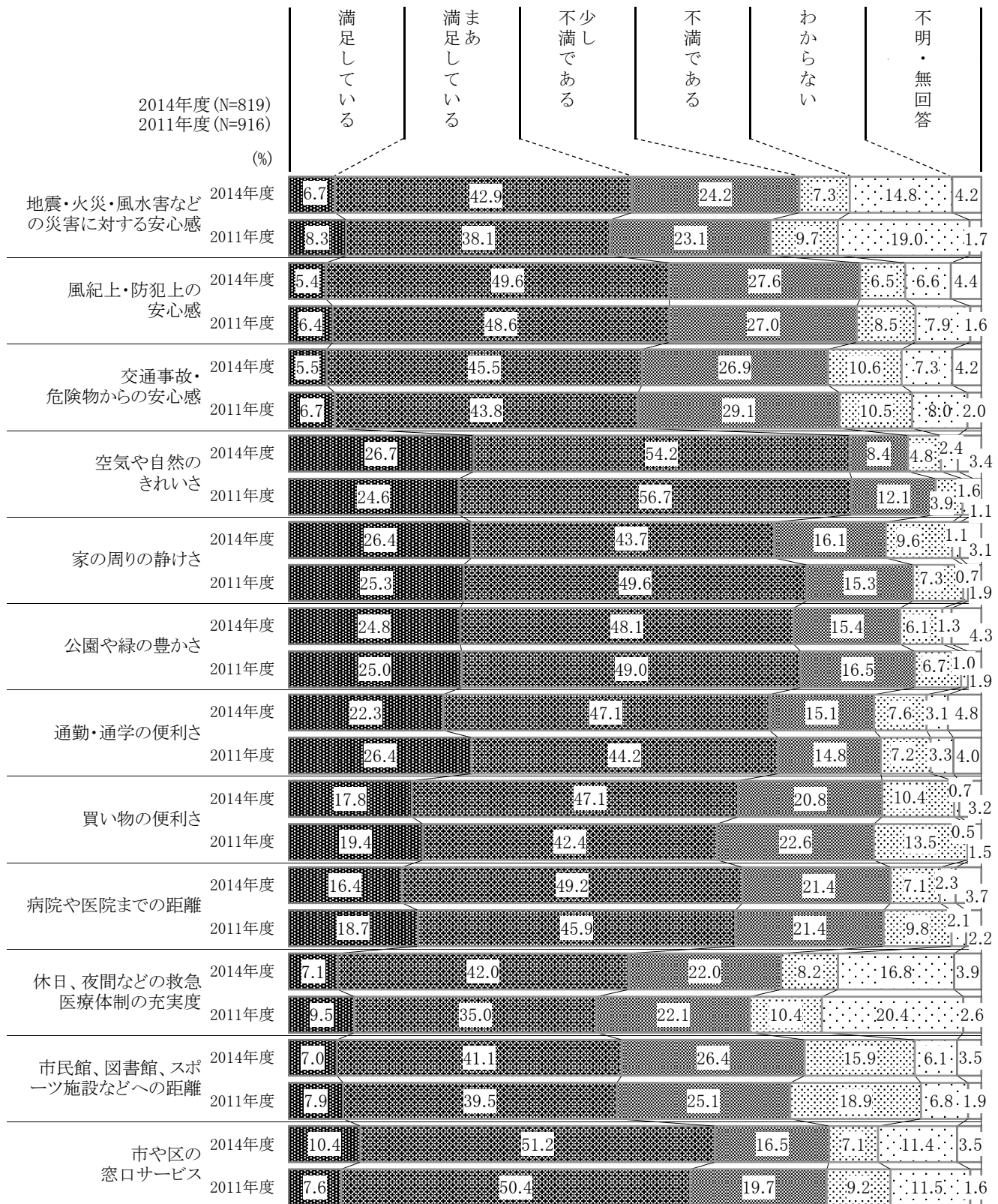
「区外転居意向の理由」について性別で見たところ、「買い物が不便だから」は男性よりも女性の方が高い結果となった。また2011年度と比較すると、男女ともに微減となった。

また「医療環境がよいから」では、2011年度と比較して男性が17ポイント上昇する結果となり、女性は10ポイント減少する結果となった。

5. 多摩区の生活環境

問4 多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。（○はそれぞれ1つずつ）

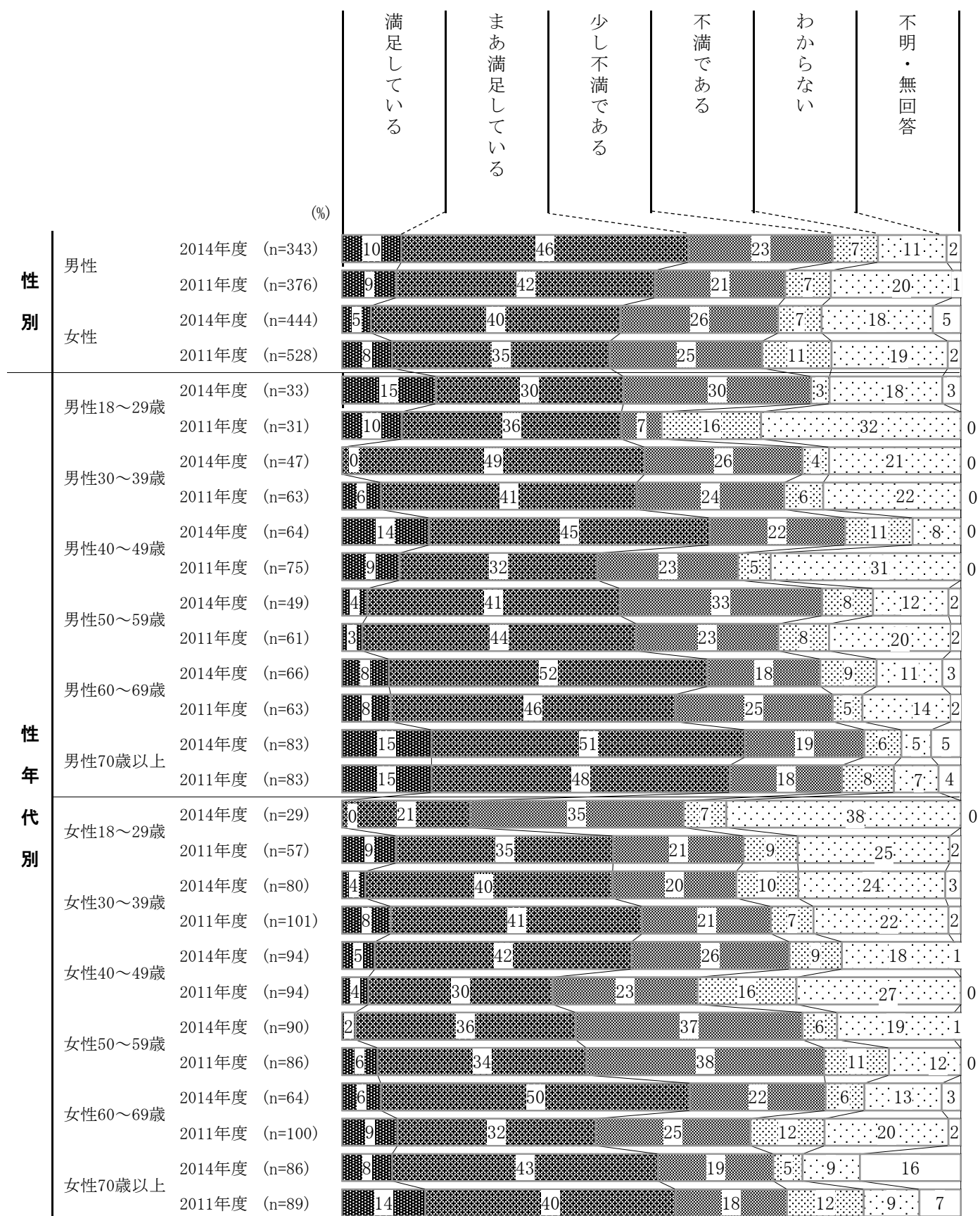
図 5-1 多摩区の生活環境



「多摩区の生活環境」について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、「空気や自然のきれいさ」（80.9%）が最も高く、2011年度と同じ結果となった。

図 5-2 生活環境についての満足度（性年代別）

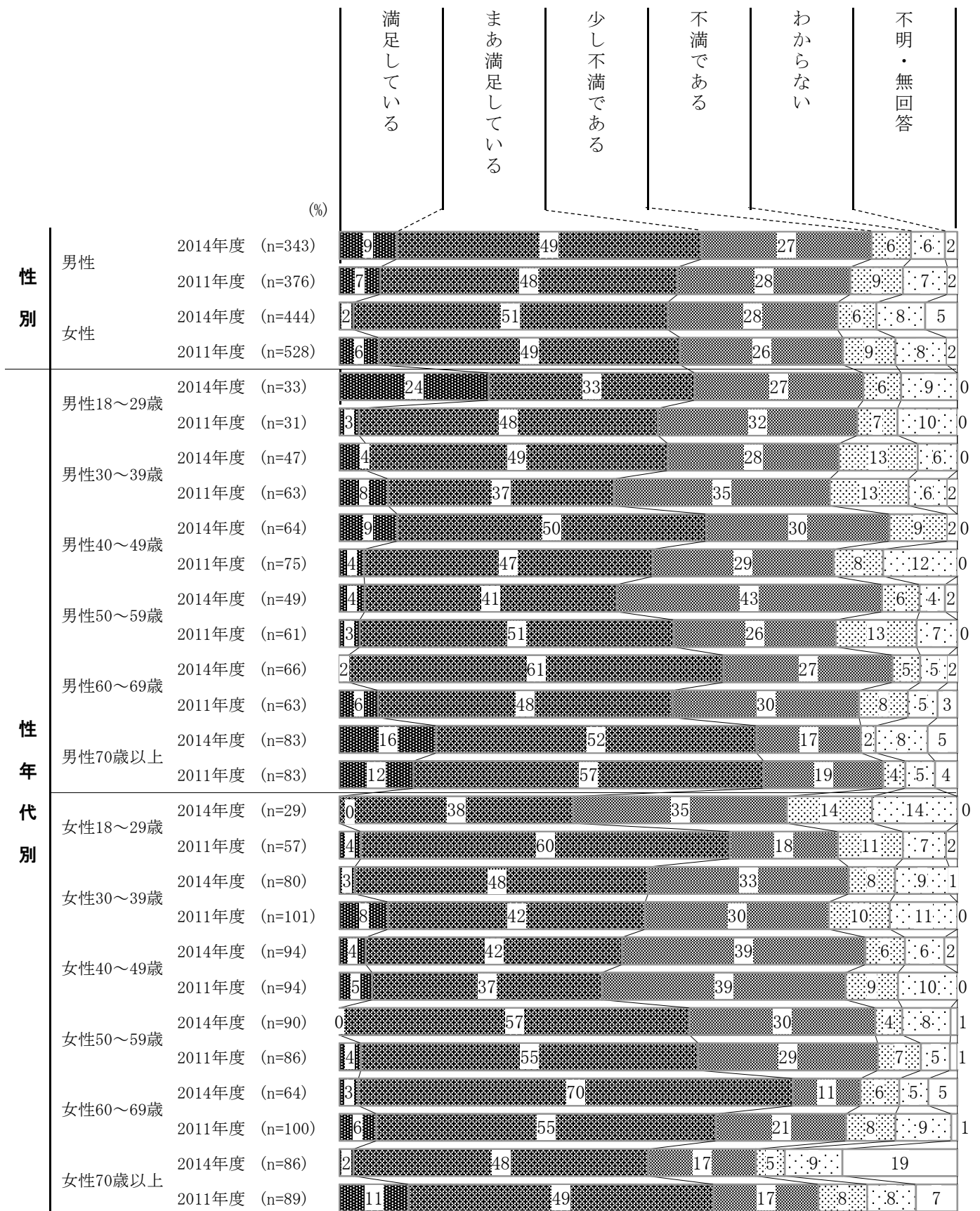
（ア）地震・火災・風水害などの災害に対する安心感



「地震・火災・風水害などの災害に対する安心感」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに2011年度より高い結果となった。

図 5-3 生活環境についての満足度（性年代別）

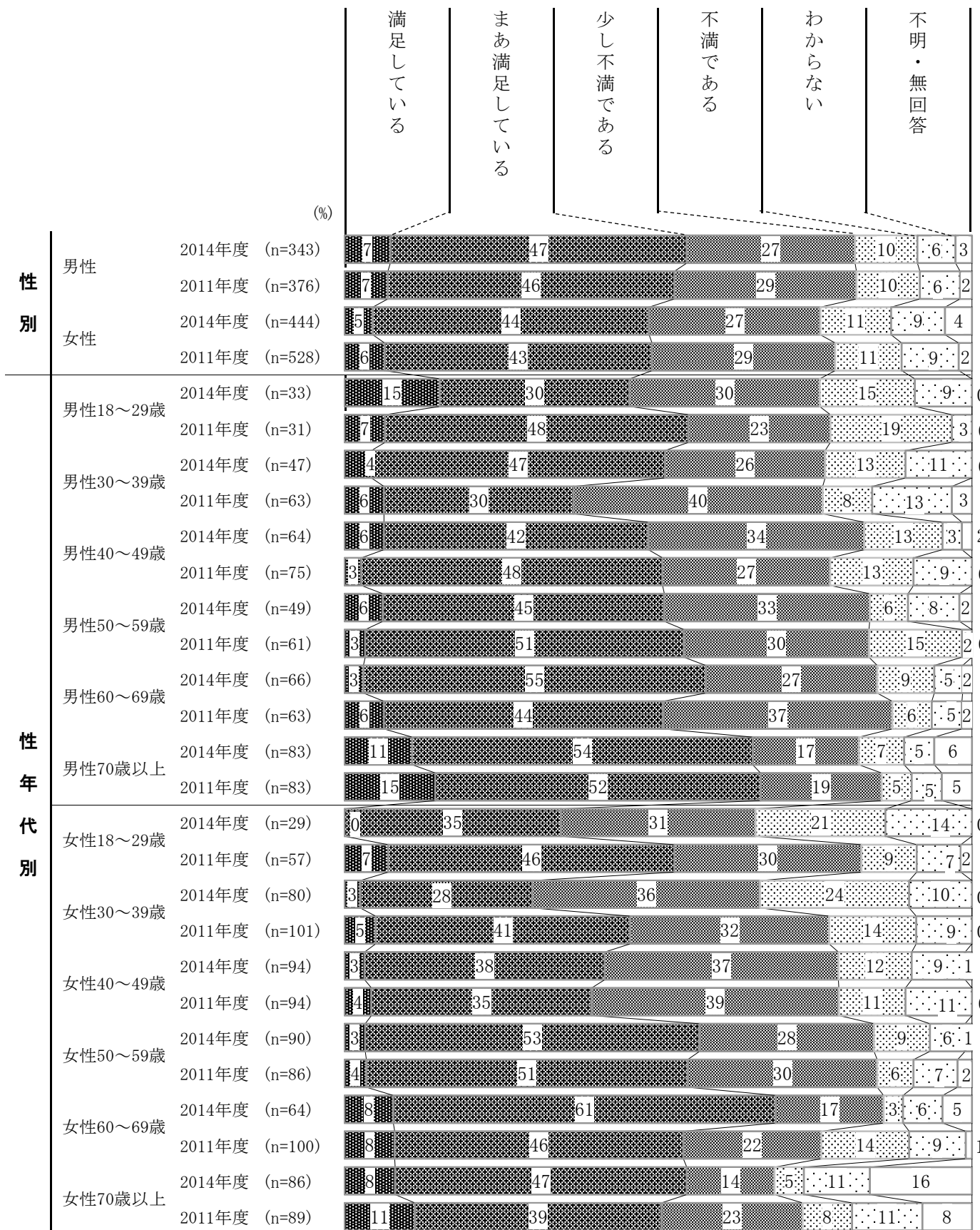
（イ）風紀上・防犯上の安心感



「風紀上・防犯上の安心感」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、2011年度に続き男性70歳以上で高い結果となった。また女性60～69歳で、2011年度より12ポイント高い結果となった。

図 5-4 生活環境についての満足度（性年代別）

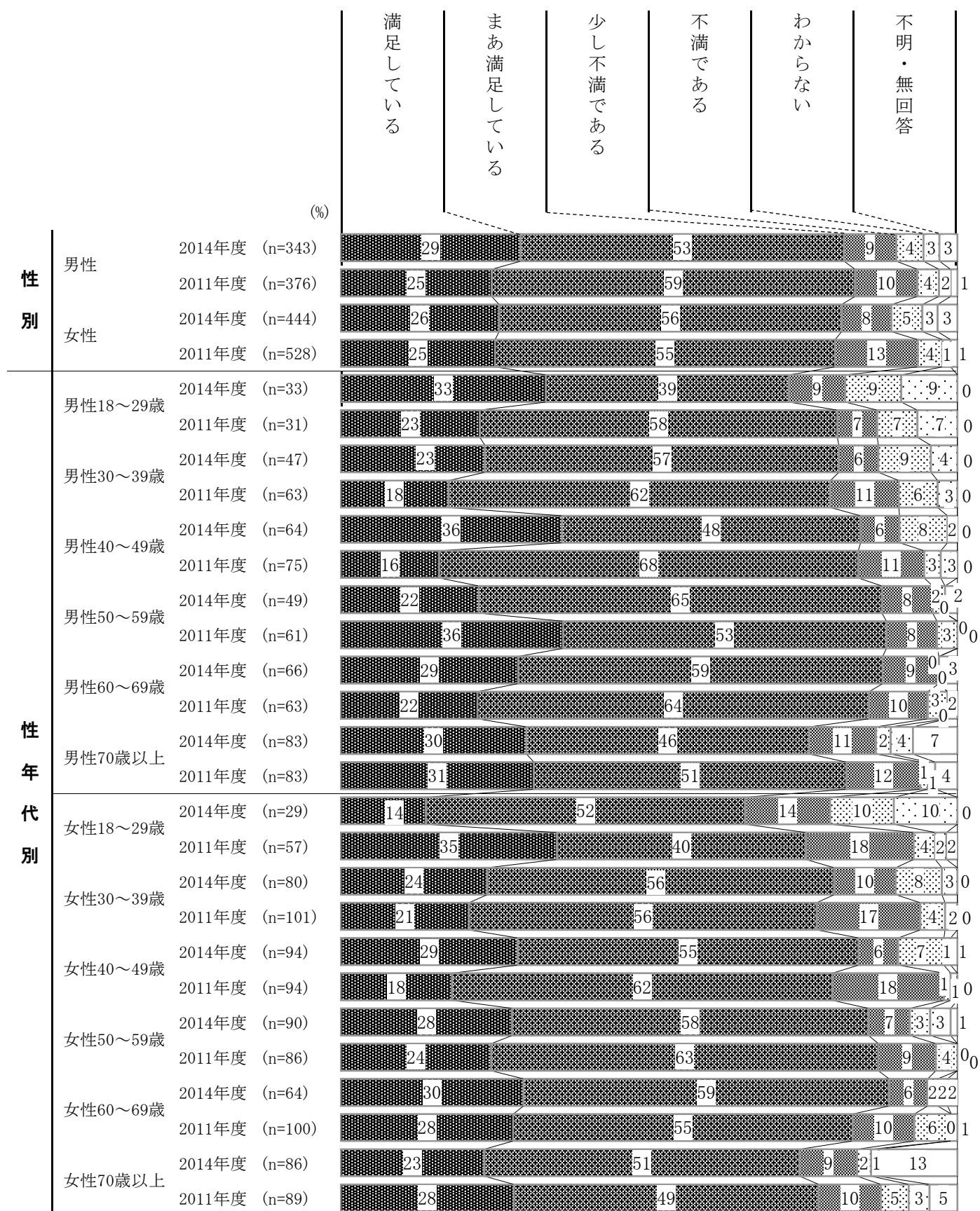
（ウ）交通事故・危険物からの安心感



「交通事故・危険物からの安心感」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、2011年度に続き男性70歳以上で高い結果となった。

図 5-5 生活環境についての満足度（性年代別）

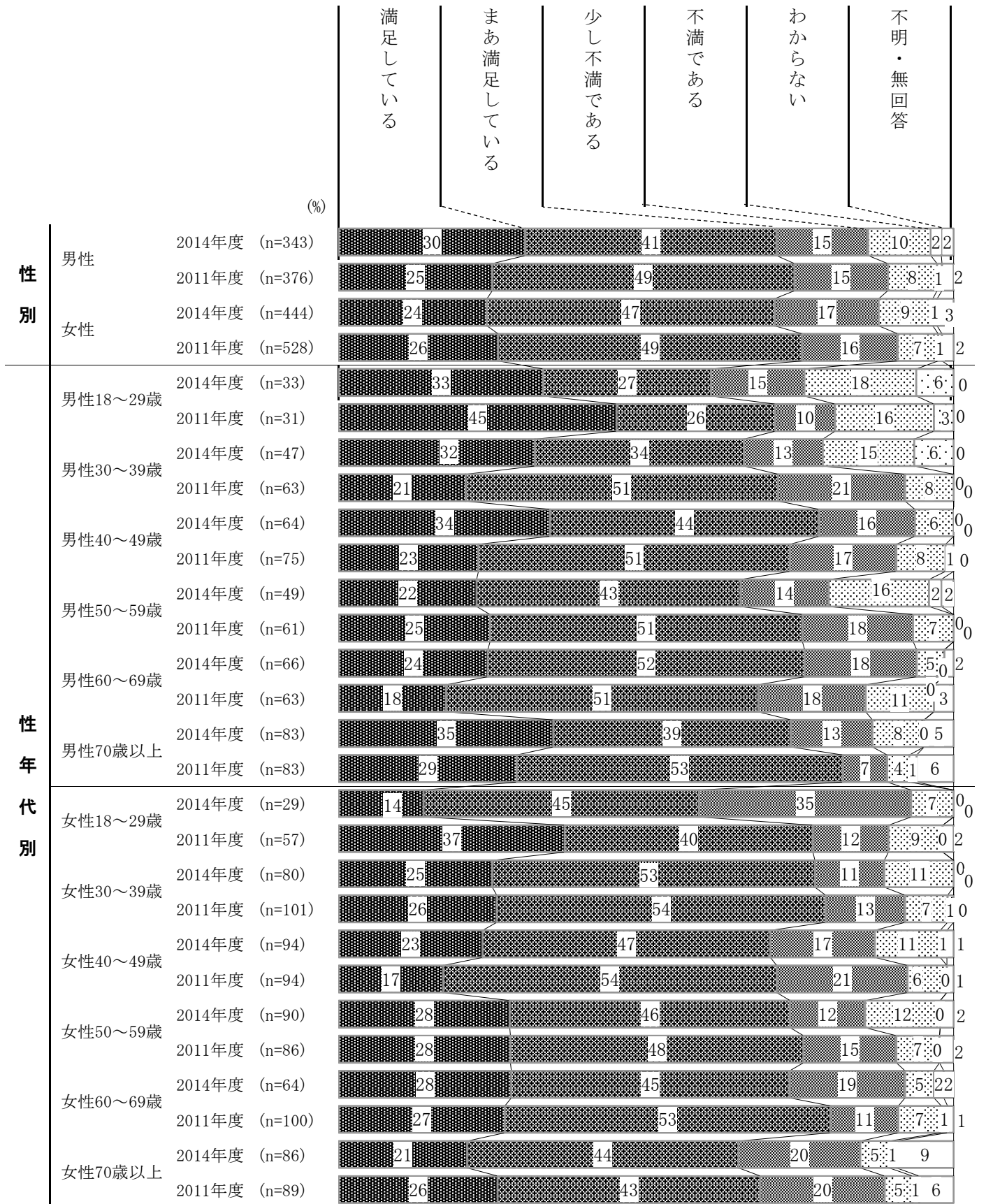
（エ）空気や自然のきれいさ



「空気や自然のきれいさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性別、性年代別でも50%を超える高い結果となった。

図 5-6 生活環境についての満足度（性年代別）

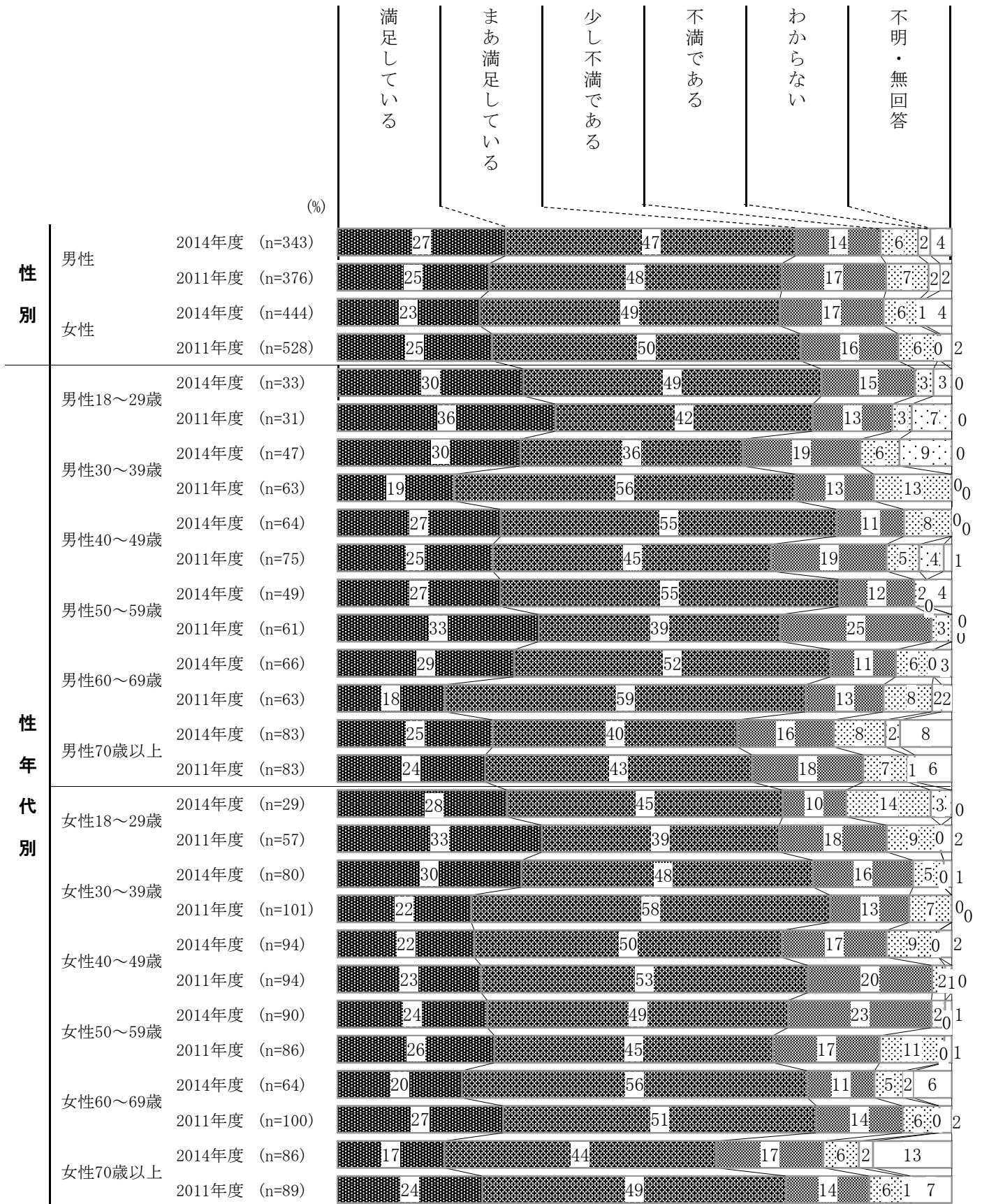
（オ）家の周りの静けさ



「家の周りの静けさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性別、性年代別で半数を超える高い結果となった。

図 5-7 生活環境についての満足度（性年代別）

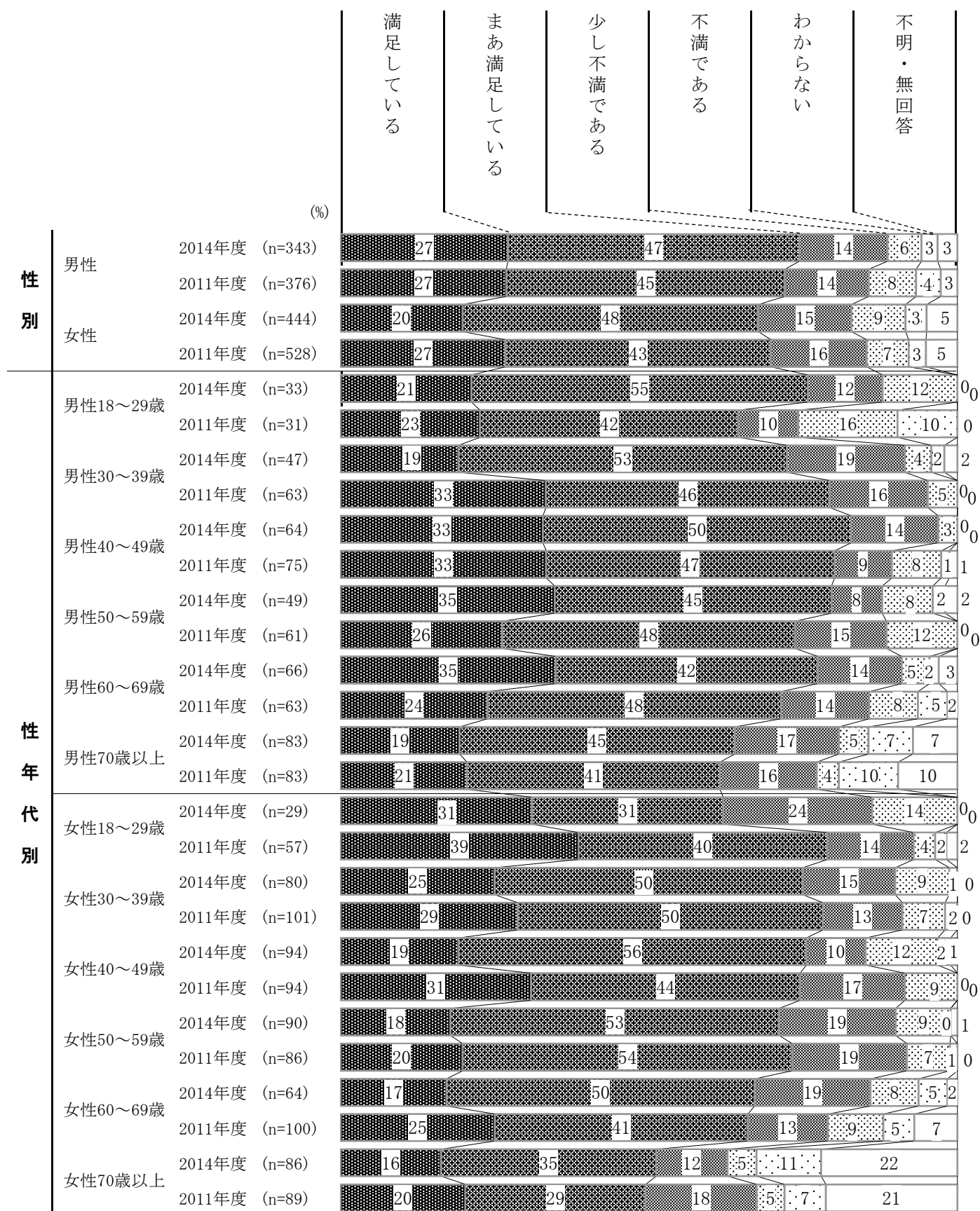
（カ）公園や緑の豊かさ



「公園や緑の豊かさ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、どの性別、性年代別で半数を超える高い結果となった。特に男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳では、80%を超える高い結果となった。

図 5-8 生活環境についての満足度（性年代別）

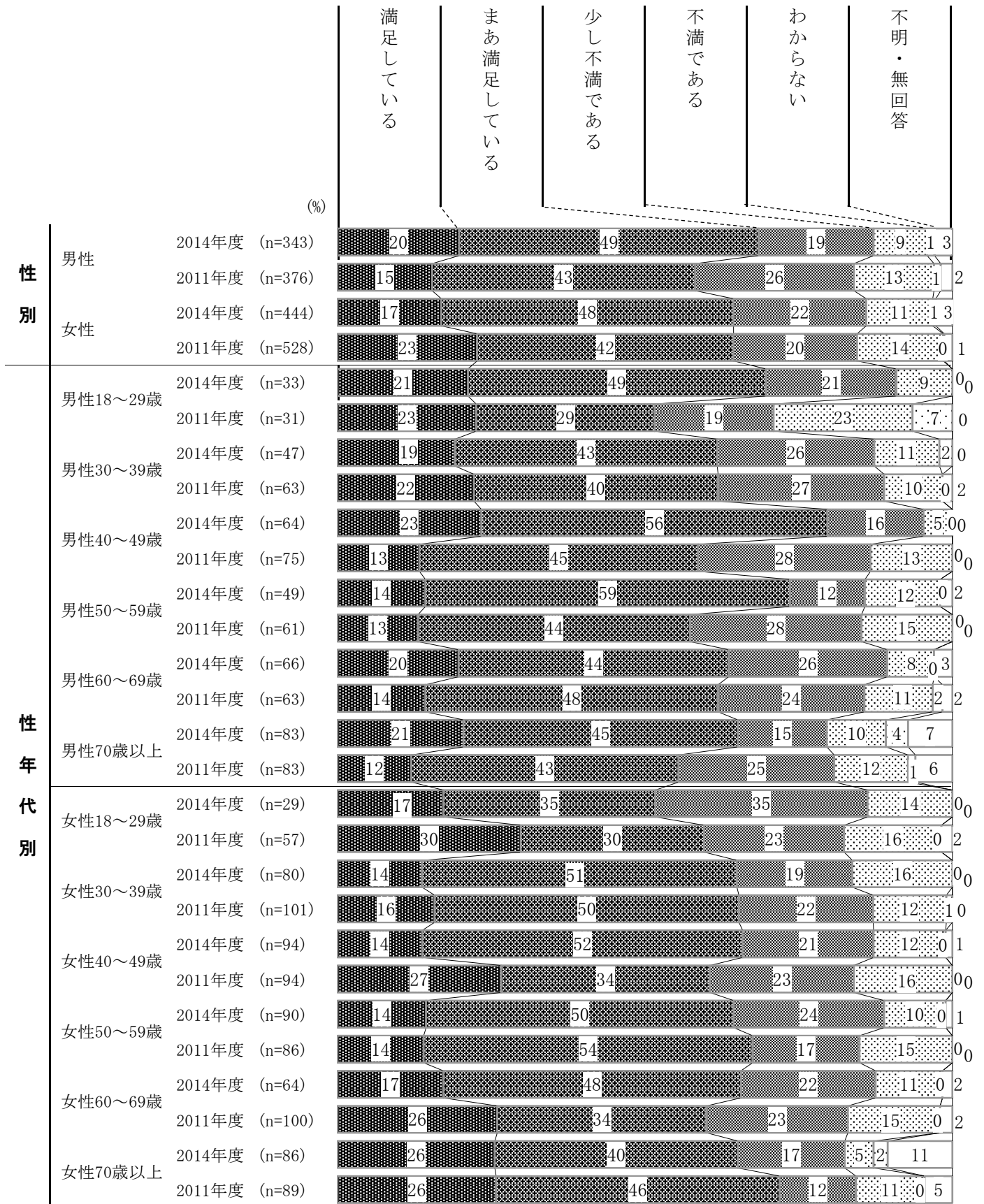
（キ）通勤・通学の便利さ



「通勤・通学の便利さ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに70歳以上が他の年代より低い結果となったものの、ほぼ半数を超える高い結果となった。

図 5－9 生活環境についての満足度（性年代別）

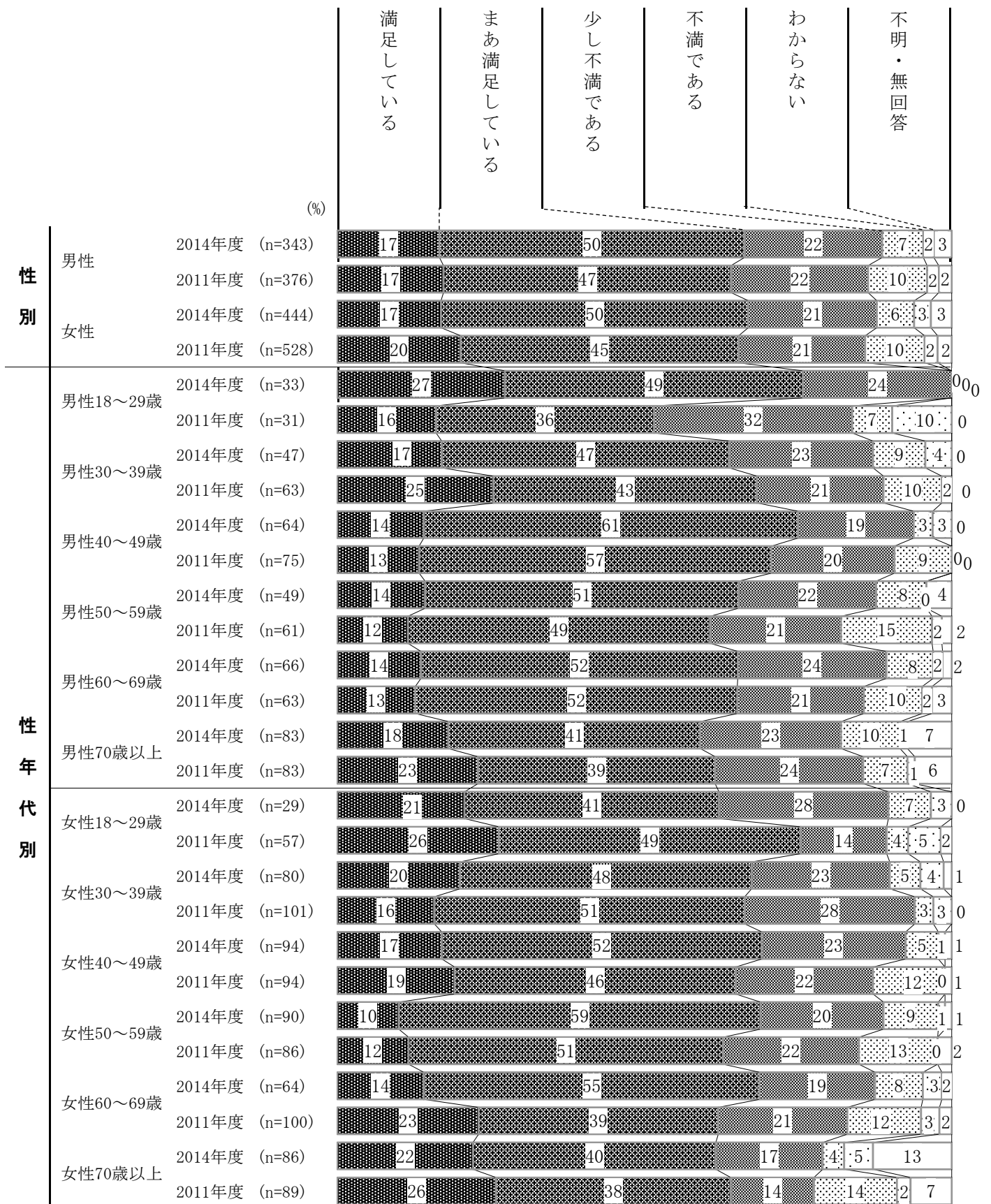
（ク）買い物の便利さ



「買い物の便利さ」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに半数を超える高い結果となった。

図 5-10 生活環境についての満足度（性年代別）

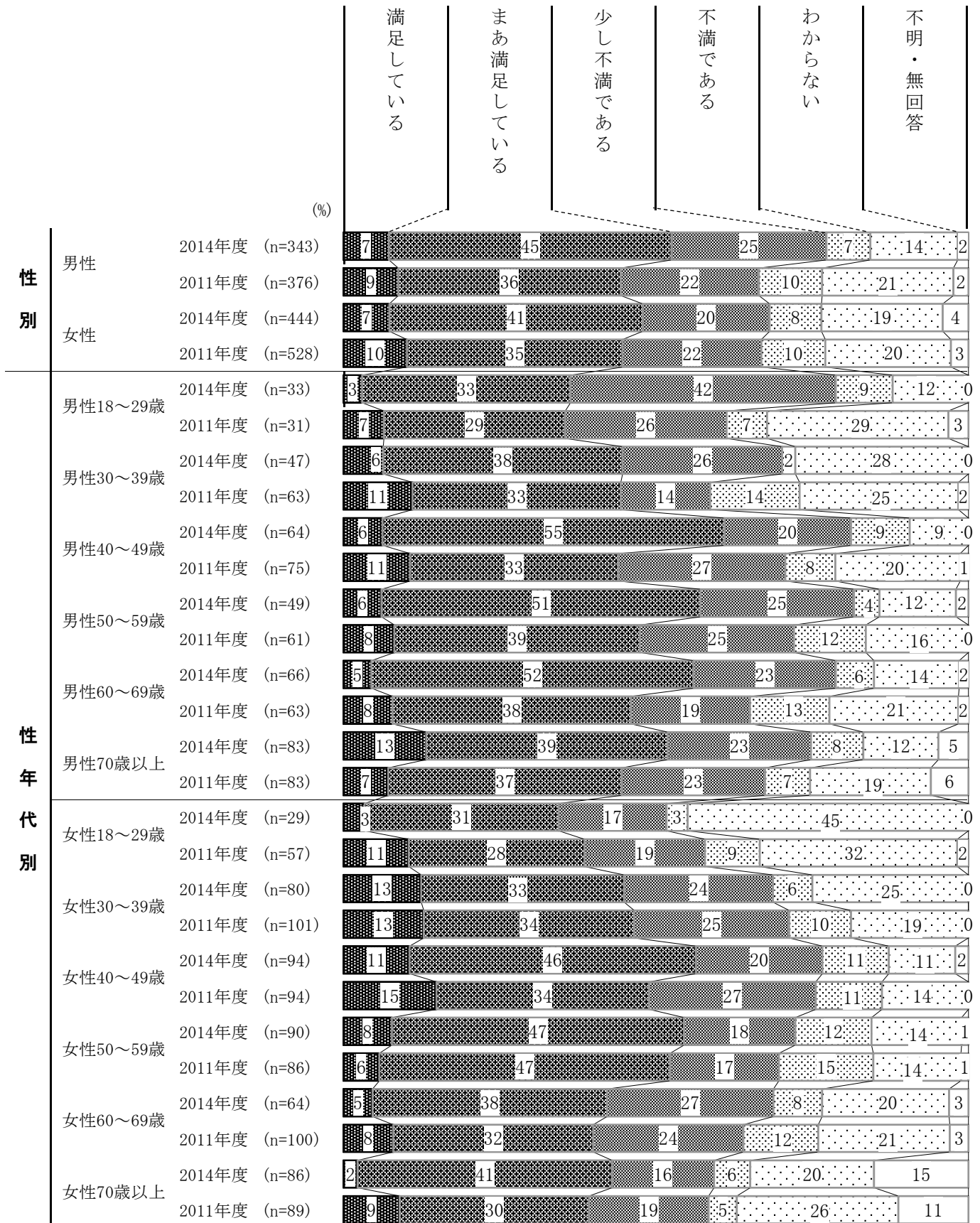
（ケ）病院や医院までの距離



「病院や医院までの距離」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男女ともに半数を超える高い結果となり、2011年度と比較しても男性18～29歳以外、大きな変化はなかった。

図 5-11 生活環境についての満足度（性年代別）

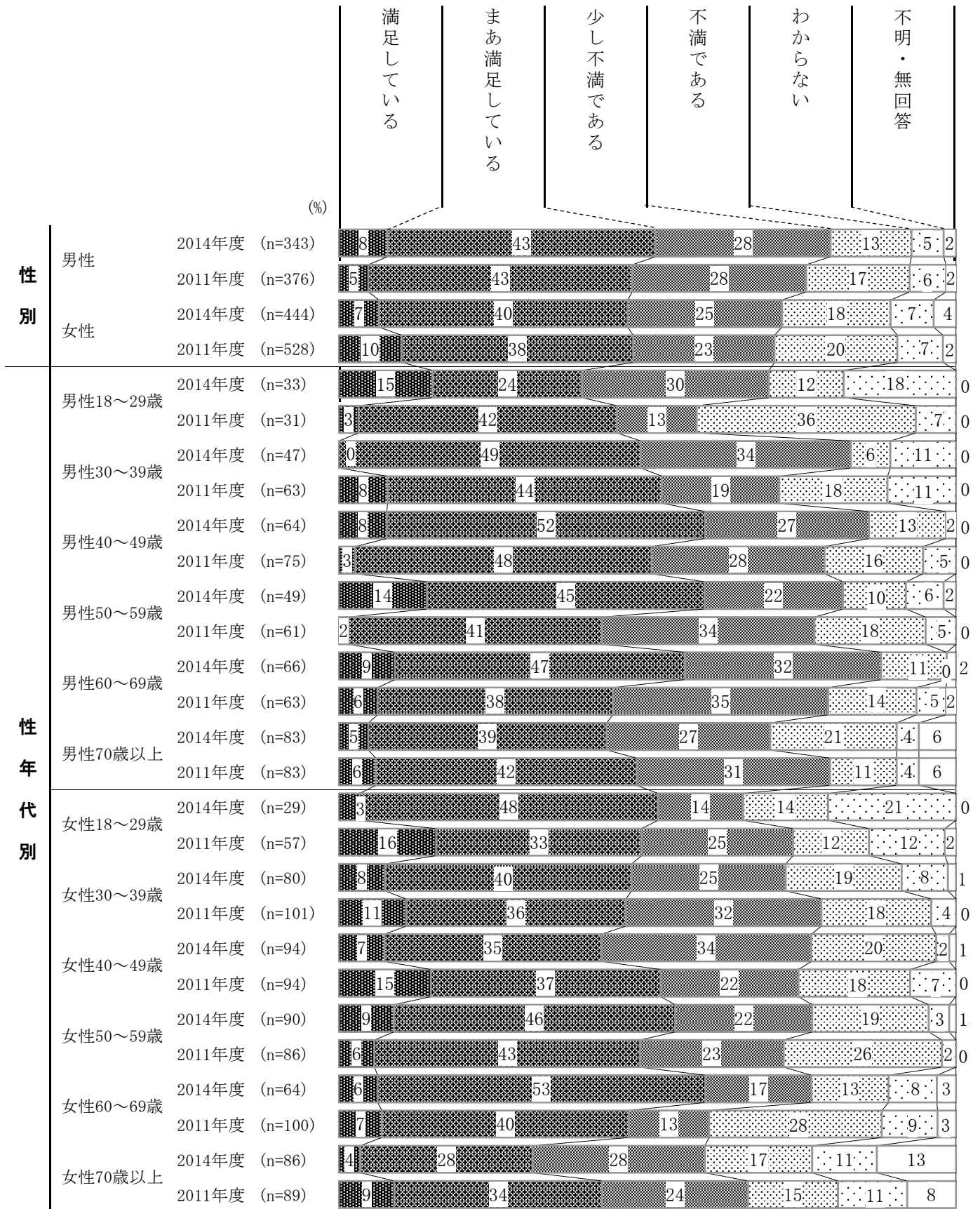
（コ）休日、夜間などの救急医療体制の充実度



「休日、夜間などの救急医療体制の充実度」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳で10ポイント以上の増加となった。

図 5-12 生活環境についての満足度（性年代別）

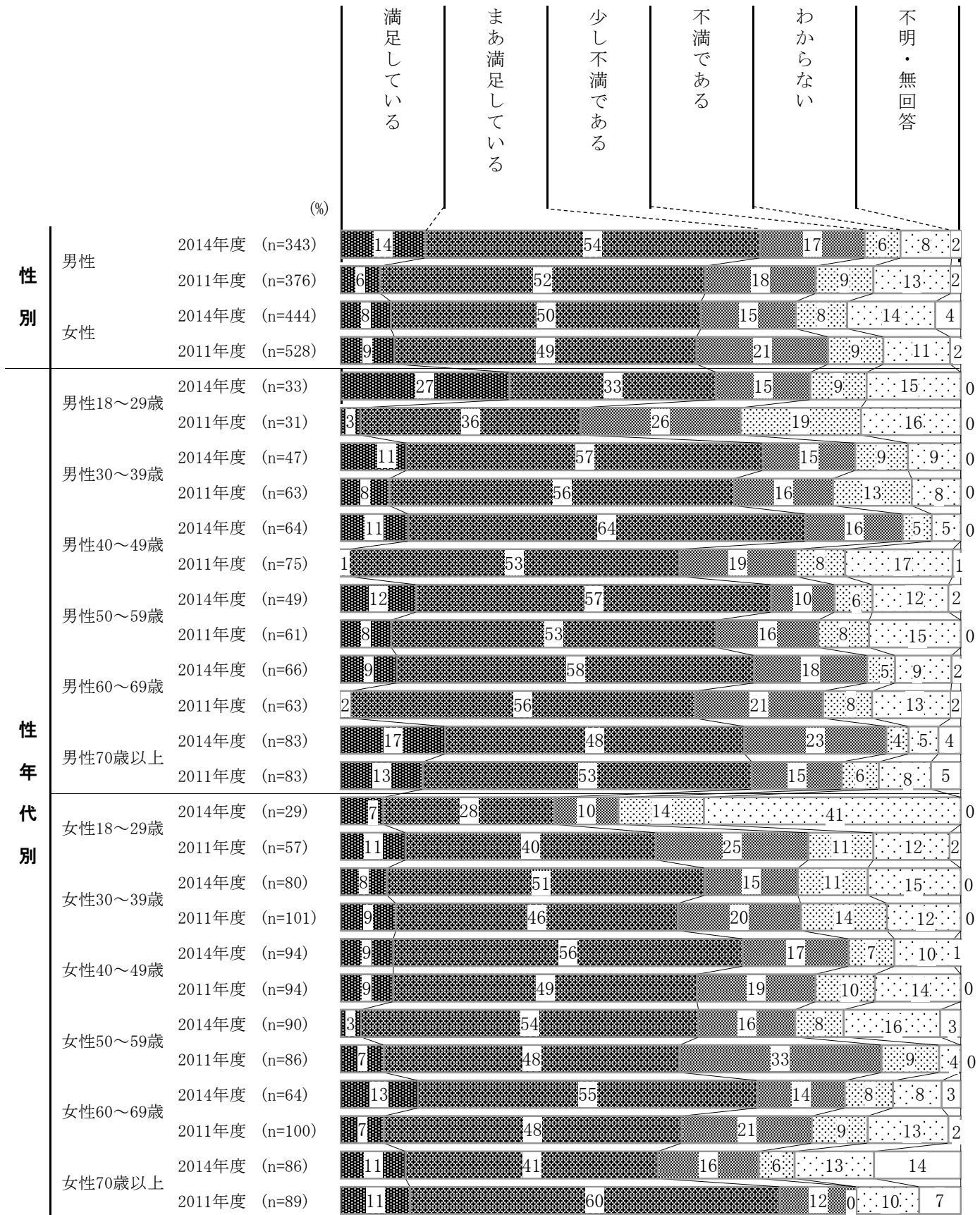
（サ）市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離



「市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性50～59歳、男性60～69歳で10ポイント以上の増加となった。

図 5-13 生活環境についての満足度（性年代別）

（シ）市や区の窓口サービス

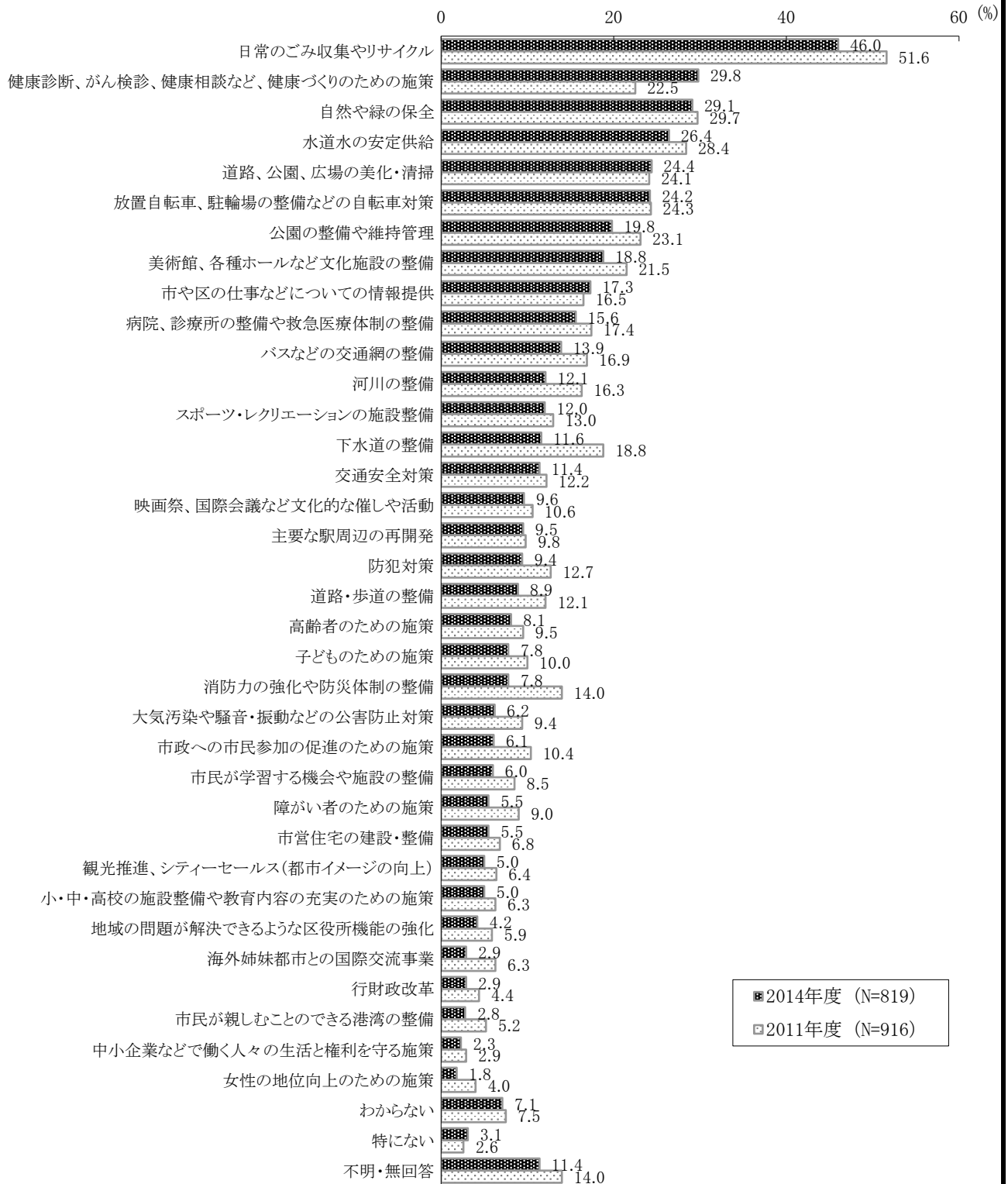


「市や区の窓口サービス」では、「満足している」「まあ満足している」を合わせた『満足している計』で、男性18～29歳、男性40～49歳が2011年度よりも10ポイント以上の増加となった。ただ女性18～29歳、女性70歳以上では、10ポイント以上の低下となった。

6. 市政についてよくやっていると思うもの

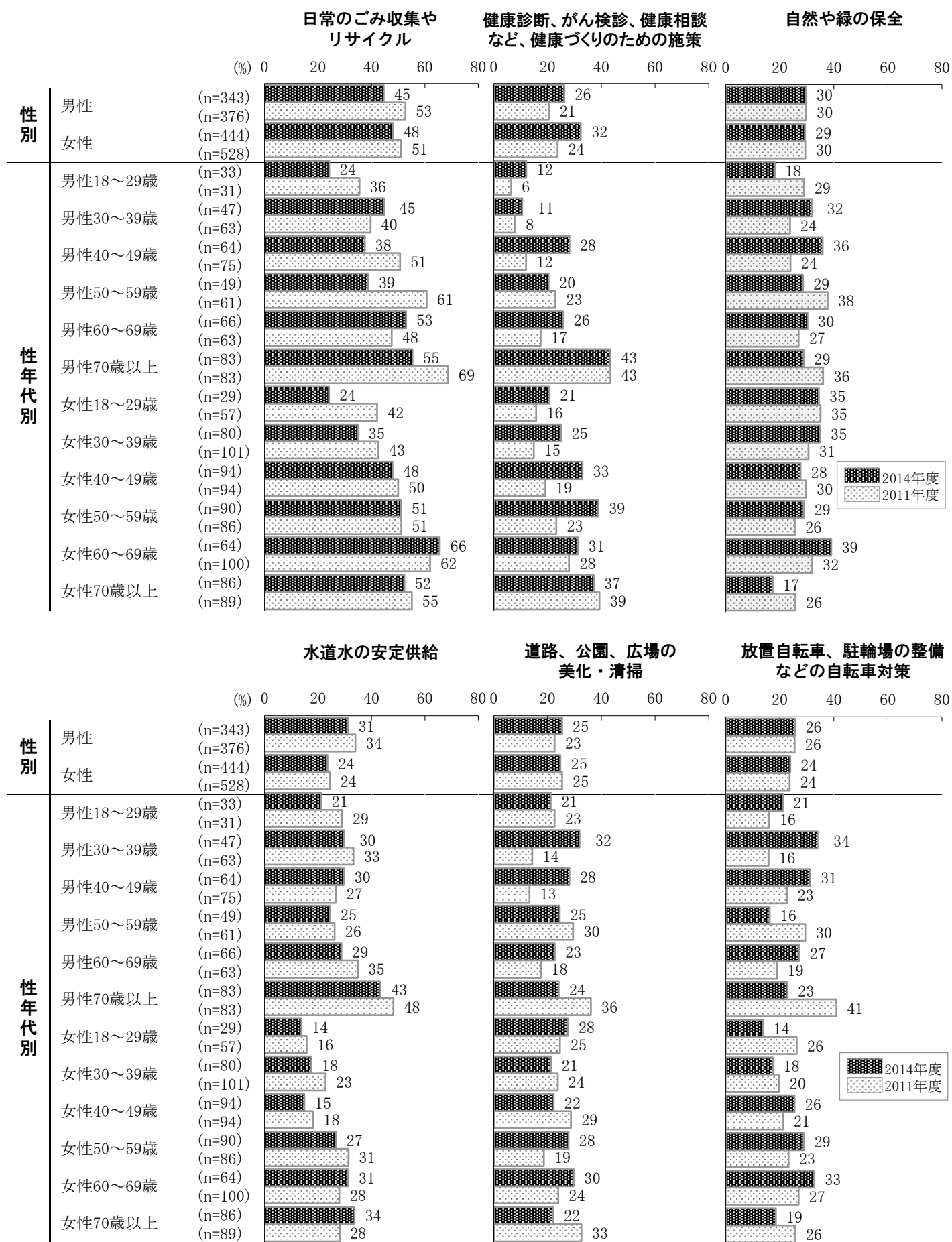
問5 市政について総合的に伺います。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

図6-1 市政についてよくやっていると思うもの



「市政についてよくやっていると思うもの」について聞いたところ、「日常のごみ収集やリサイクル」（46.0%）が最も高く、次いで「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策」（29.8%）、「自然や緑の保全」（29.1%）の順となった。

図 6-2 市政についてよくやっていると思うもの（性別・性年代別）＜上位6項目＞

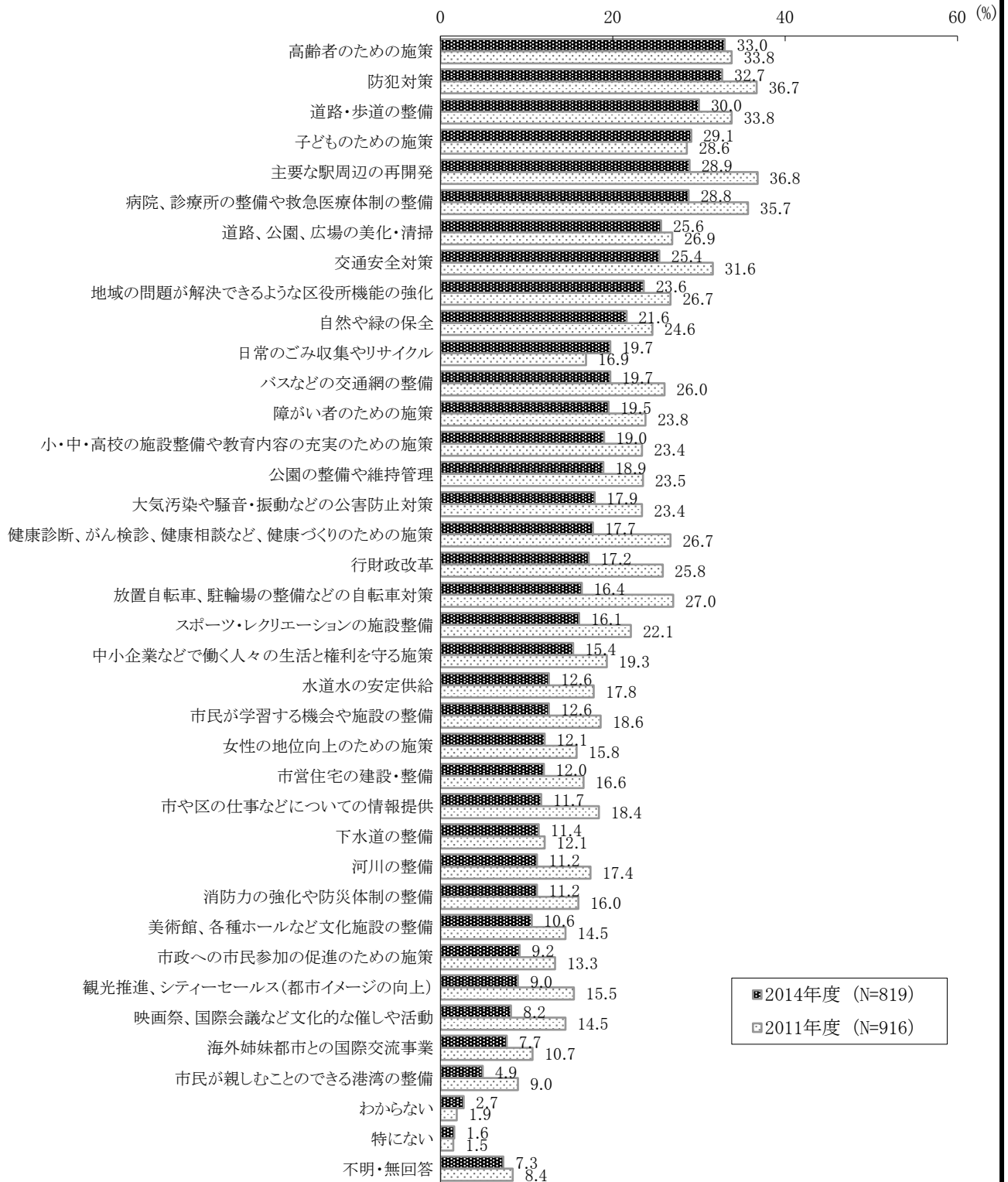


市政についてよくやっていると思うもので「日常のごみ収集やリサイクル」が最も高い結果であったが、2011年度と比較すると性別の男女ともに減少する結果となった。

7. 市政について今後特に力を入れてほしいもの

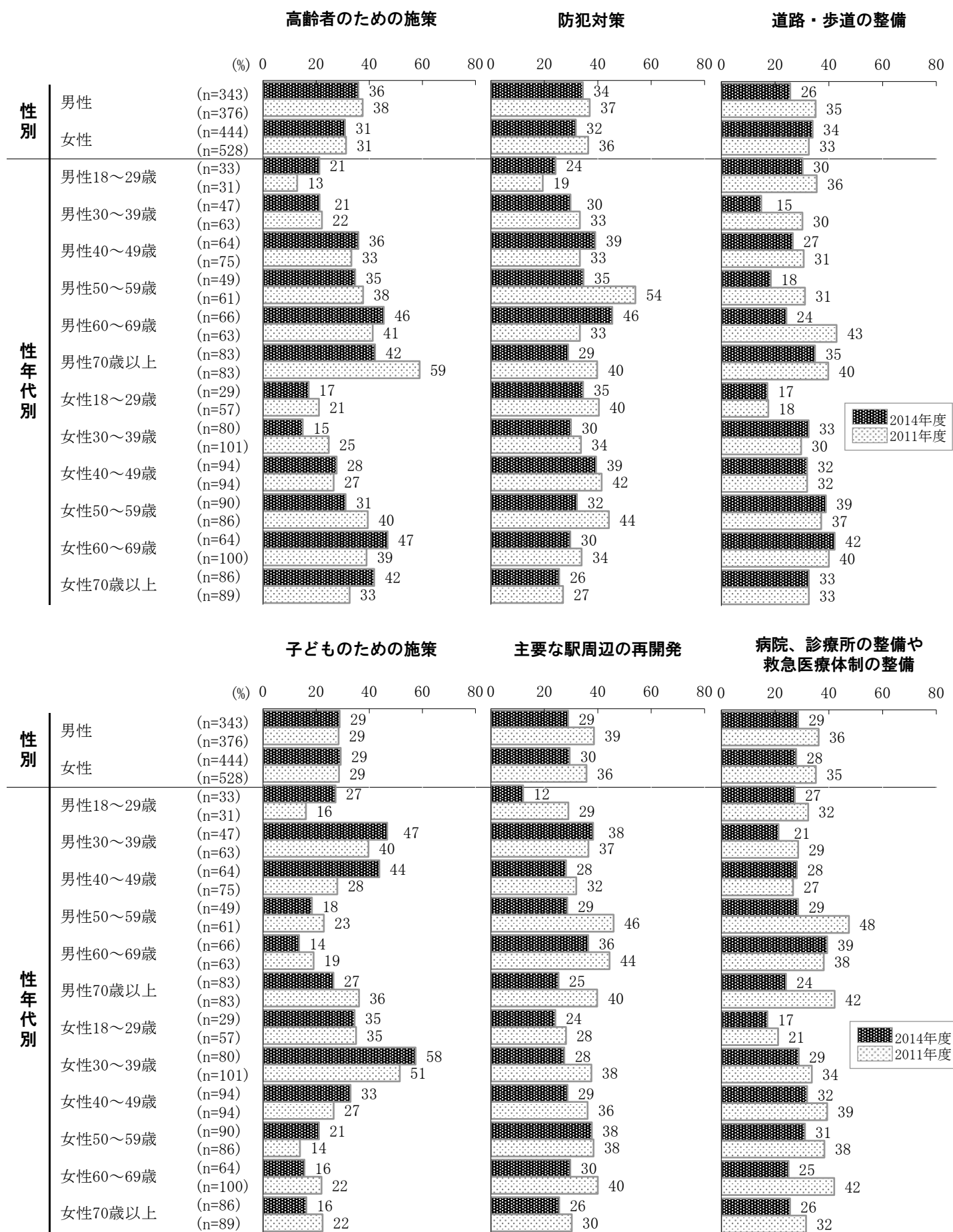
問6 また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。
(あてはまるものすべてに○)

図7-1 市政について今後特に力を入れてほしいもの



「市政について今後特に力を入れてほしいもの」について聞いたところ、「高齢者のための施策」(33.0%)が最も高く、次いで「防犯対策」(32.7%)、「道路・歩道の整備」(30.0%)の順となった。2011年度で最も高かった「主要な駅周辺の再開発」は、7.9ポイント減少する結果となった。

図 7-2 市政について今後特に力を入れてほしいもの（性別・性年代別）＜上位6項目＞

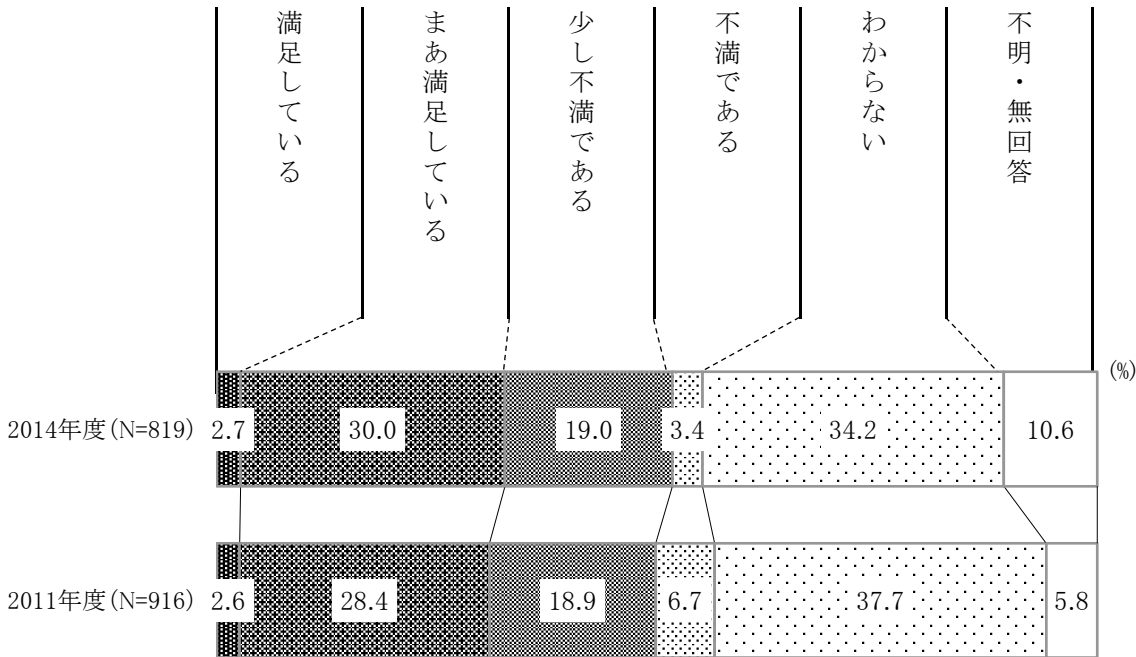


市政について今後特に力を入れてほしいもので「主要な駅周辺の再開発」、「病院、診療所の整備や救急医療体制の整備」が、2011年度と比較すると性別の男女ともに減少する結果となった。

8. 市の施策や事業の総合満足度

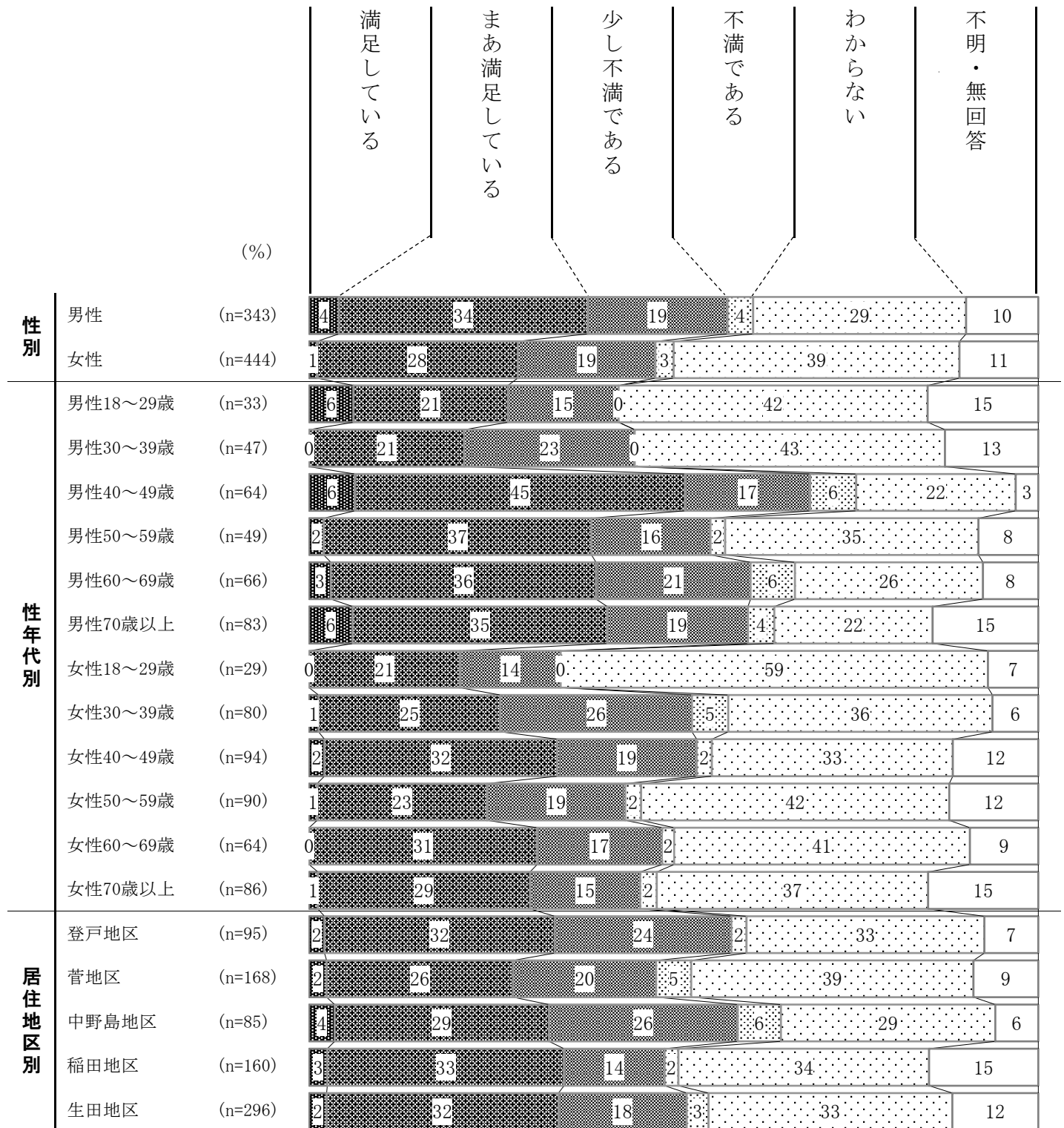
問7 川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。
(○は1つだけ)

図 8-1 市の施策や事業の総合満足度



「市の施策や事業の総合満足度」について聞いたところ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』（32.7%）は、ほぼ全体の3分の1となった。
2011年度と比較して、大きな差は見られなかった。

図 8-2 市の施策や事業の総合満足度（性別・性年代別・居住地区別）



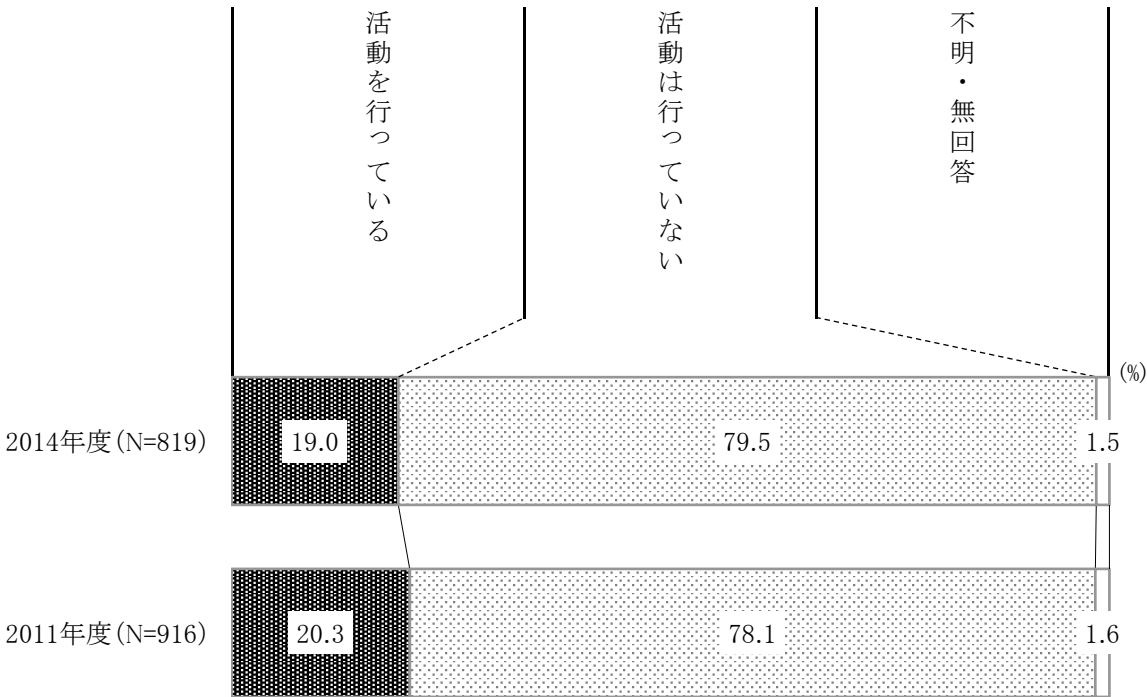
「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している計』では、男性40～49歳が半数を超える結果となった。

居住地区別では、大きな差は見られなかった。

9. 地域活動の状況

問8 あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。
(○は1つだけ)

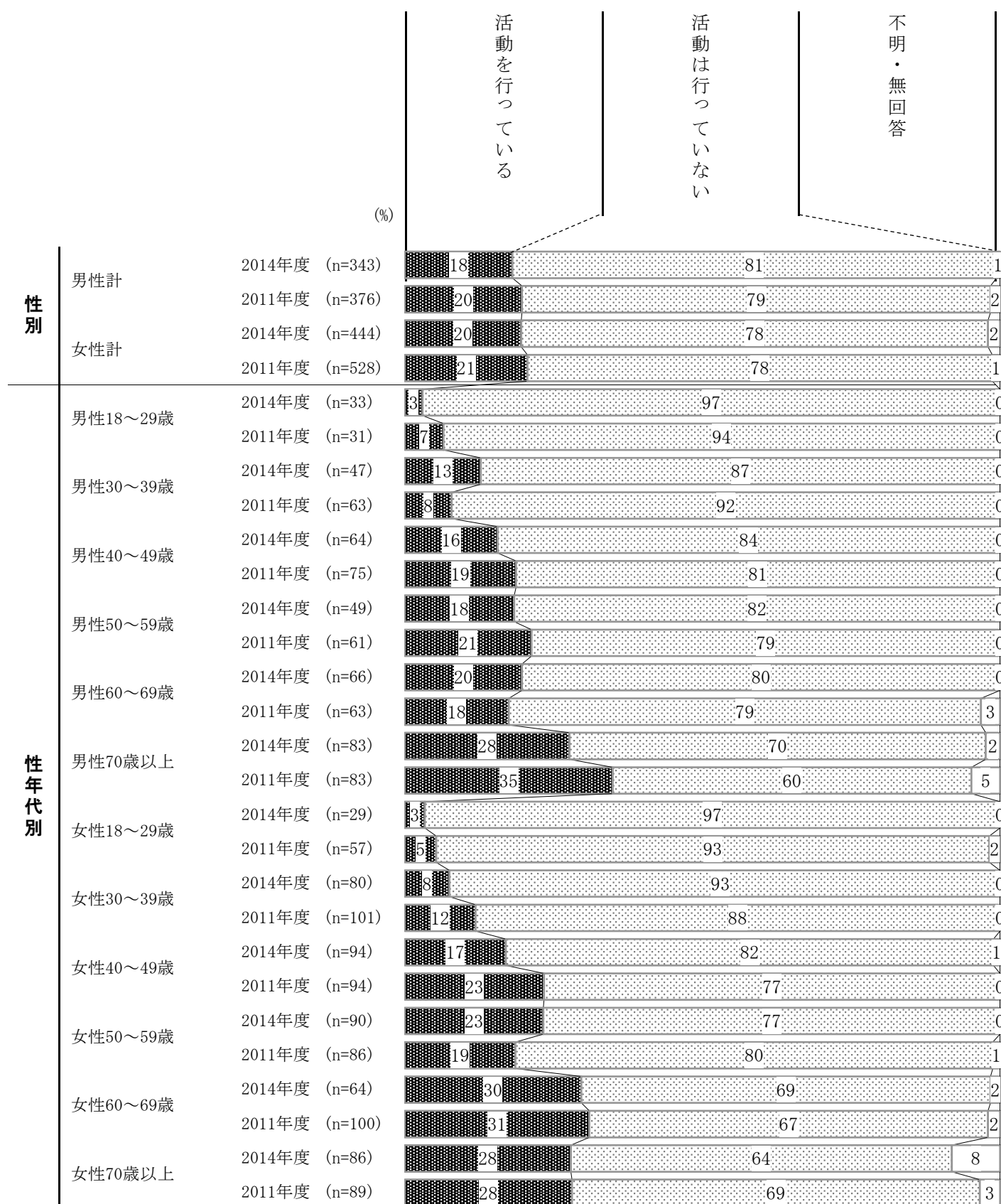
図 9-1 地域活動の状況



地域活動の状況について聞いたところ、「活動は行っていない」(79.5%)が最も高い結果となった。

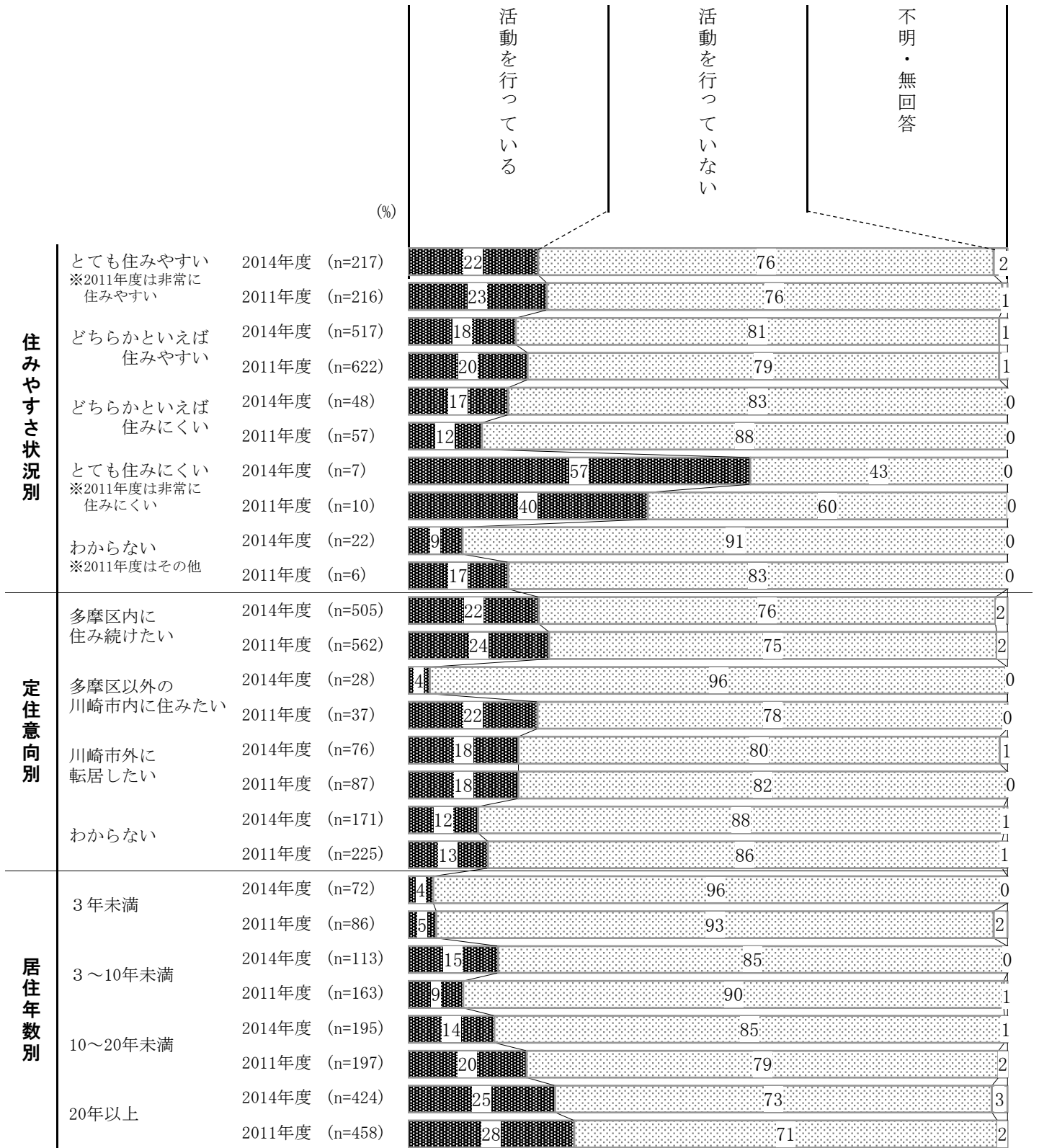
2011年度も、「活動は行っていない」(78.1%)が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

図 9-2 地域活動の状況（性別・性年代別）



地域活動の状況について性年代別で見たところ、男女とも2011年度と同様に年代が上昇するにつれ「活動を行っている」率が高い傾向となっている。

図 9-3 地域活動の状況
(住みやすさ状況別・定住意向別・居住年数別)

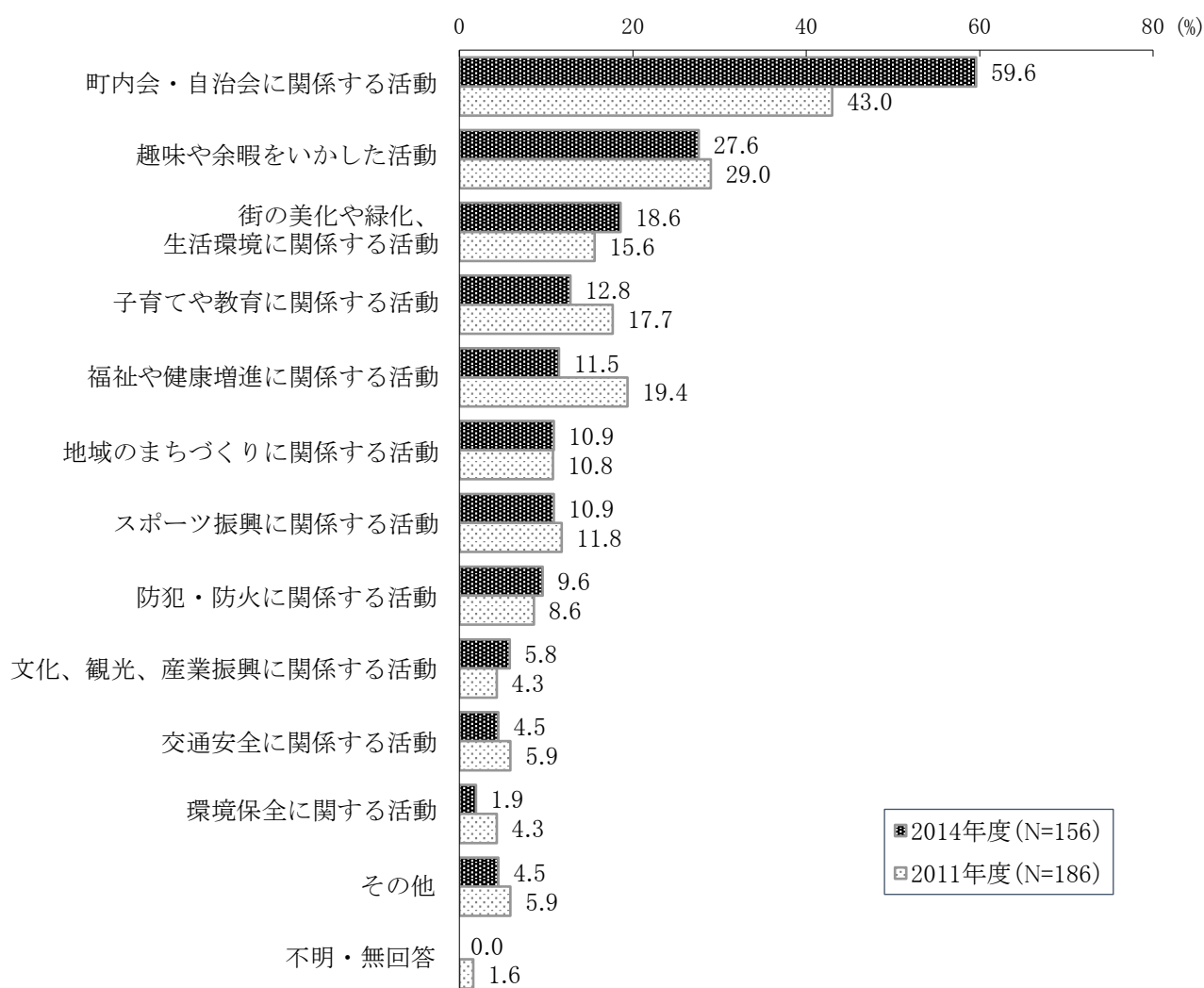


地域活動の状況について住みやすさ状況別で見たところ、「とても住みにくい」と回答した人で半数を超え、2011年度と同様に高い結果となっている。また居住年数が高いほど、活動参加率が高い傾向となっている。

10. 行っている地域活動の分野

問8-1 あなたが地域で活動している団体(グループや個人の活動も含む)の活動分野をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

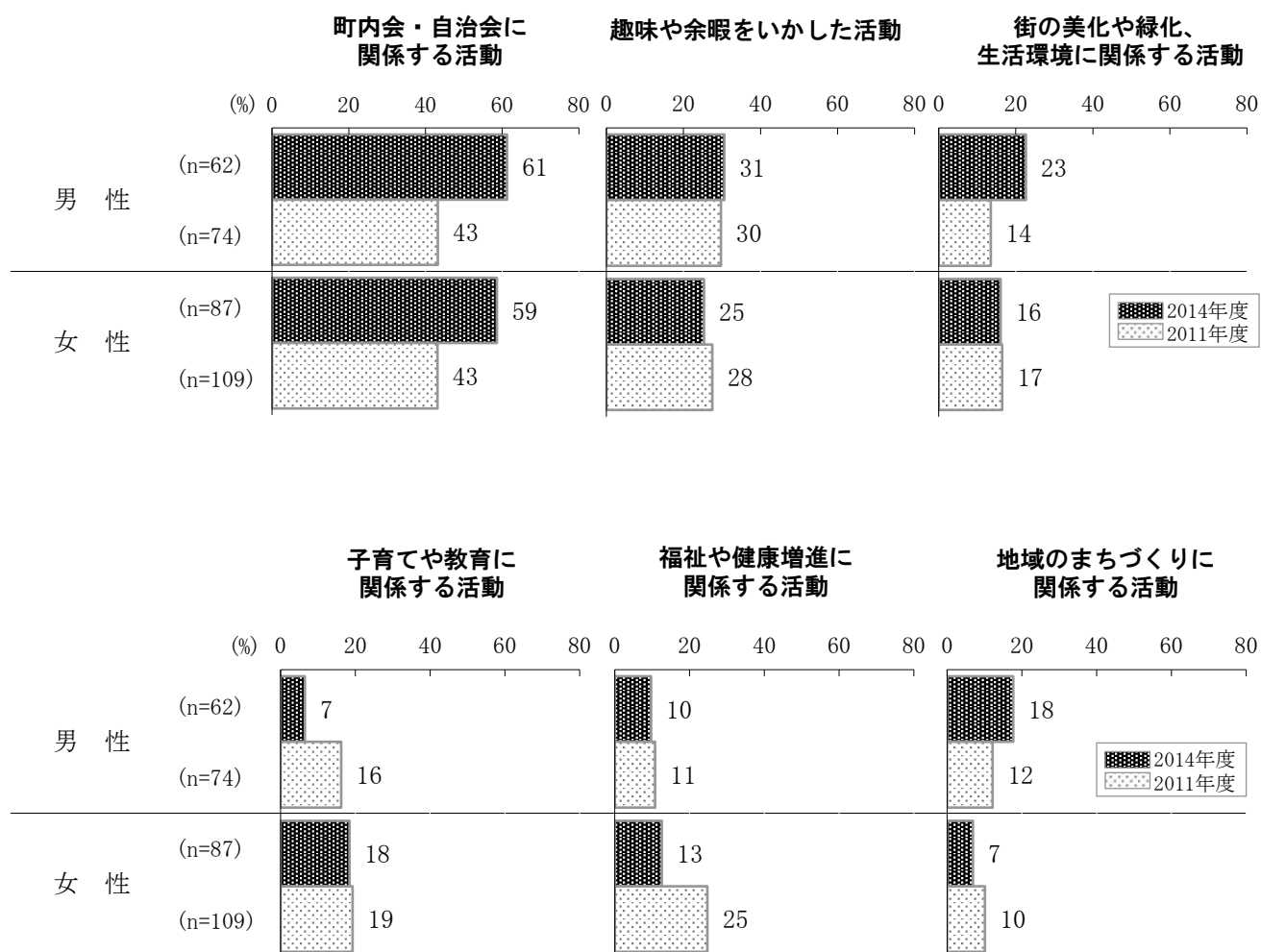
図10-1 行っている地域活動の分野



(9) の地域活動の状況で「活動を行っている」と回答した人に、行っている地域活動の分野について聞いたところ、「町内会・自治会に関する活動」(59.6%)が最も高く、次いで「趣味や余暇をいかした活動」(27.6%)、「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」(18.6%)の順となった。

2011年度も「町内会・自治会に関する活動」(43.0%)が最も高いが、2011年度と比較して16.6ポイント上昇する結果となった。また、2011年度に3位だった「福祉や健康増進に関する活動」は7.9ポイント減少する結果となった。

図 10-2 行っている地域活動の分野（性別）＜上位6項目＞

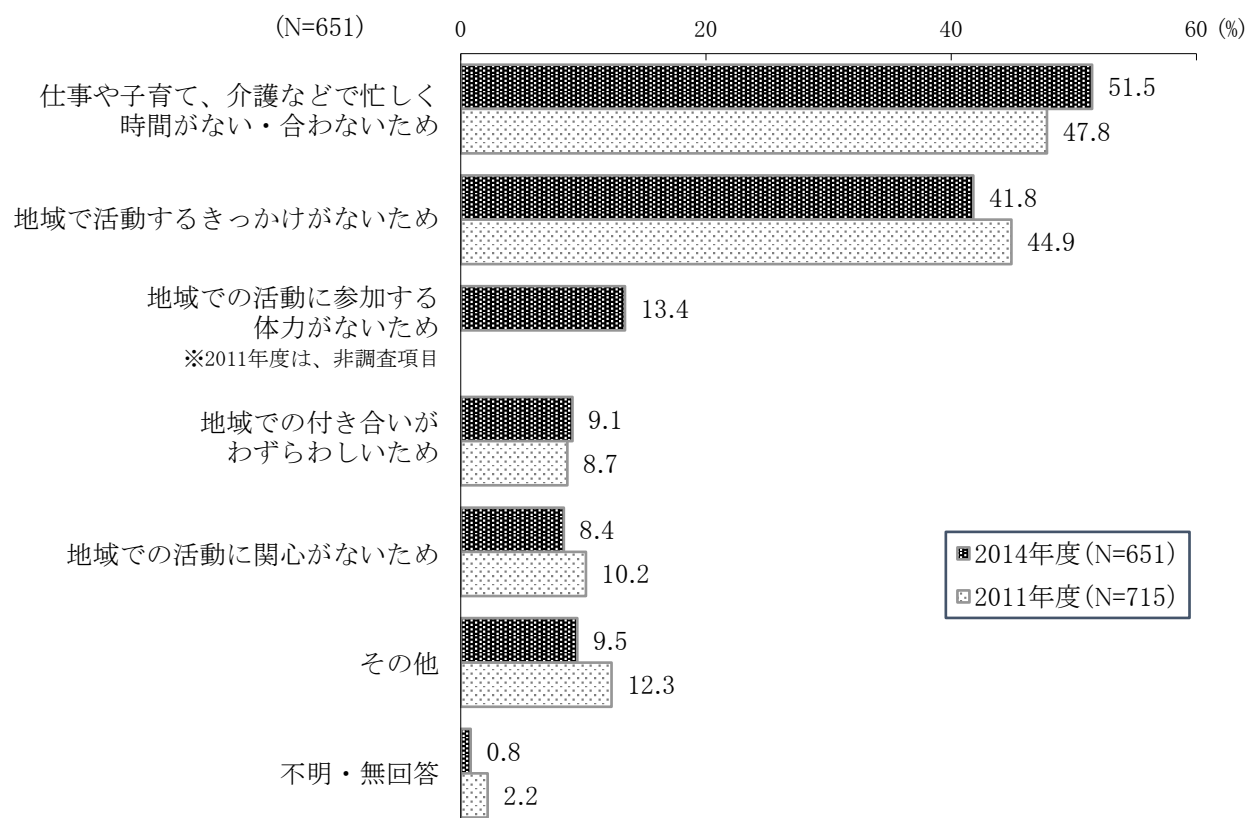


行っている地域活動の分野について性別で見たところ、「町内会・自治会に
関係する活動」が男女ともに半数を超える結果となった。また2011年度と
比較して男女ともに15ポイント以上上昇する結果となった。

11. 地域活動を行っていない理由

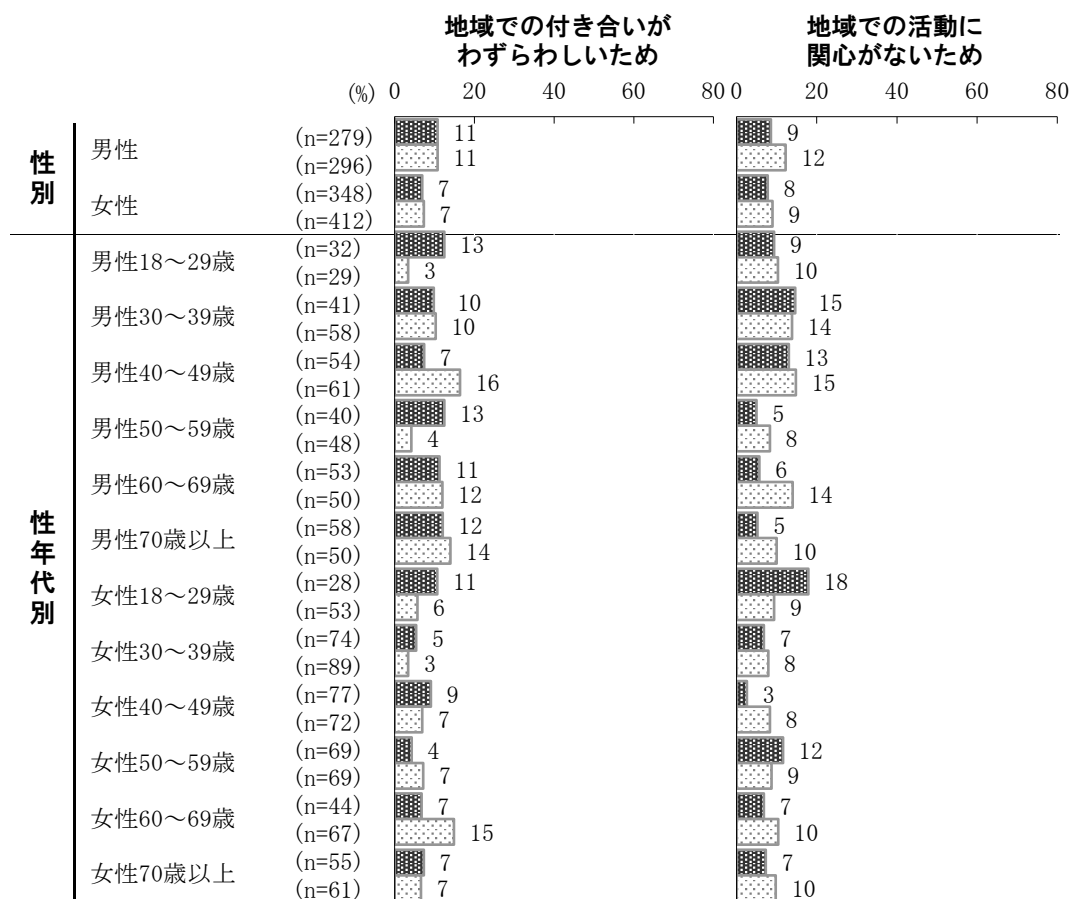
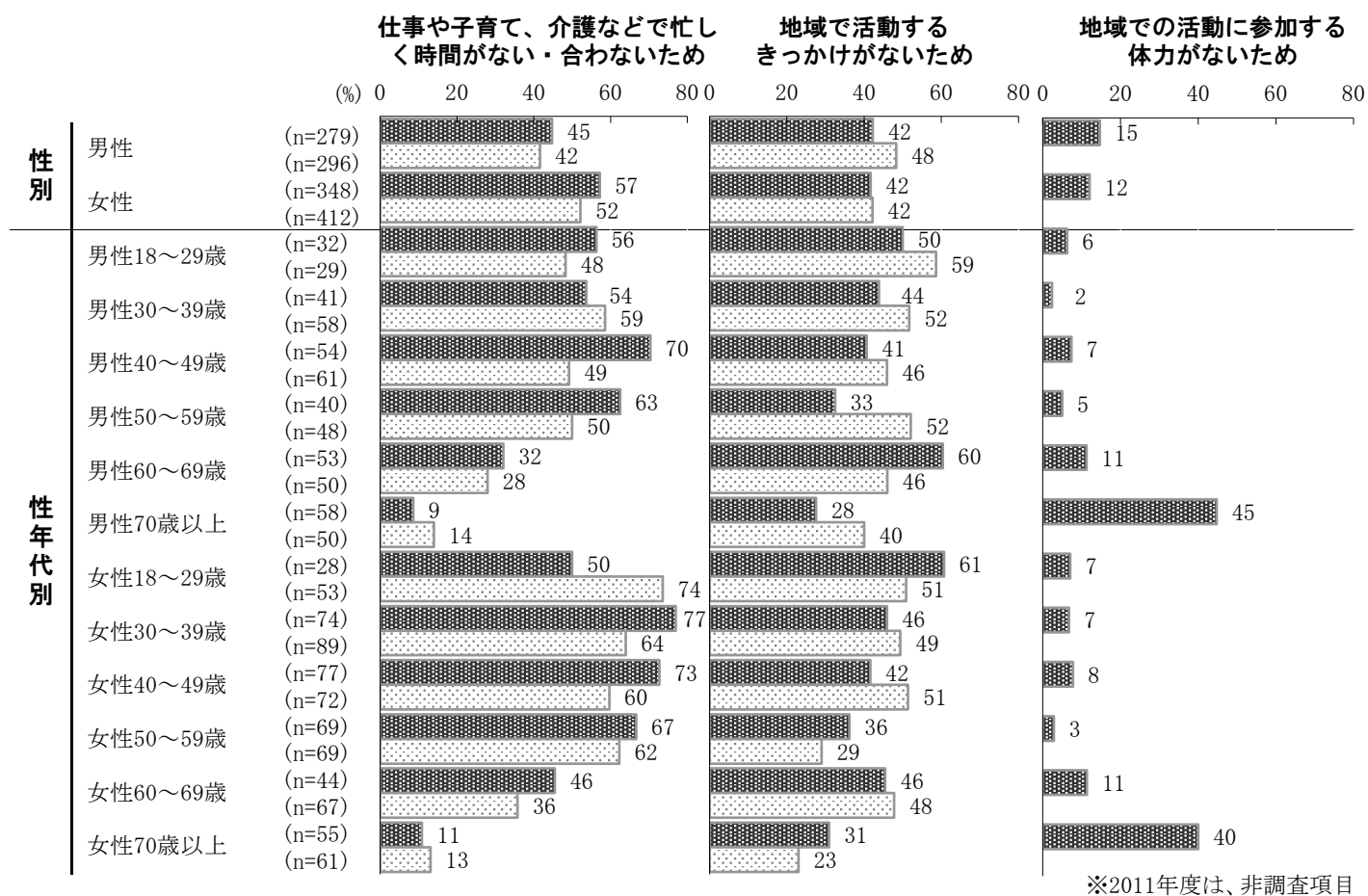
問 8－2 あなたが地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

図 11－1 地域活動を行っていない理由



(9) の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動を行っていない理由について聞いたところ、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」(51.5%)が最も高く、次いで「地域で活動するきっかけがないため」(41.8%)、「地域での活動に参加する体力がないため」(13.4%)の順となった。

図 11-2 地域活動を行っていない理由（性別・性年代別）

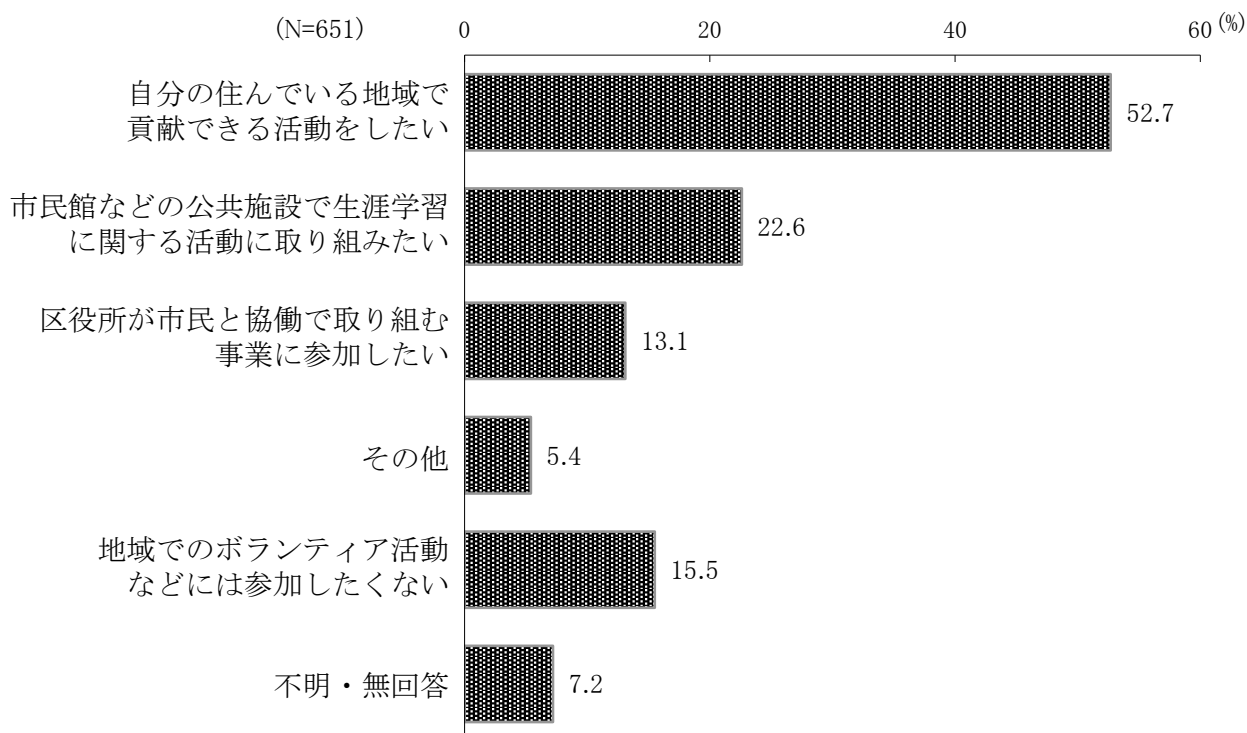


「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため」では、女性30歳～59歳までが高く、「地域での活動に参加する体力がないため」では、男女ともに70歳以上が高い結果となった。

12. 地域活動への取り組み意向

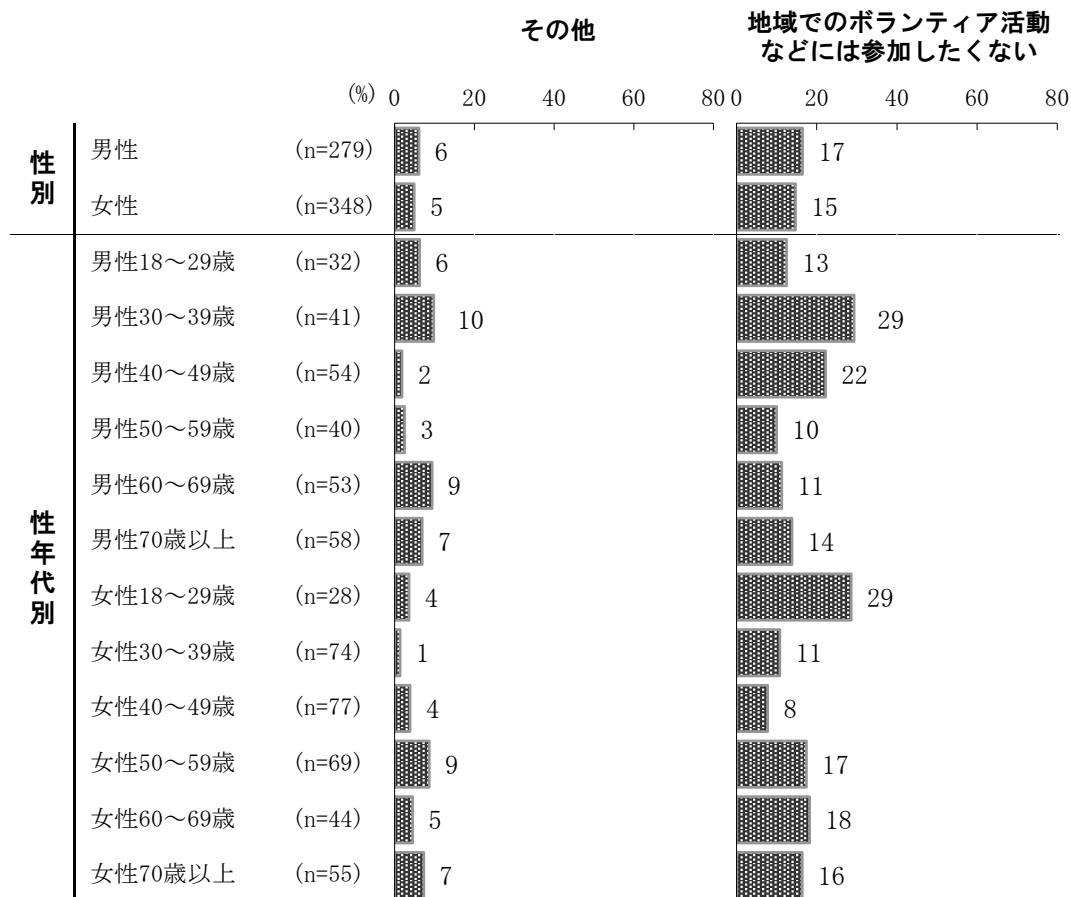
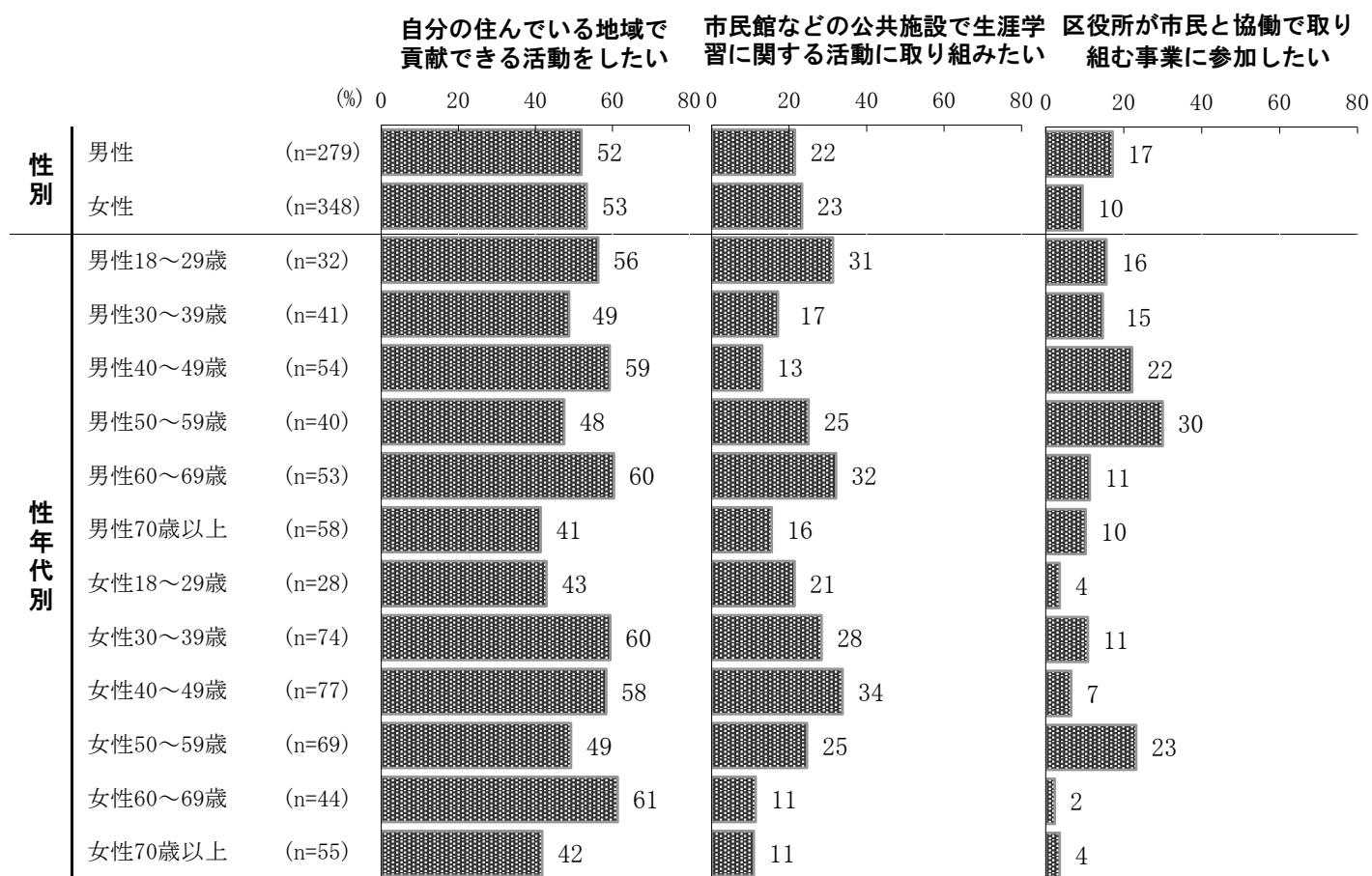
問8－3 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

図 12－1 地域活動への取り組み意向



（9）の地域活動の状況で「活動は行っていない」と回答した人に、地域活動への取り組み意向について聞いたところ、「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」（52.7%）が最も高く、次いで「市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい」（22.6%）、「地域でのボランティア活動などには参加したくない」（15.5%）の順となった。

図 1 2－2 地域活動への取り組み意向（性別・性年代別）

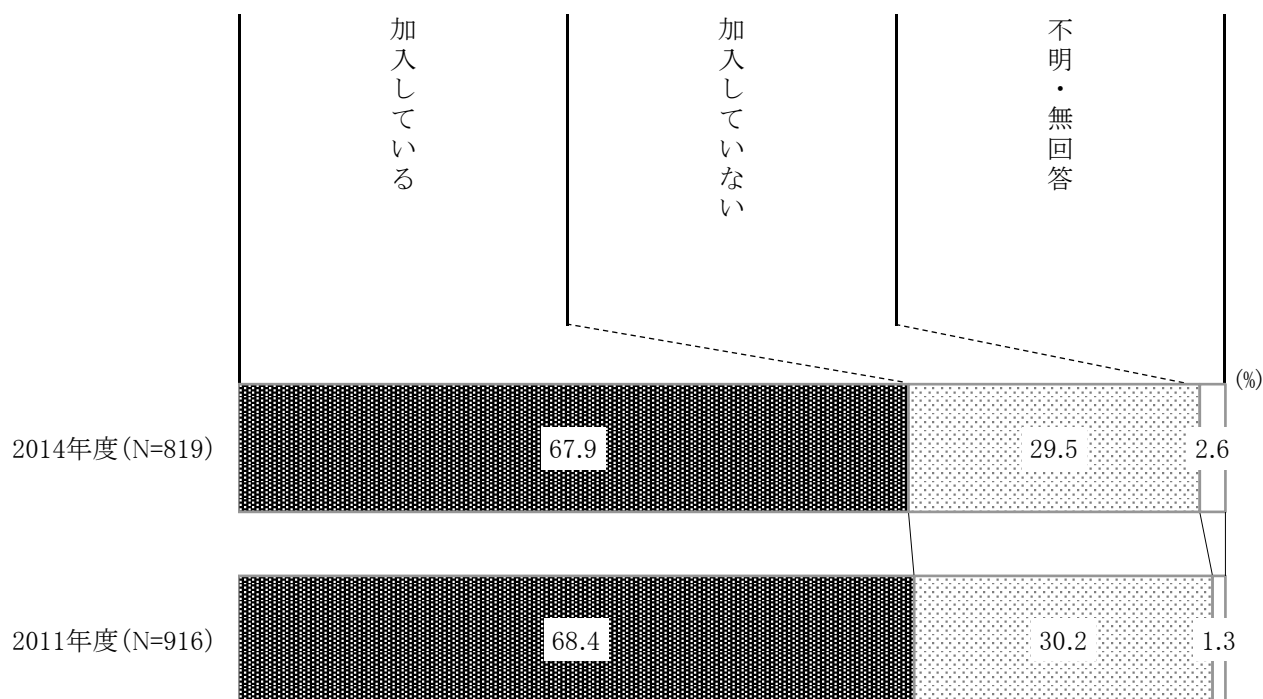


「自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい」では、どの性別・性年代別でも40%を超える高い結果となり、他の活動よりも高い結果となった。

13. 町内会・自治会への加入状況

問9 あなたは、町内会・自治会に加入していますか。（○は1つだけ）

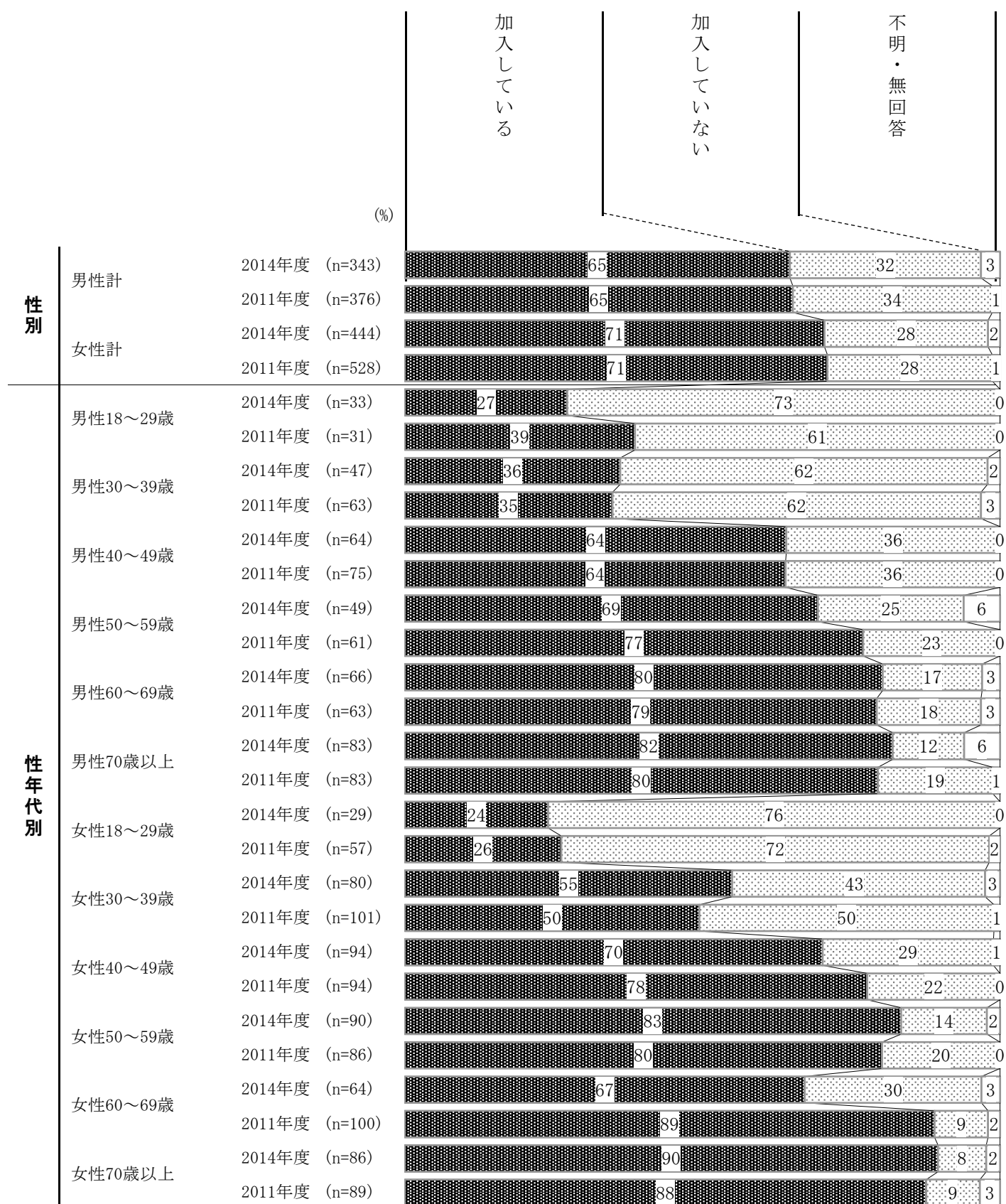
図 13-1 町内会・自治会への加入状況



「町内会・自治会への加入状況」について聞いたところ、「加入している」（67.9%）が最も高い結果となった。

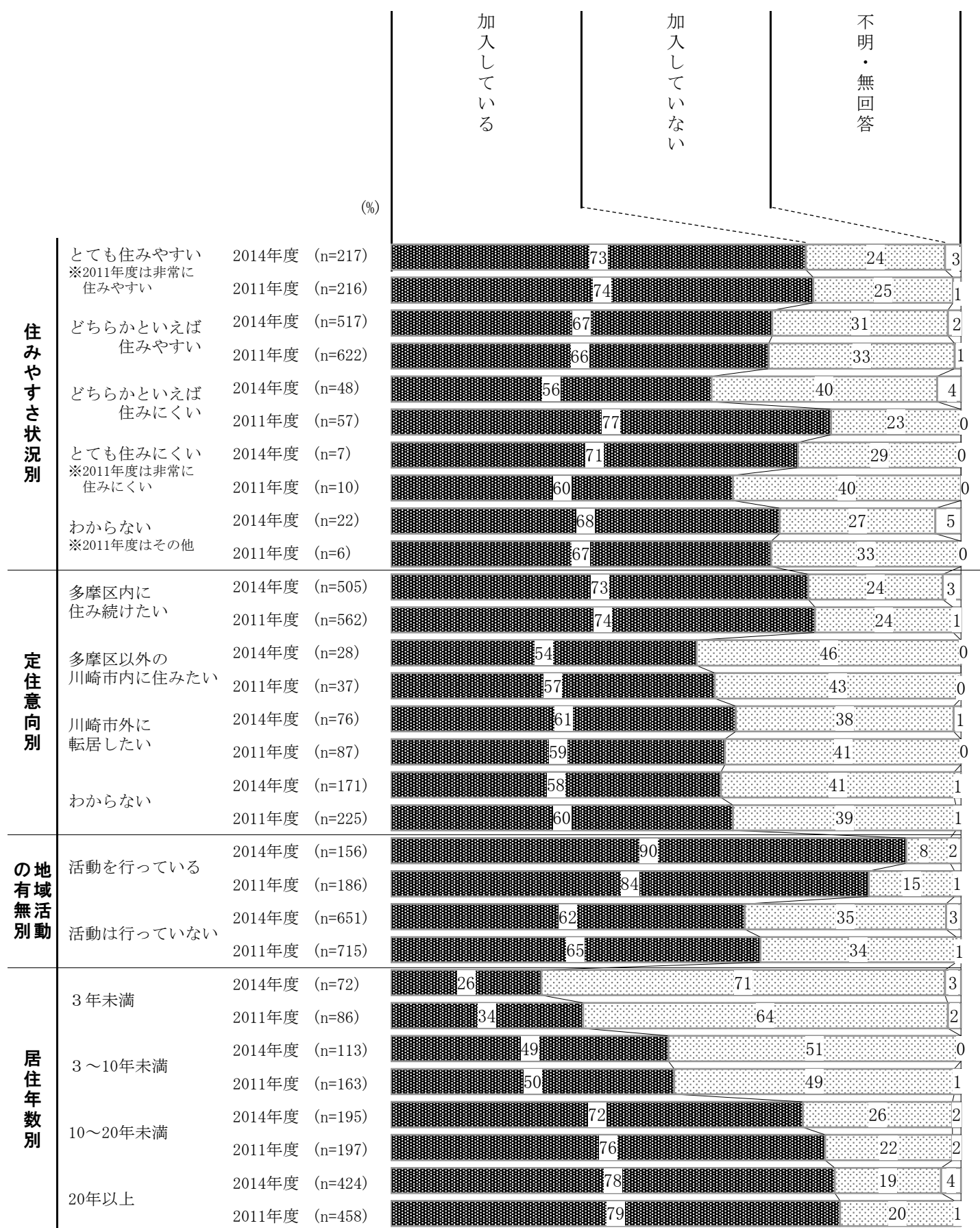
2011年度も、「加入している」（68.4%）が最も高く、ほぼ変わらない結果となった。

図 13-2 町内会・自治会への加入状況（性別・性年代別）



町内会・自治会への加入状況について性年代別で見たところ、男女ともに18～39歳までの加入率が他の年代と比べて低い結果となった。また2011年度と大きな傾向の変化は見られなかった。

図 13-3 町内会・自治会への加入状況
(住みやすさ状況別・定住意向別・地域活動の有無別・居住年数別)



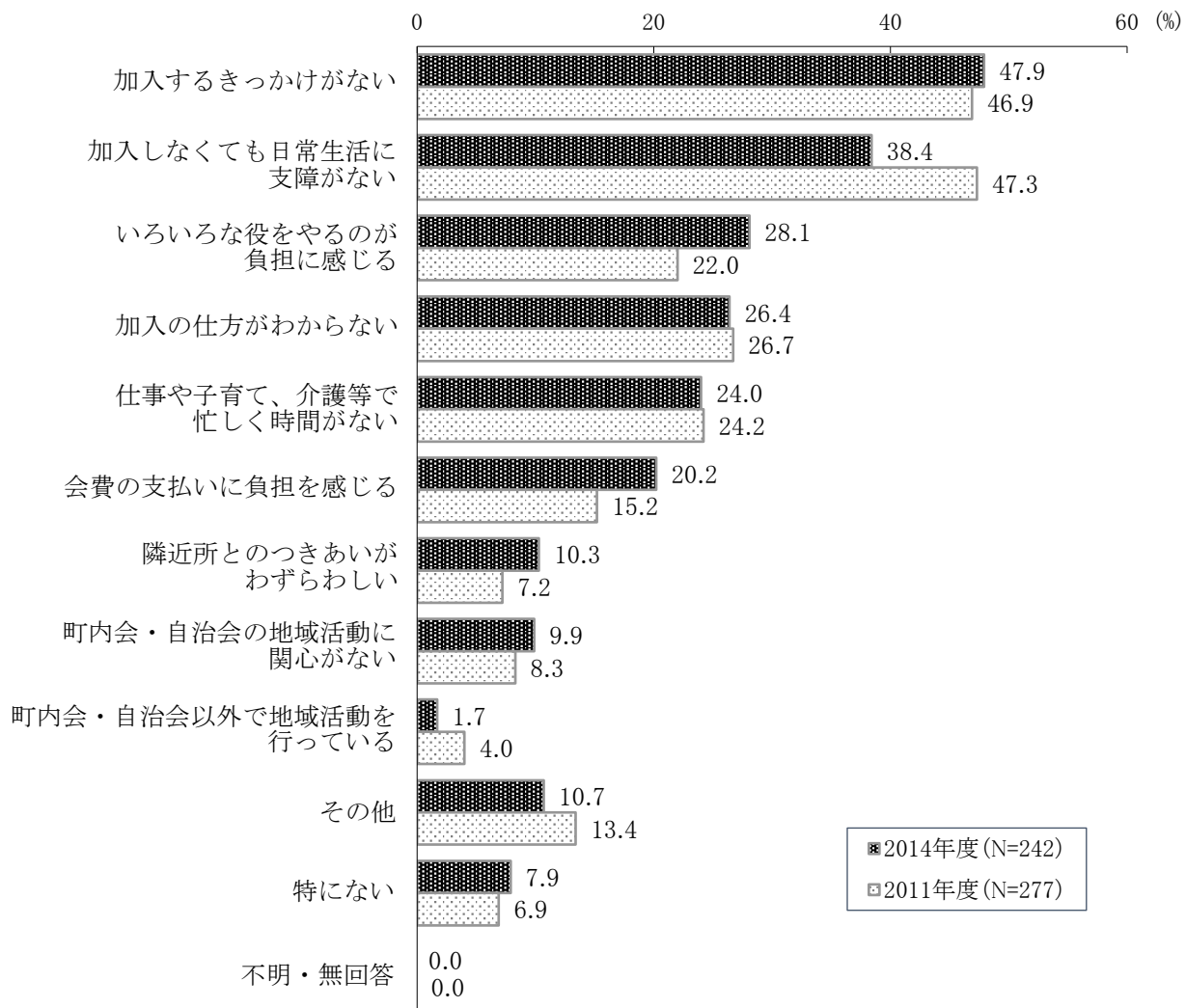
町内会・自治会への加入状況では、居住年数が高いほど「加入している」率が高い傾向となっており、2011年度と同様の傾向となった。

14. 町内会・自治会に加入していない理由

問9-1 あなたが町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

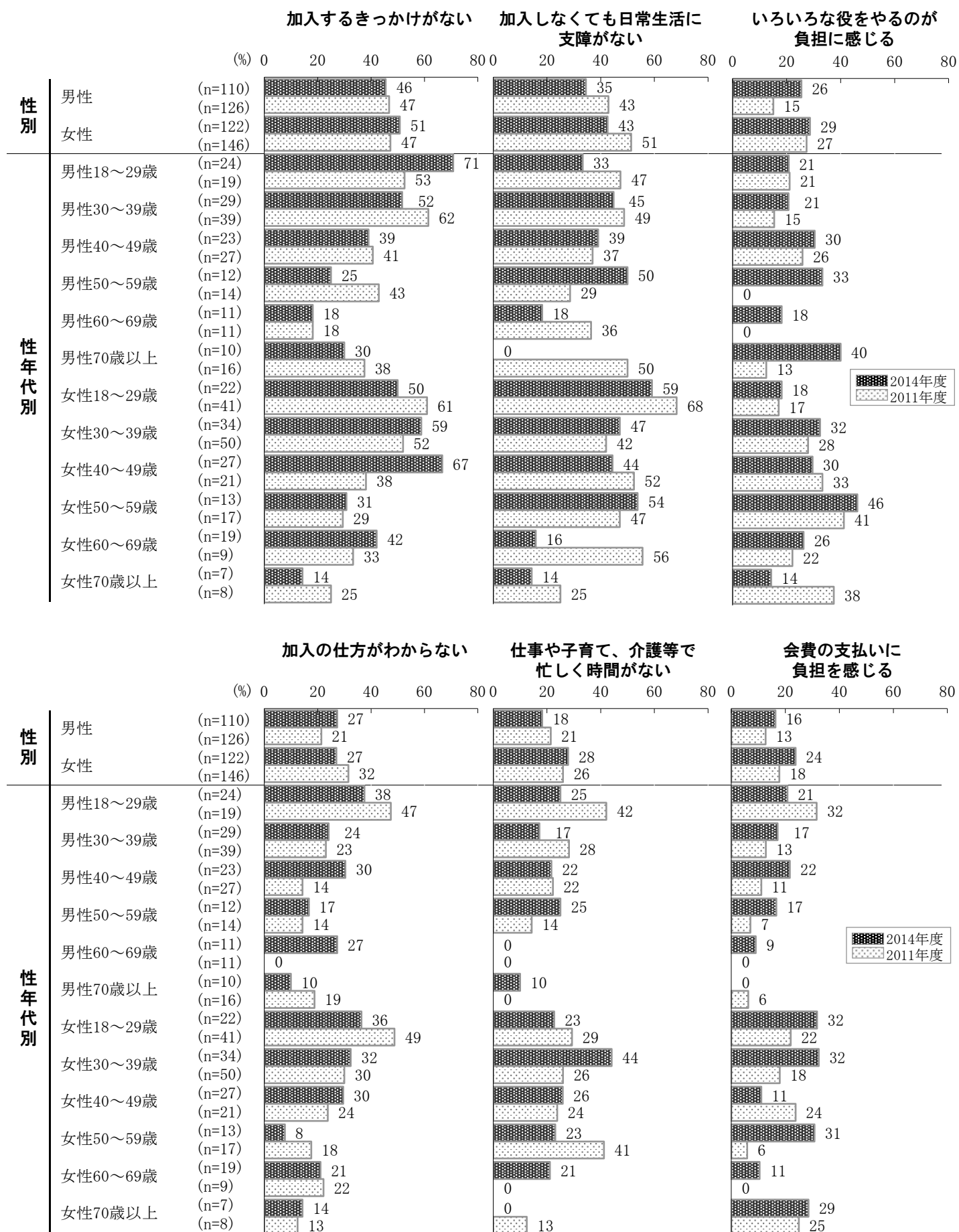
図14-1 町内会・自治会に加入していない理由



(13)の町内会・自治会への加入状況で「加入していない」と回答した人に町内会・自治会に加入していない理由について聞いたところ、「加入するきっかけがない」(47.9%)が最も高い結果となり、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(38.4%)、「いろいろな役をやるのが負担に感じる」(28.1%)、「加入の仕方がわからない」(26.4%)の順となった。

2014年度で1位であった「加入するきっかけがない」は、2011年度と比較して、1ポイントの差でほぼ変わらなかったが、2011年度に1位であった「加入しなくても日常生活に支障がない」は、2011年度と比較すると8.9ポイント減少する結果となった。

図 14-2 町内会・自治会に加入していない理由（性別・性年代別）

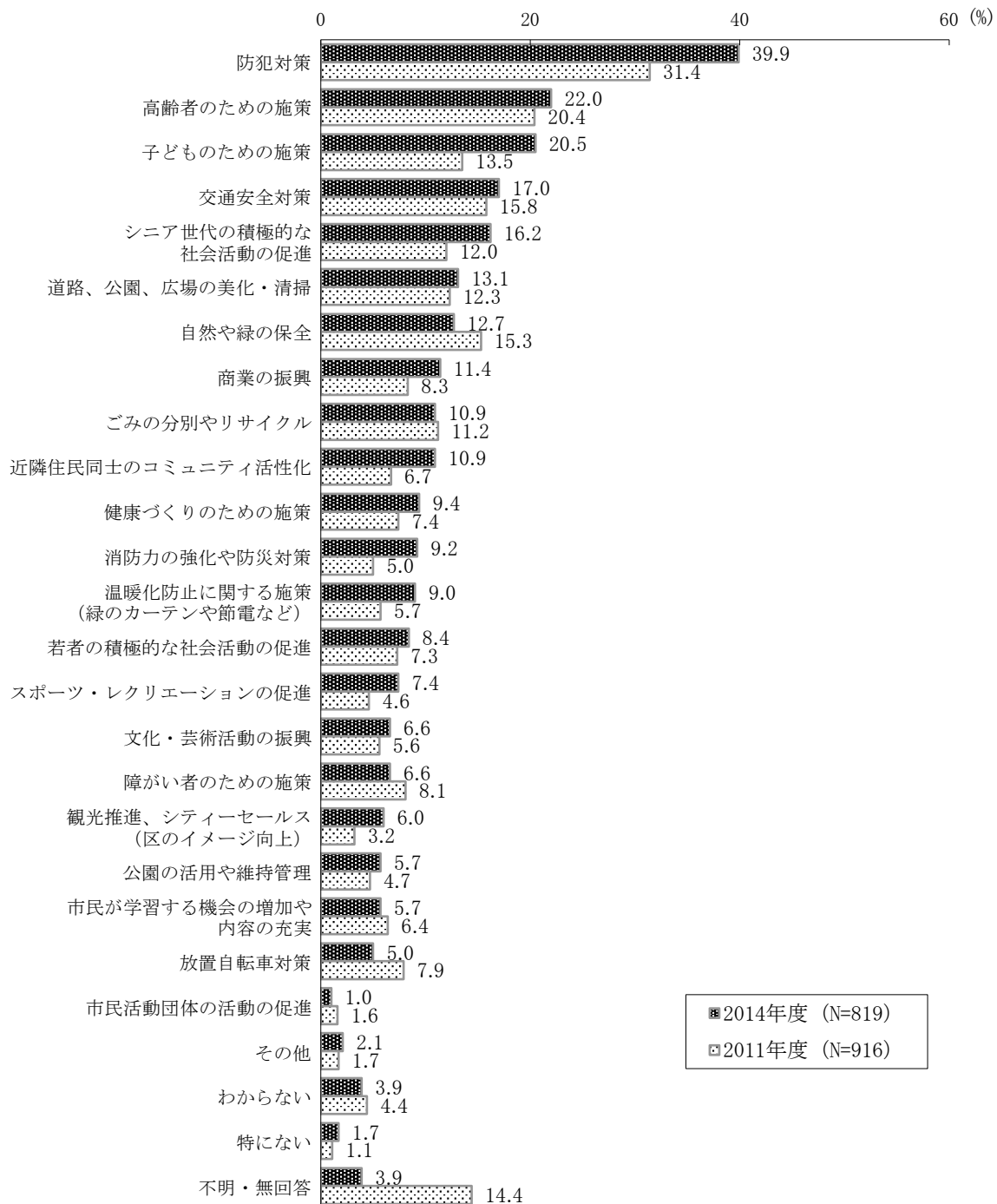


「加入するきっかけがない」の男性では「18～29歳」が最も高く、年代が下がるにつれ減少する結果であったが、女性では「40～49歳」と「30～39歳」が半数を超え、高い結果となった。

15. 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの

問10 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

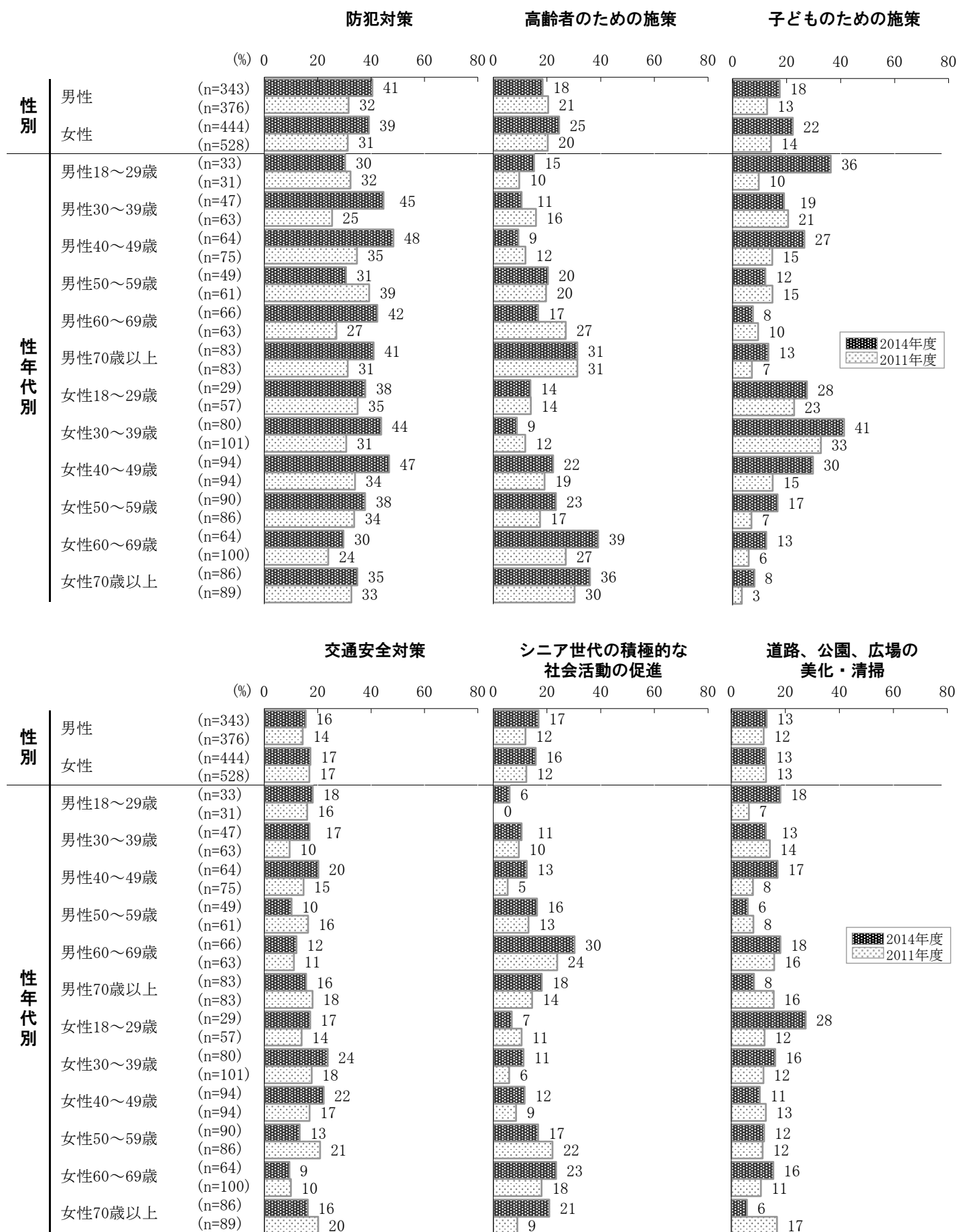
図15-1 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの



「区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの」について聞いたところ、「防犯対策」（39.9%）で最も高い結果となり、次いで「高齢者のための施策」（22.0%）、「子どものための施策」（20.5%）の順となった。

トップの「防犯対策」は、2011年度と比較して8.5ポイント上昇する結果となった。

図 15-2 区民と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うもの（性別・性年代別）

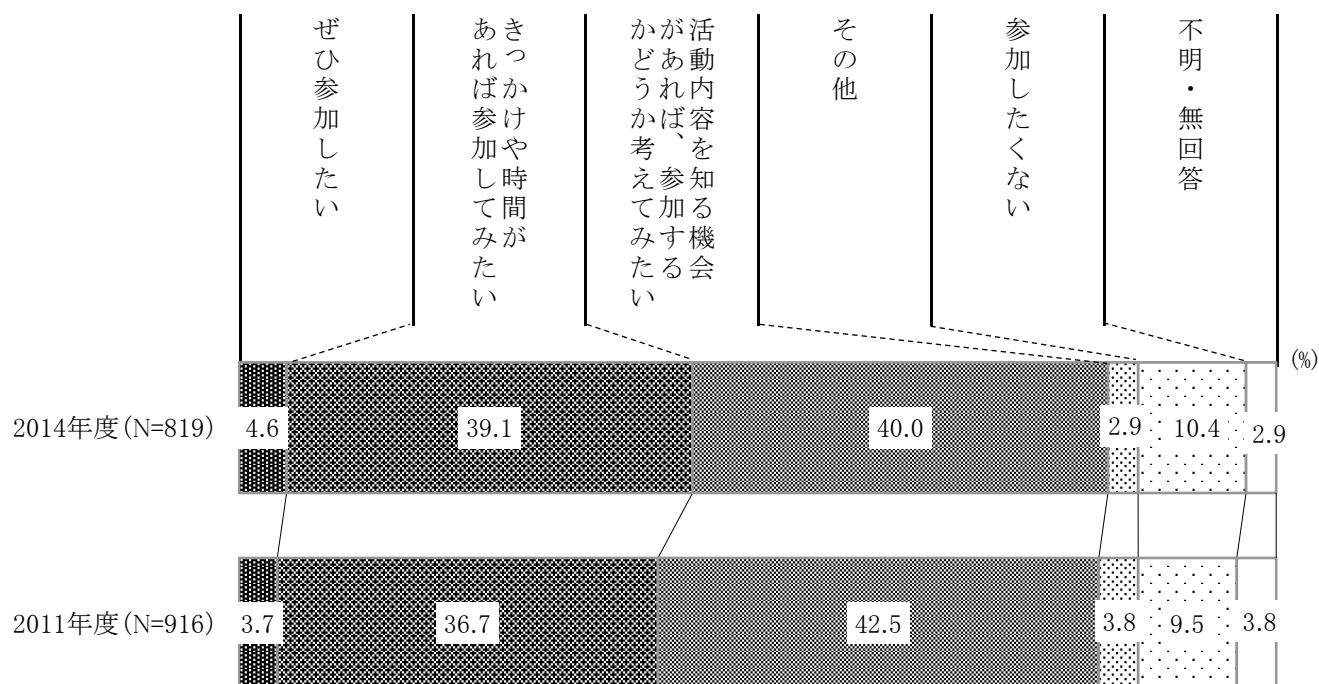


「防犯対策」の性別、性年代別で、「男性18～29歳」「男性50～59歳」を除き2011年度より高い結果となった。男女ともに「30～49歳」が他の年代と比較して高い傾向となった。

16. 今後の地域活動への参加意向

問11 あなたは今後、地域での活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

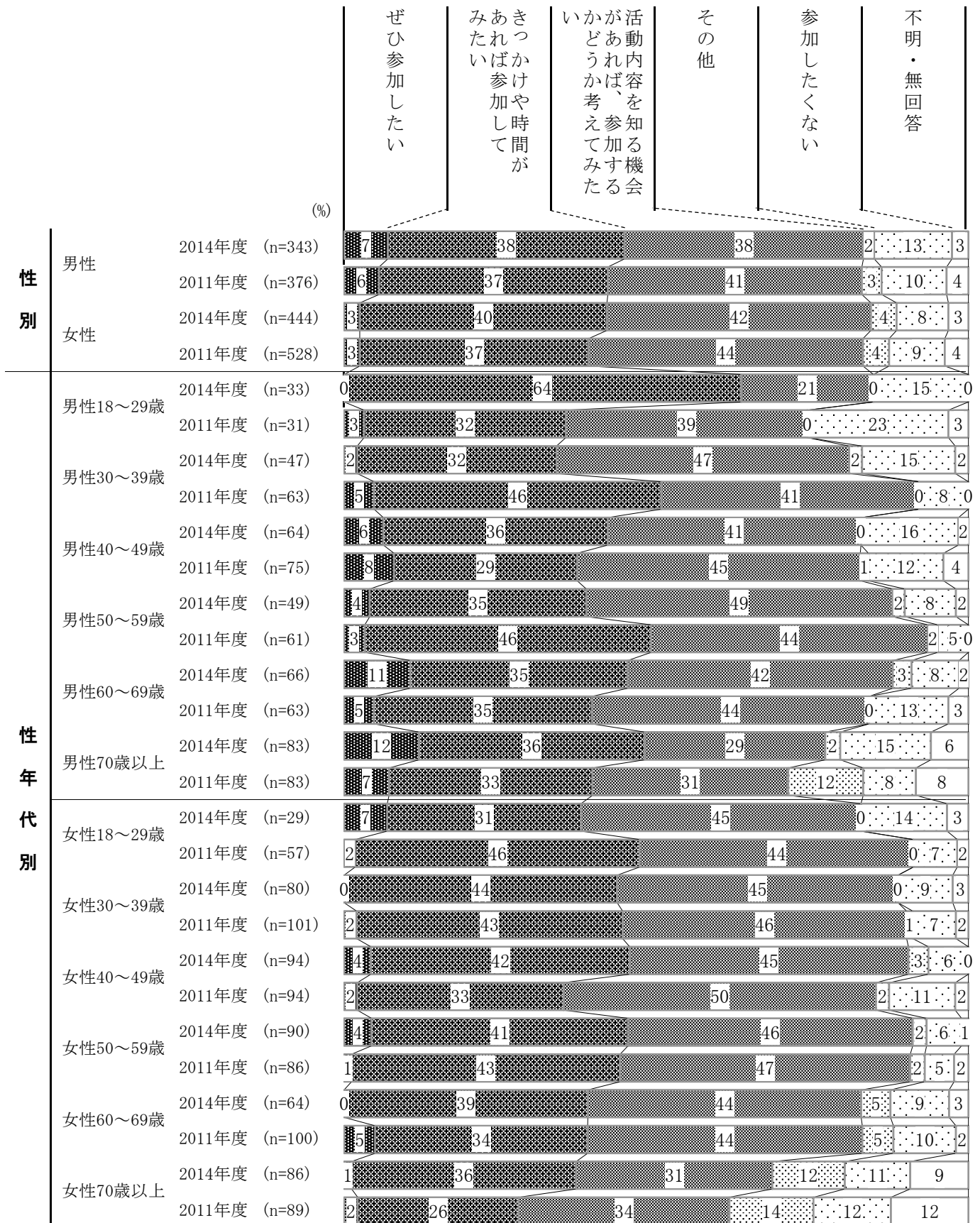
図 16-1 今後の地域活動への参加意向



「今後の地域活動への参加意向」について聞いたところ、「活動内容を知ることがあれば、参加するかどうか考えてみたい」（40.0%）で最も高く、次いで「きっかけや時間があれば参加してみたい」（39.1%）も僅差であった。「ぜひ参加したい」は、わずか（4.6%）であった。

2011年度も2014年度と比較して、ほぼ同じ傾向であったが、「ぜひ参加したい」と「きっかけや時間があれば参加してみたい」をあわせた『参加してみたい』計では（43.7%）となり、2011年度よりも3.3ポイント上昇する結果となった、

図 16-2 今後の地域活動への参加意向（性別・性年代別）

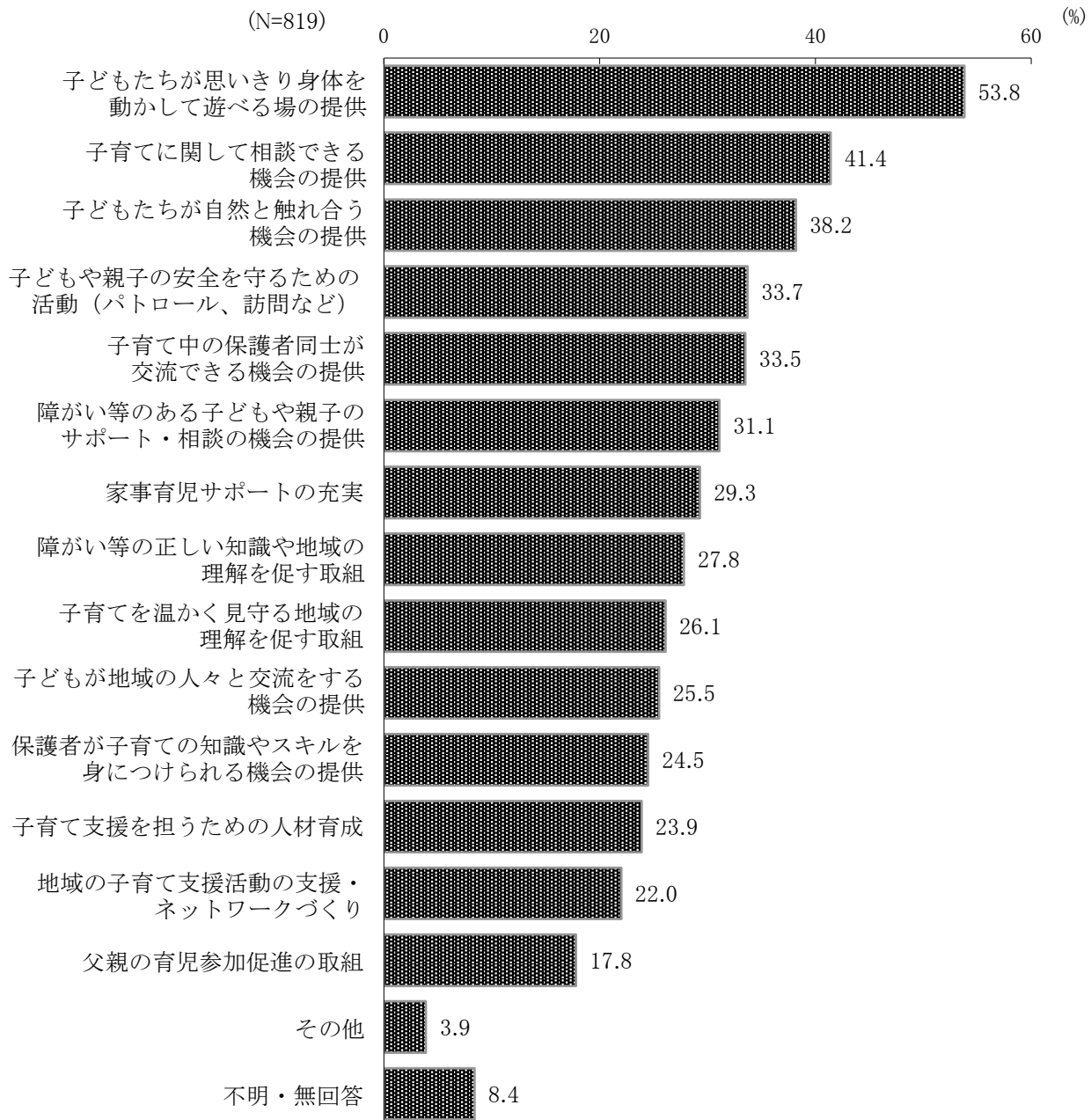


「ぜひ参加したい」「きっかけや時間があれば参加してみたい」を合わせた『参加してみたい計』では、「男性18～29歳」が最も高い結果となった。

17. 子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの

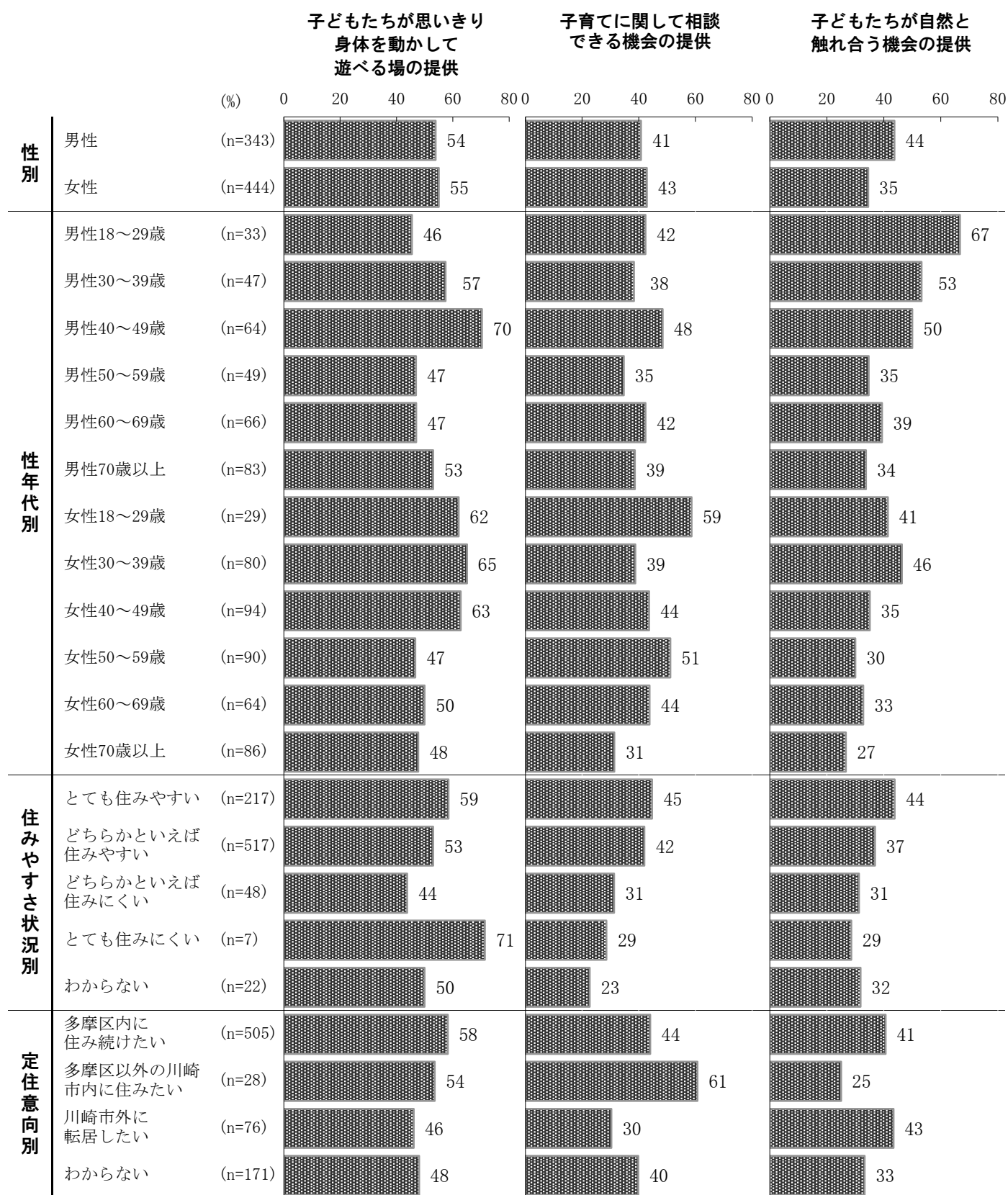
問12 子育てにやさしい地域づくりのために、区役所が地域とともに協力して進める取組として、より充実した方がよいものは何だと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

図 17-1 子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの



「子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの」について聞いたところ、「子どもたちが思いきり身体を動かして遊べる場の提供」（53.8%）が最も高く、「子育てに関して相談できる機会の提供」（41.4%）、「子どもたちが自然と触れ合う機会の提供」（38.2%）の順となった。

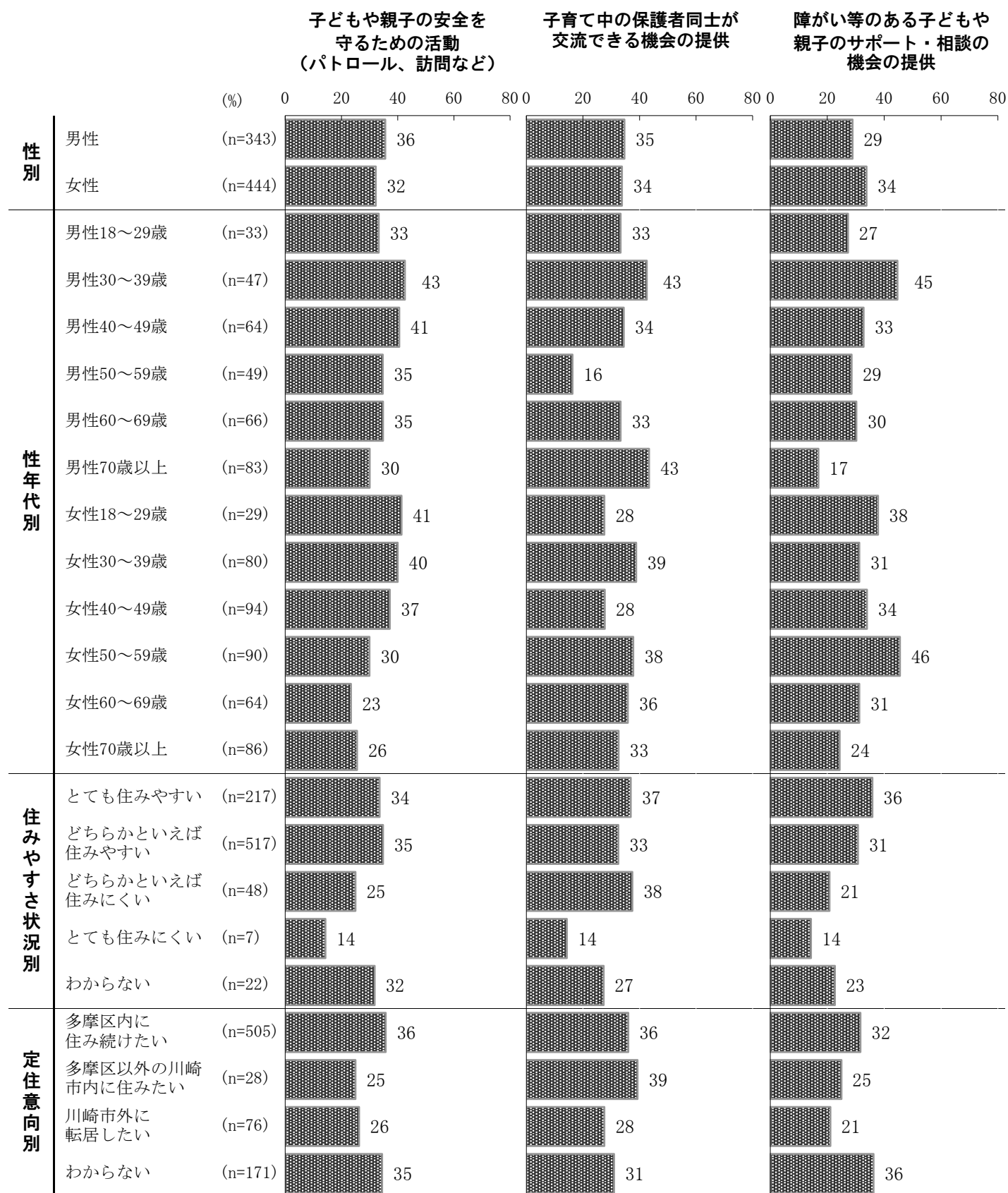
図 17-2 子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの ①
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別)



「子どもたちが思いきり身体を動かして遊べる場の提供」では、性年代別で男性40～49歳と女性18～49歳で60%を超え、高い結果となった。

また「子育てに関して相談できる機会の提供」と「子どもたちが自然と触れ合う機会の提供」の住みやすさ状況別で、「とても住みやすい」と「とても住みにくい」で10ポイント以上の開きとなり、差が見られる結果となった。

図 17-3 子育てにやさしい地域づくりのために充実した方がよいもの ②
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・定住意向別)

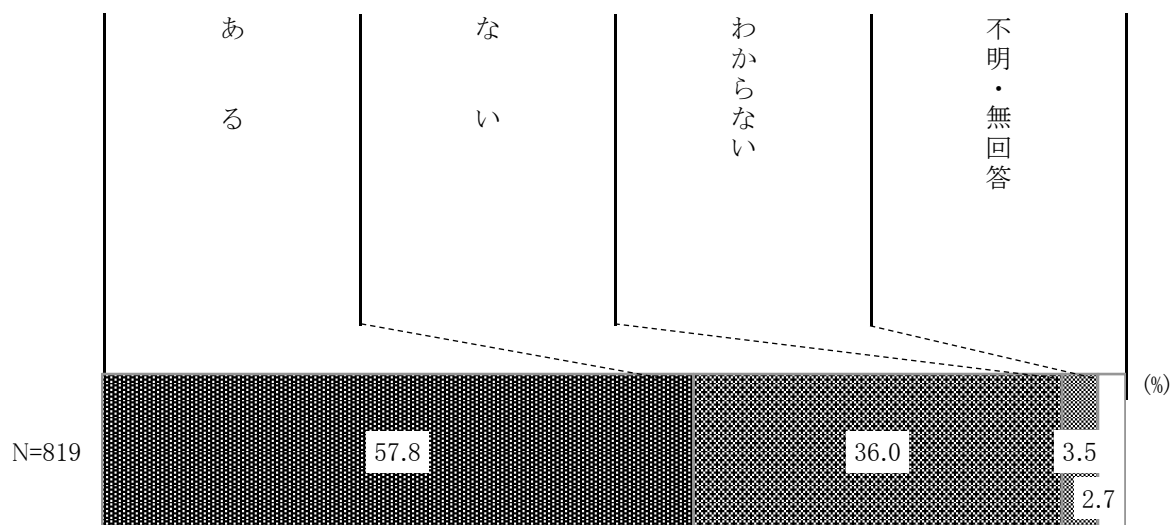


「子どもや親子の安全を守るための活動（パトロール、訪問など）」では、性年代別の男性30～49歳と女性18～39歳で40%を超え、他の性年代と比較して高い結果となった。

18. 災害発生への取り組み経験

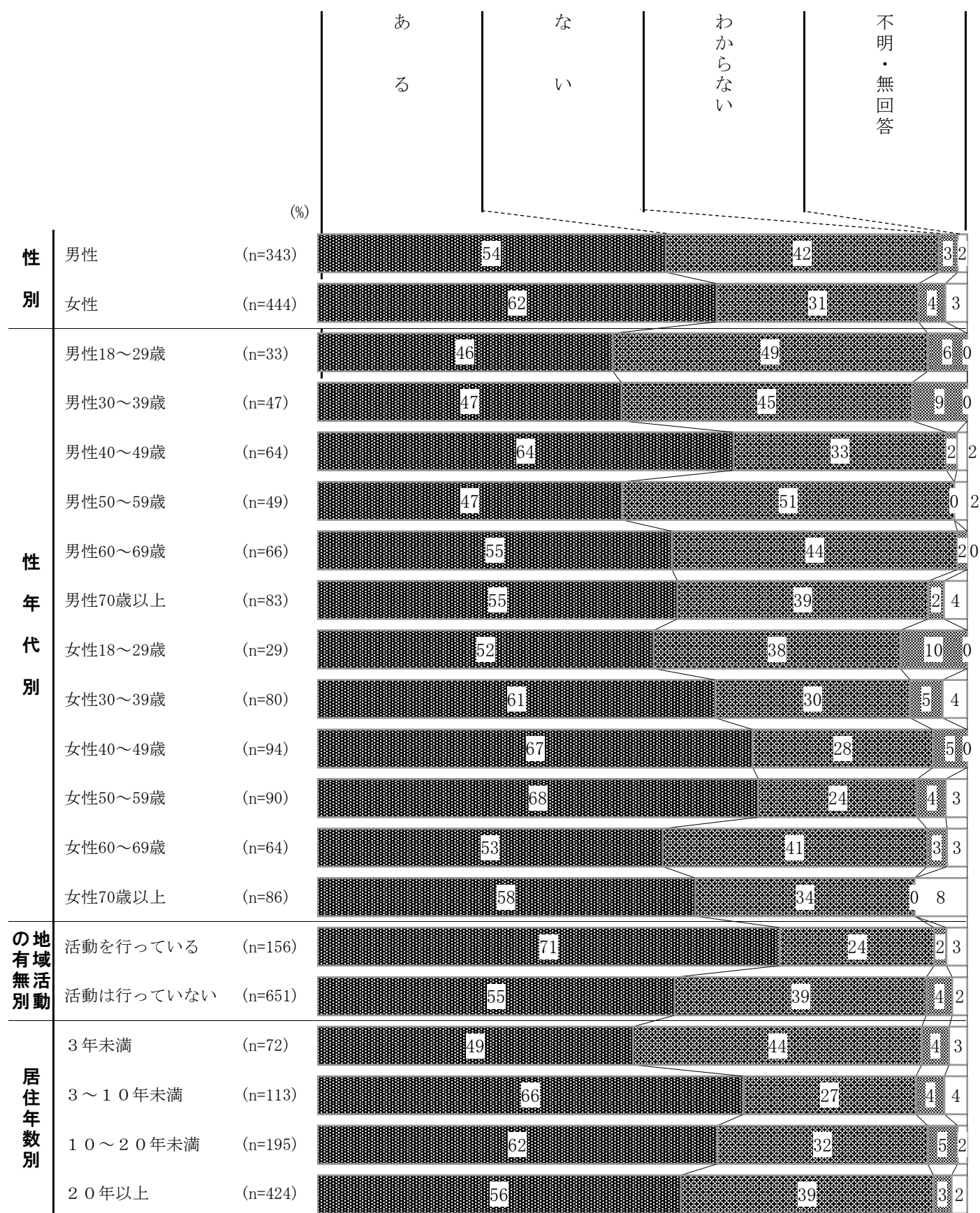
問13 あなたは、この1年間に、災害発生への備えとして、具体的に取り組んだことがありますか。（○は1つだけ）

図 18-1 災害発生への取り組み経験



「災害発生への取り組み経験」について聞いたところ、「ある」（57.8%）が半数を超える結果となった。

図 18-2 災害発生への取り組み経験（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別）

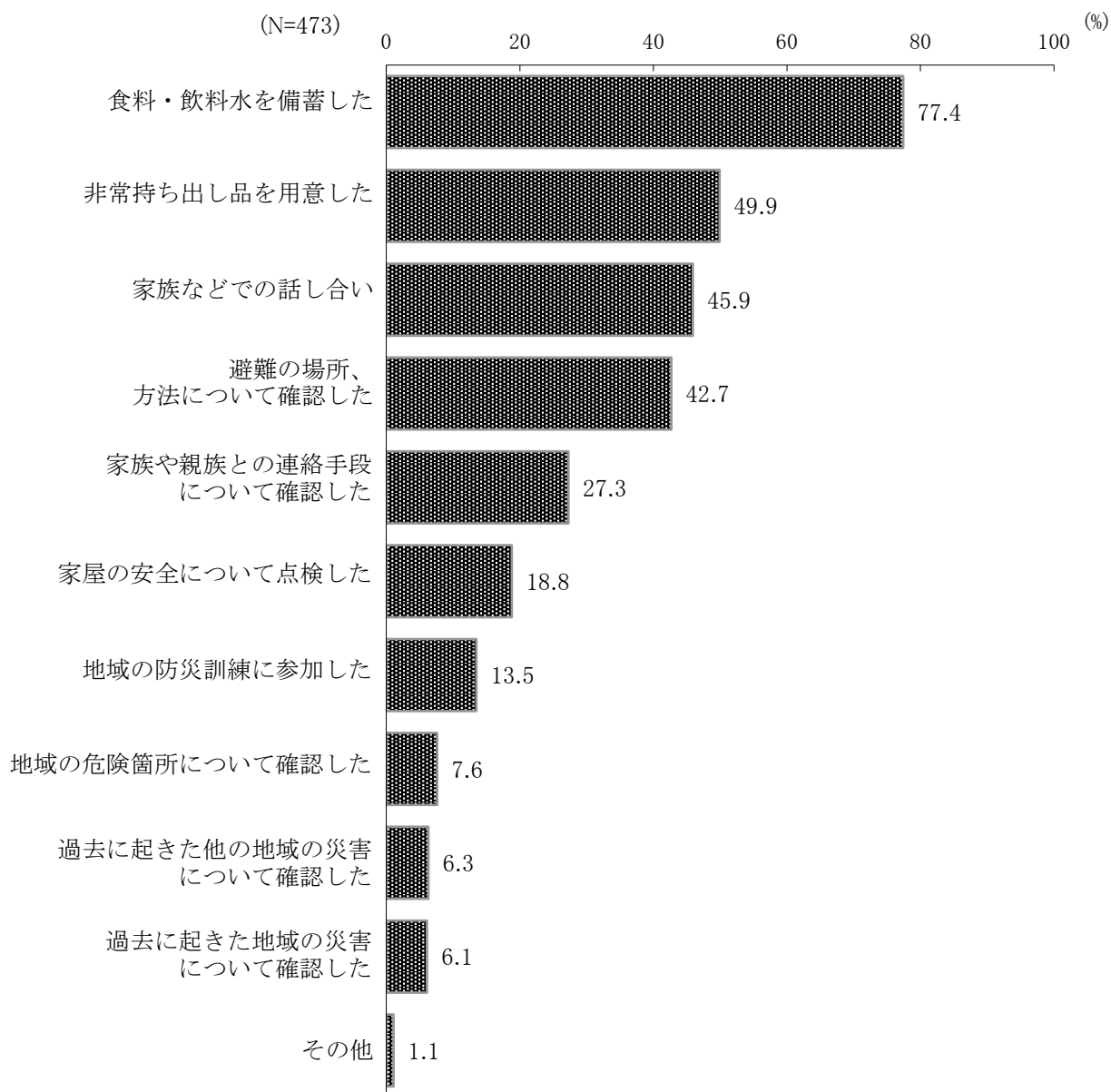


災害発生への取り組み経験では、地域活動の有無別で「活動を行っている」が70%を超える結果となり、「活動を行っていない」と比較して16ポイントの差となった。また居住年数別でも「3～10年未満」で60%を超える結果となり、「3年未満」と比較して17ポイント高い結果となった。

19. 災害発生への備えとして取り組んだこと

問13-1 具体的に取り組んだことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

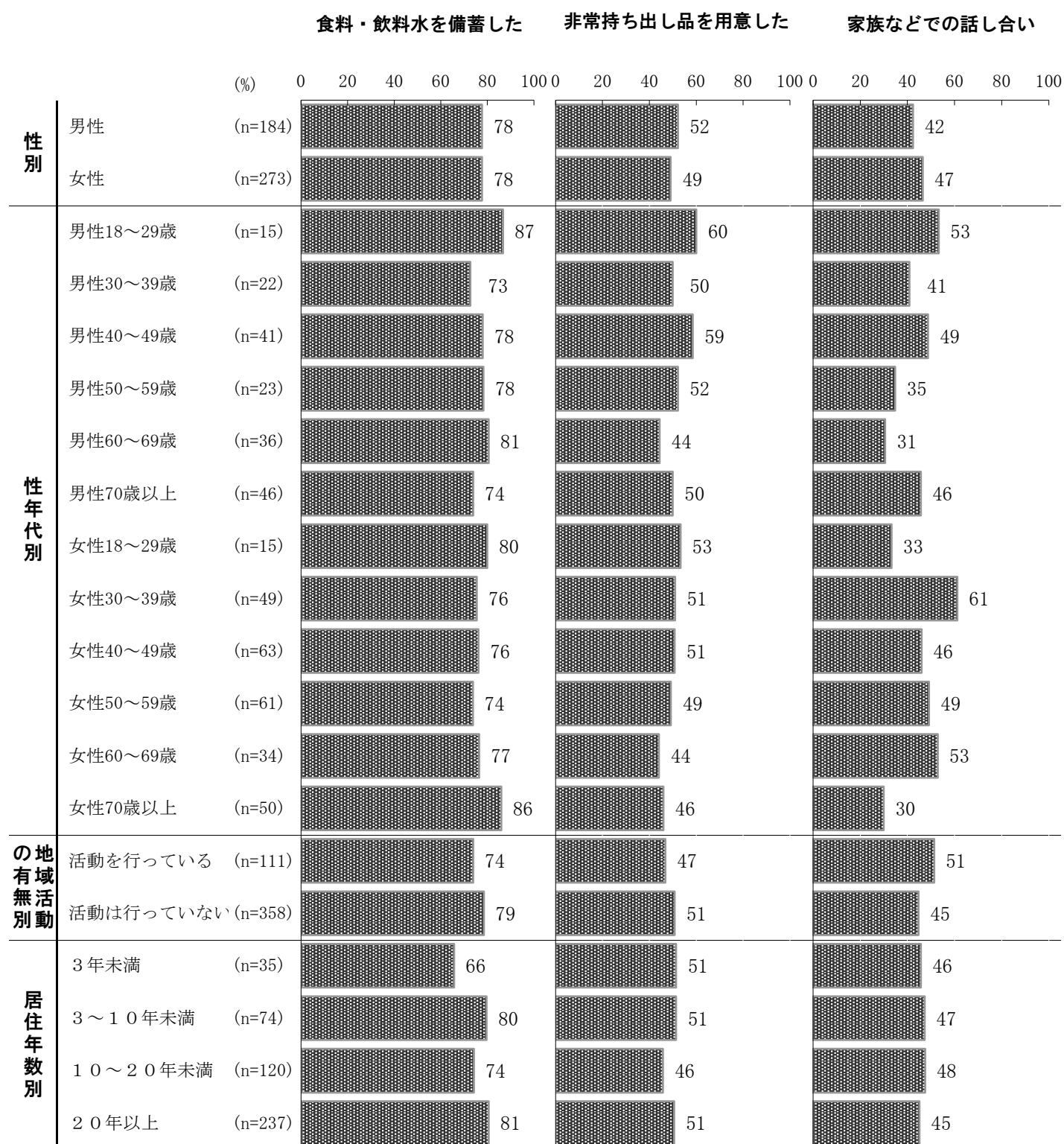
図 19-1 災害発生への備えとして取り組んだこと



（18）の災害発生への取り組み経験で「ある」と回答した人に「災害発生への備えとして取り組んだこと」について聞いたところ、「食料・飲料水を備蓄した」（77.4%）と約4分の3の割合となった。

次いで「非常持ち出し品を用意した」（49.9%）、「家族などでの話し合い」（45.9%）、「避難の場所、方法について確認した」（42.7%）の順となり、「食料・飲料水を備蓄した」を含めた4項目が40%を超え、高い結果となった。

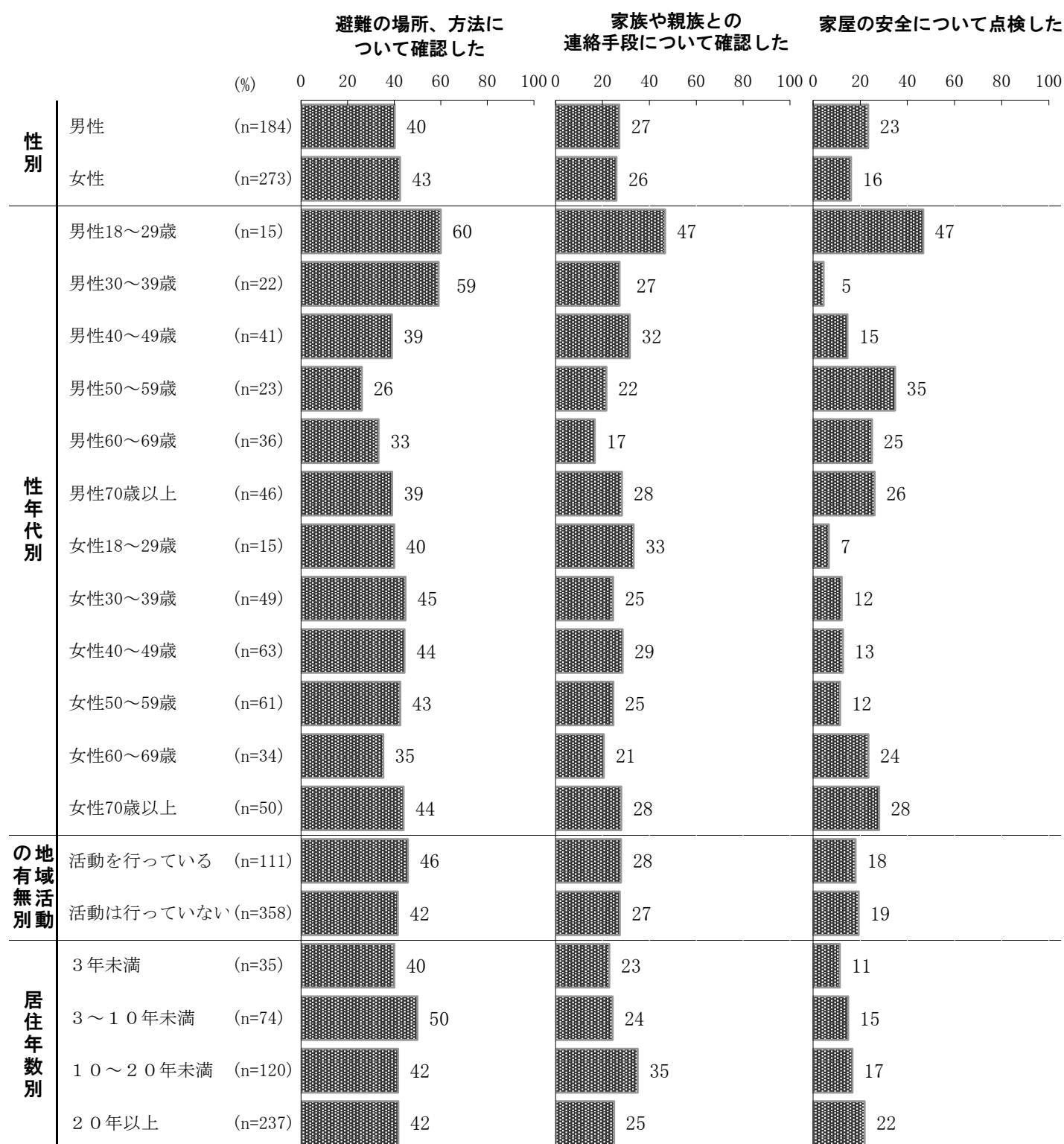
図 19-2 災害発生への備えとして取り組んだこと ①
 <上位6項目> (性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別)



「食料・飲料水を備蓄した」では、性別、性年代別、地域活動の有無別、居住年数別の全てで、60%を超える高い結果となり、特に大きな差は見られなかった。

また同じく「非常持ち出し品を用意した」でも大きな差は見られなかった。

図 19-3 災害発生への備えとして取り組んだこと ②
 <上位6項目> (性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別)



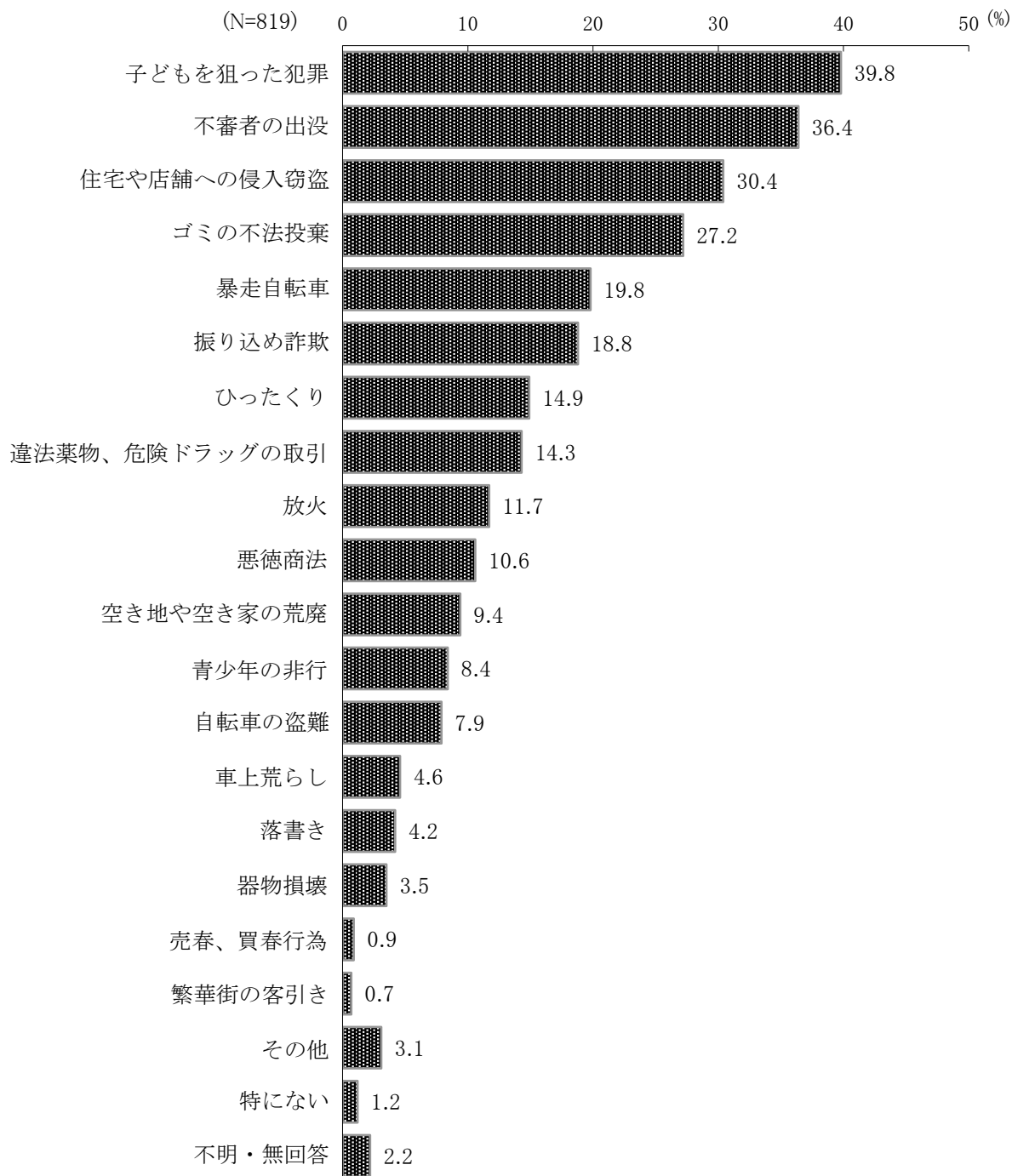
「避難の場所、方法について確認した」では、男性18～30歳で半数を超える結果となり、他の性年代別と比較して高い結果となった。

20. 犯罪に関して特に気になっている問題

問14 あなたが、防犯に関して、身近な問題として特に気になっているものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。

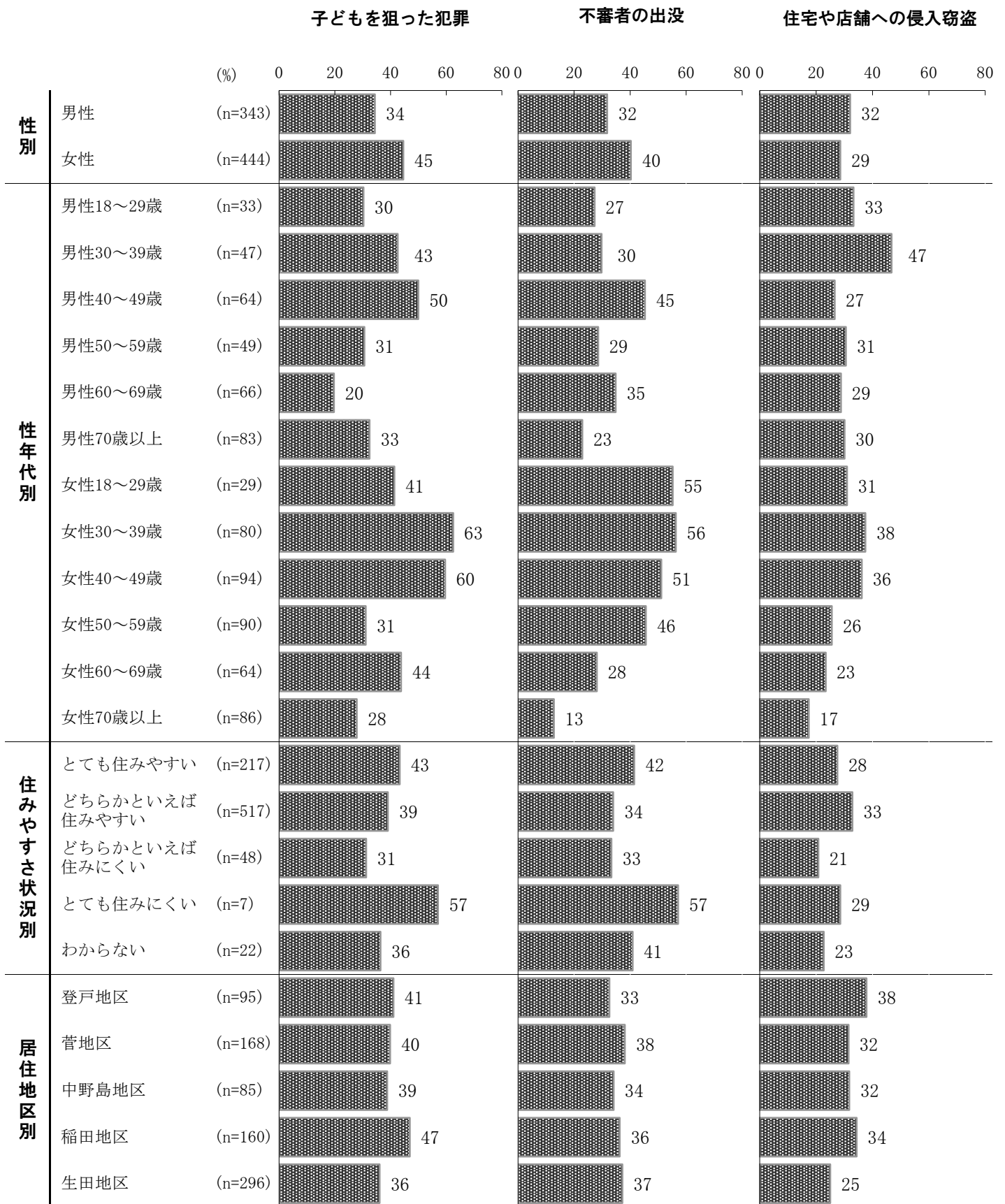
(番号は3つまで)

図 20-1 犯罪に関して特に気になっている問題



「犯罪に関して特に気になっている問題」について上位3つまで聞いたところ、「子どもを狙った犯罪」(39.8%)が最も高く、次いで「不審者の出没」(36.4%)、「住宅や店舗への侵入窃盗」(30.4%)の順となった。

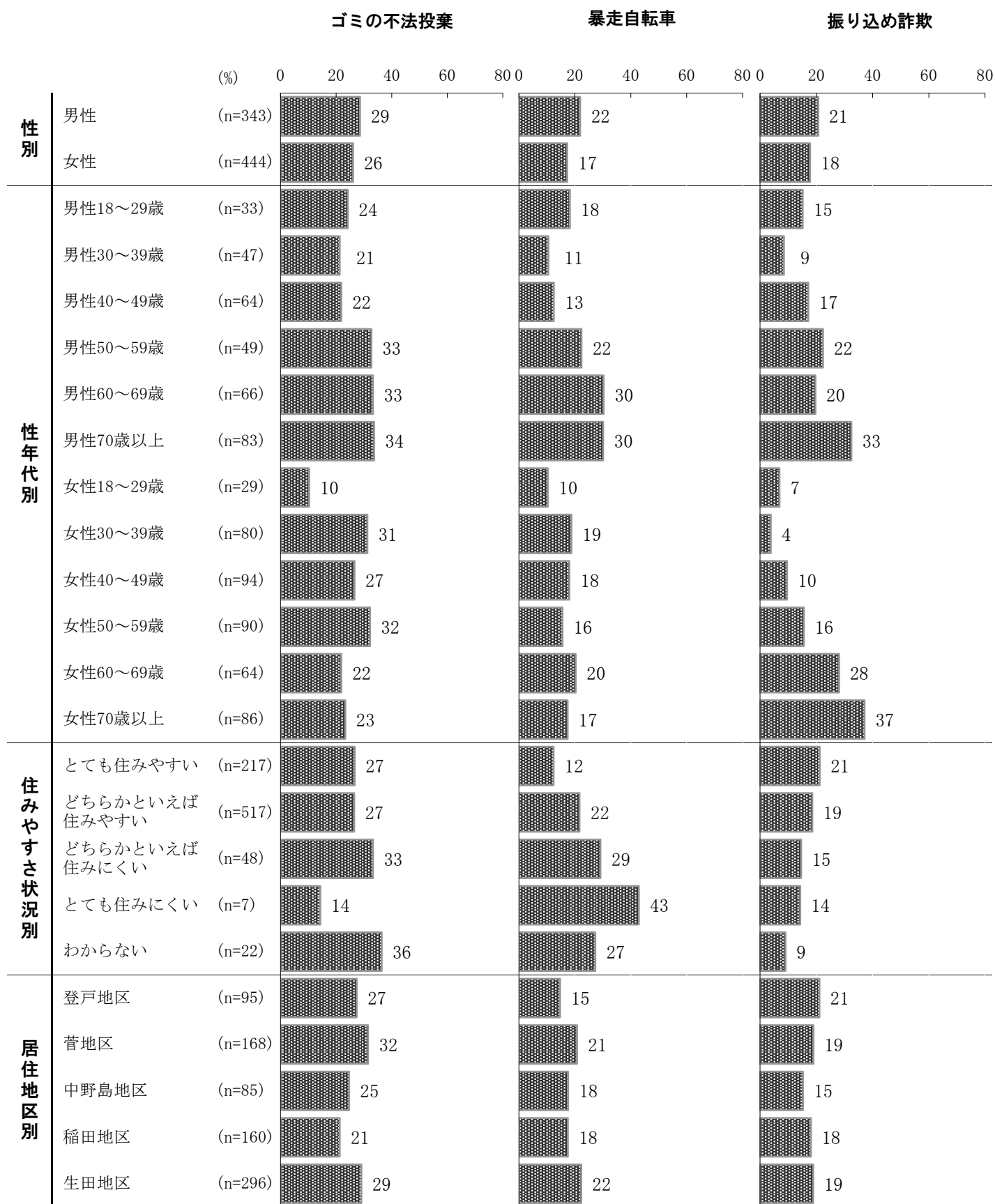
図 20-2 犯罪に関して特に気になっている問題 ①
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住地区別)



「子どもを狙った犯罪」では、男性よりも女性の方が11ポイント高く、性年代別では女性30～49歳で60%を超え、高い結果となった。

また「不審者の出没」では、女性18～49歳で50%を超え、他の性年代より高い結果となった。

図 20-3 犯罪に関して特に気になっている問題 ②
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住地区別)



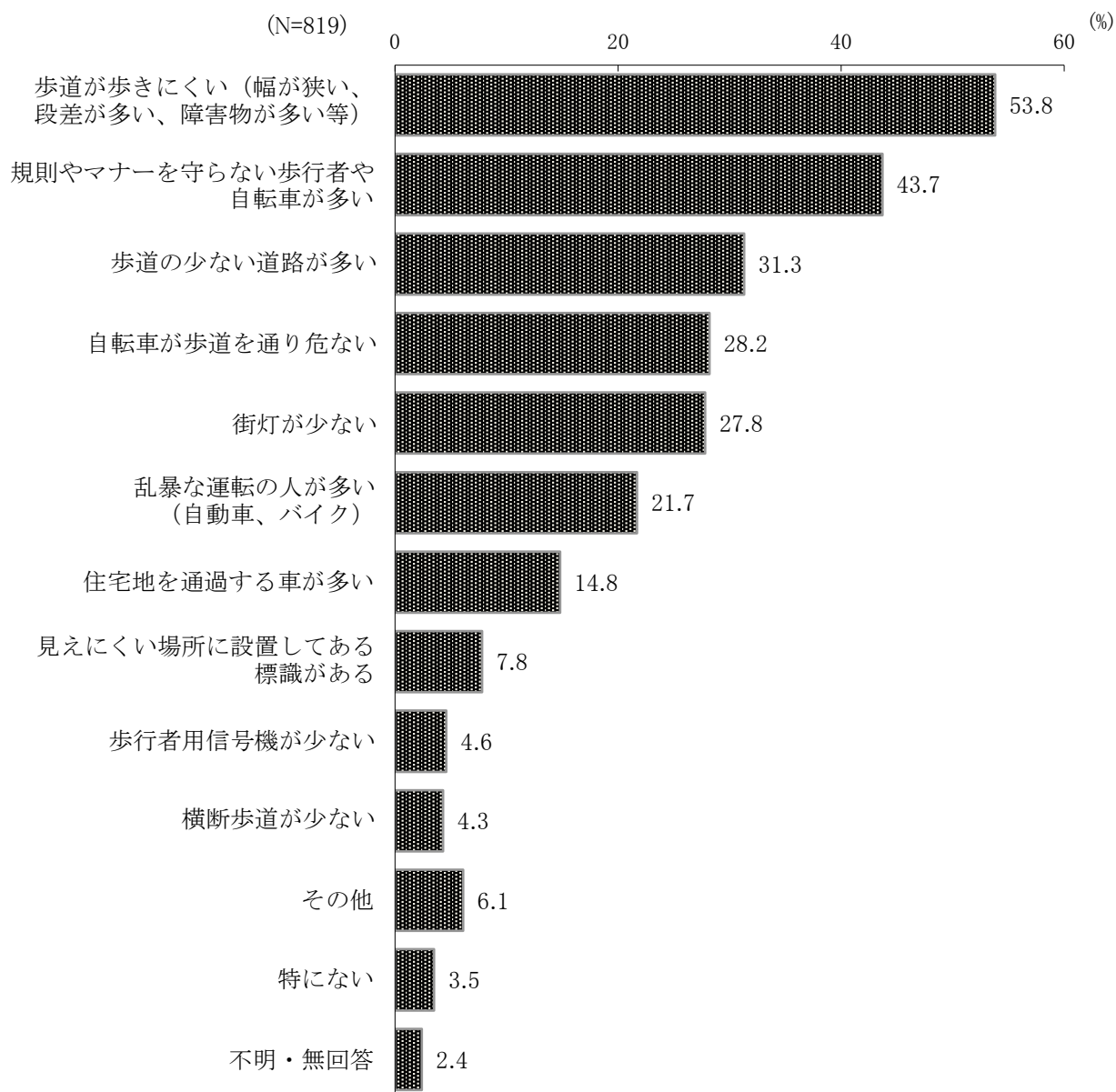
「振り込め詐欺」では、男性70歳以上と女性70歳以上で30%を超える結果となり、他の性年代と比較して高い結果となった。

2 1. 交通安全に関して特に気になっている問題

問15 あなたが、交通安全に関して、身近な問題として気になっているものは何ですか。次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。

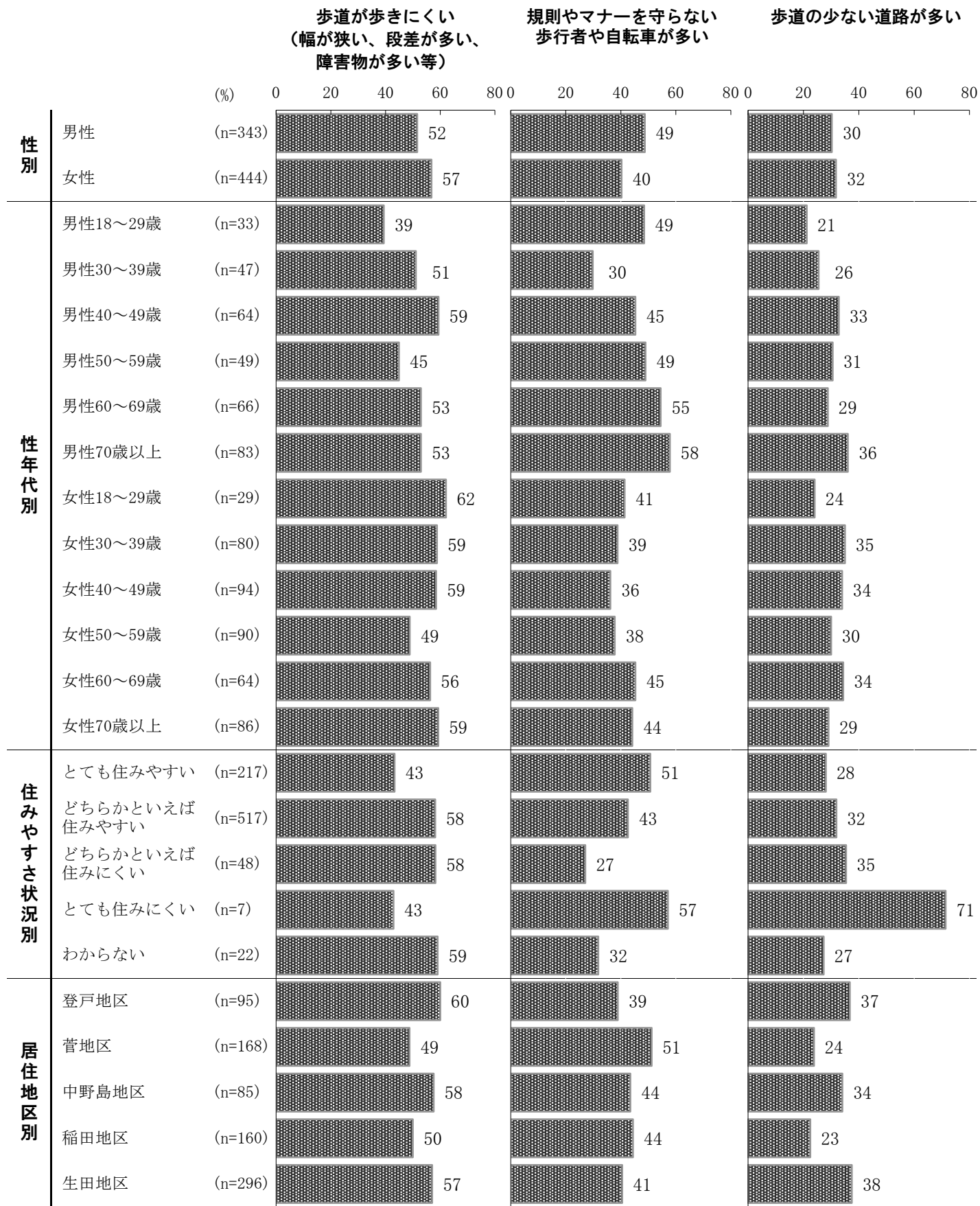
(番号は3つまで)

図 2 1 - 1 交通安全に関して特に気になっている問題



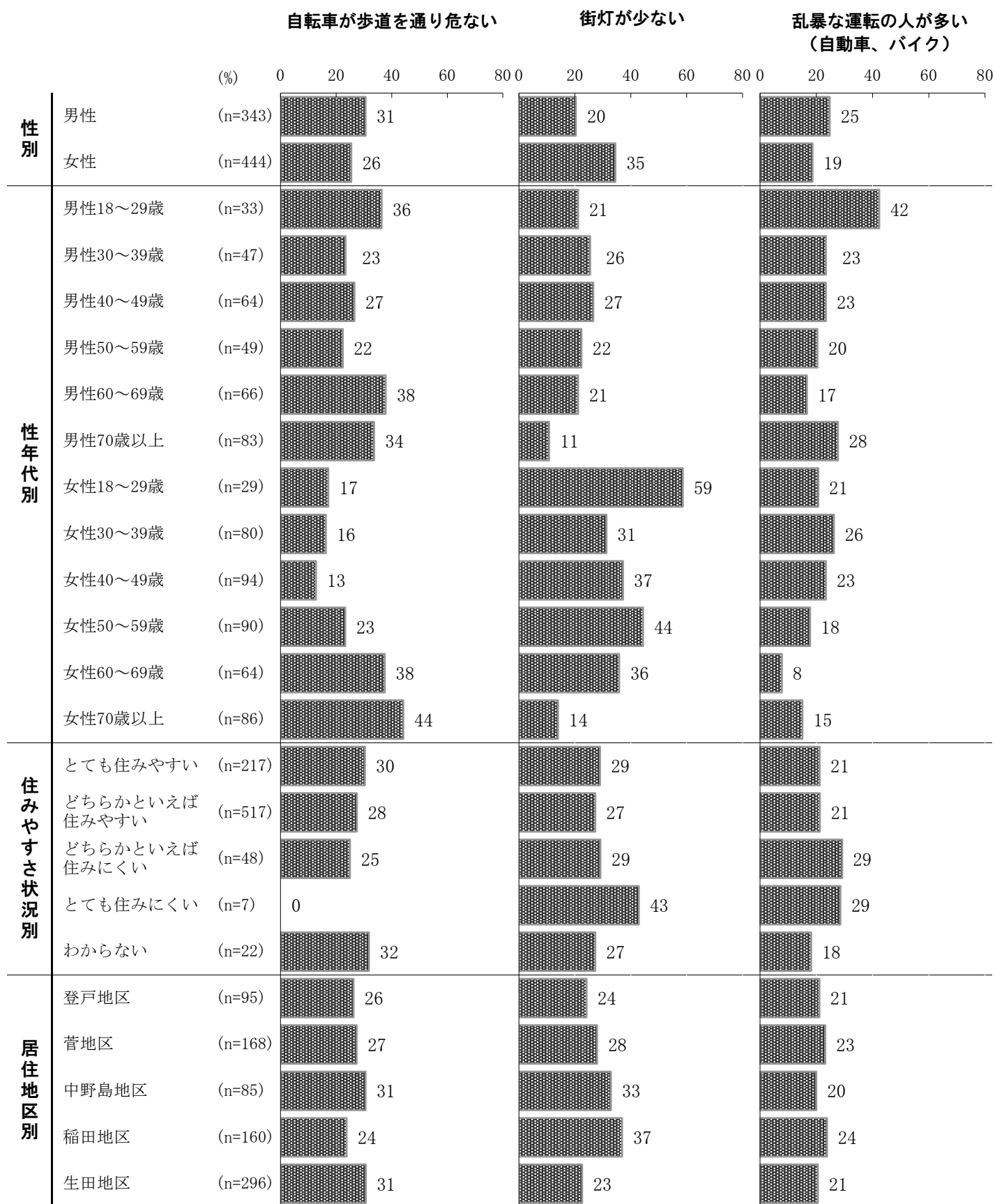
「交通安全に関して特に気になっている問題」について上位3つまで聞いたところ、「歩道が歩きにくい（幅が狭い、段差が多い、障害物が多い等）」（53.8%）と半数を超え最も高く、次いで「規則やマナーを守らない歩行者や自転車が多い」（43.7%）、「歩道の少ない道路が多い」（31.3%）の順となった。

図 21-2 交通安全に関して特に気になっている問題 ①
＜上位6項目＞（性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住地区別）



「規則やマナーを守らない歩行者や自転車が多い」では、男性60～69歳と男性70歳以上で、50%を超え、他の性年代より高い結果となった。また「歩道が歩きにくい（幅が狭い、段差が多い、障害物が多い等）」と「歩道の少ない道路が多い」では、菅地区、稲田地区が他地区より、やや低い結果となった。

図 21-3 交通安全に関して特に気になっている問題 ②
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住地区別)

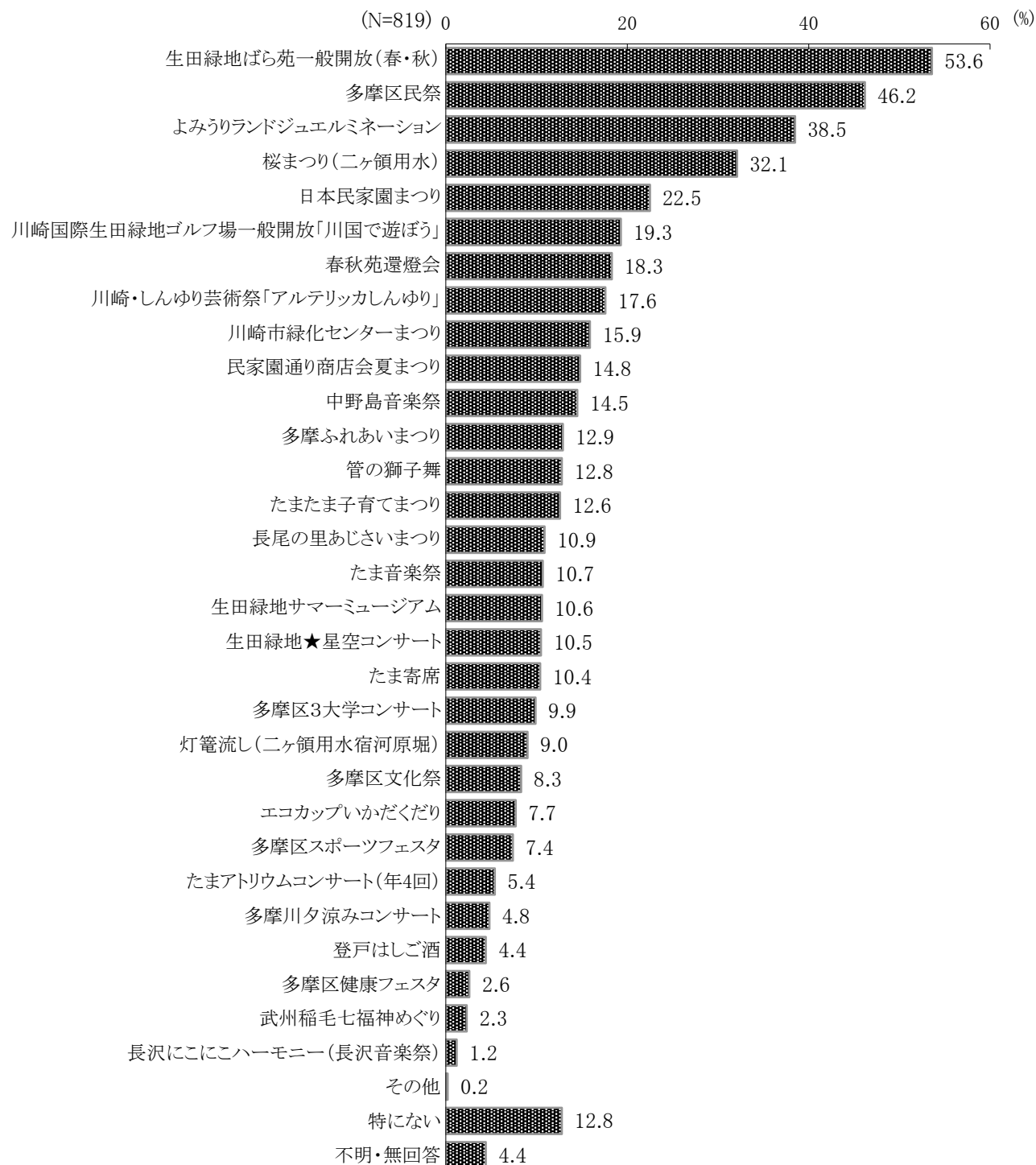


「自転車歩道を通り危ない」では、男女ともに60～69歳と70歳以上で30%を超え、他の性年代より高い結果となった。「街灯が少ない」では、男性よりも女性の方が15ポイント高く、特に女性18～29歳で59%と他年代よりも高い結果となった。

22. 参加したことがある／知っている地域イベント

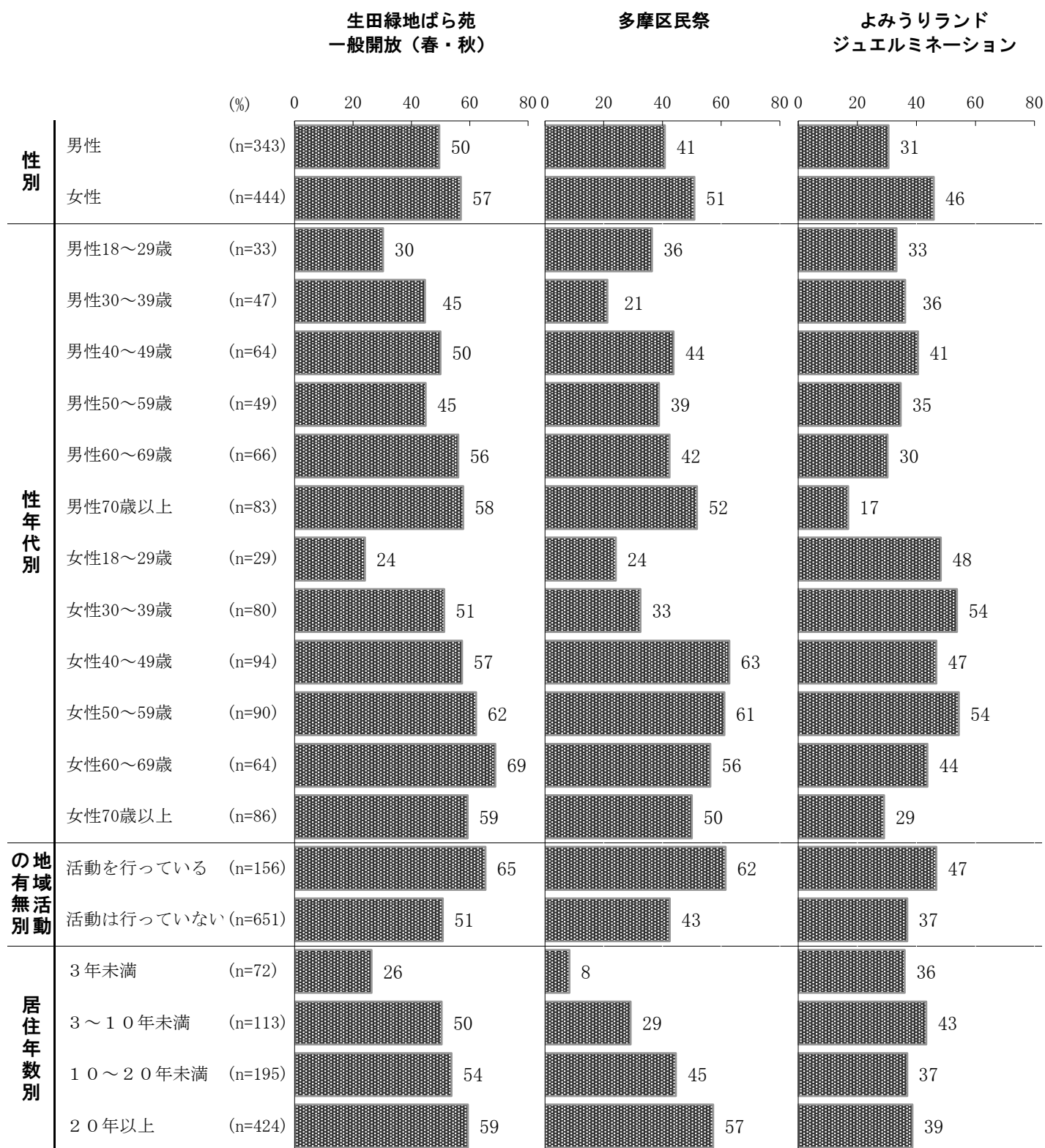
問16 地域の魅力を活かしたイベントなどのうち、あなたが参加したことがある、または知っているイベントはありますか。（あてはまるものすべてに○）

図 22-1 参加したことがある／知っている地域イベント



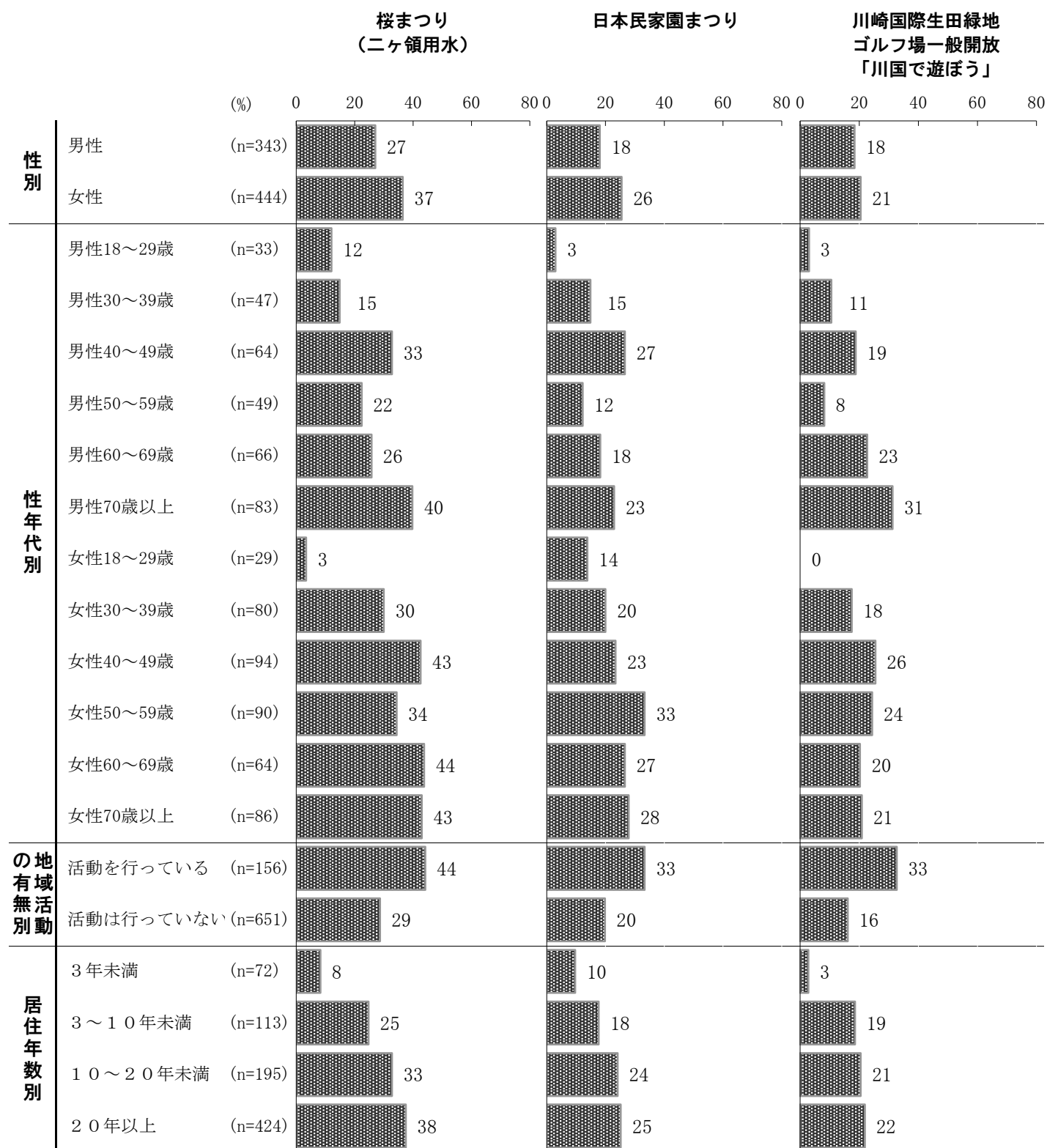
「参加したことがある／知っている地域イベント」について聞いたところ、「生田緑地ばら苑一般開放(春・秋)」(53.6%)が半数を超え最も高く、「多摩区民祭」(46.2%)、「よみうりランドジュエルミネーション」(38.5%)、「桜まつり(二ヶ領用水)」(32.1%)までが30%を超え、高い結果となった。

図 22-2 参加したことがある／知っている地域イベント①
 <上位9項目> (性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別)



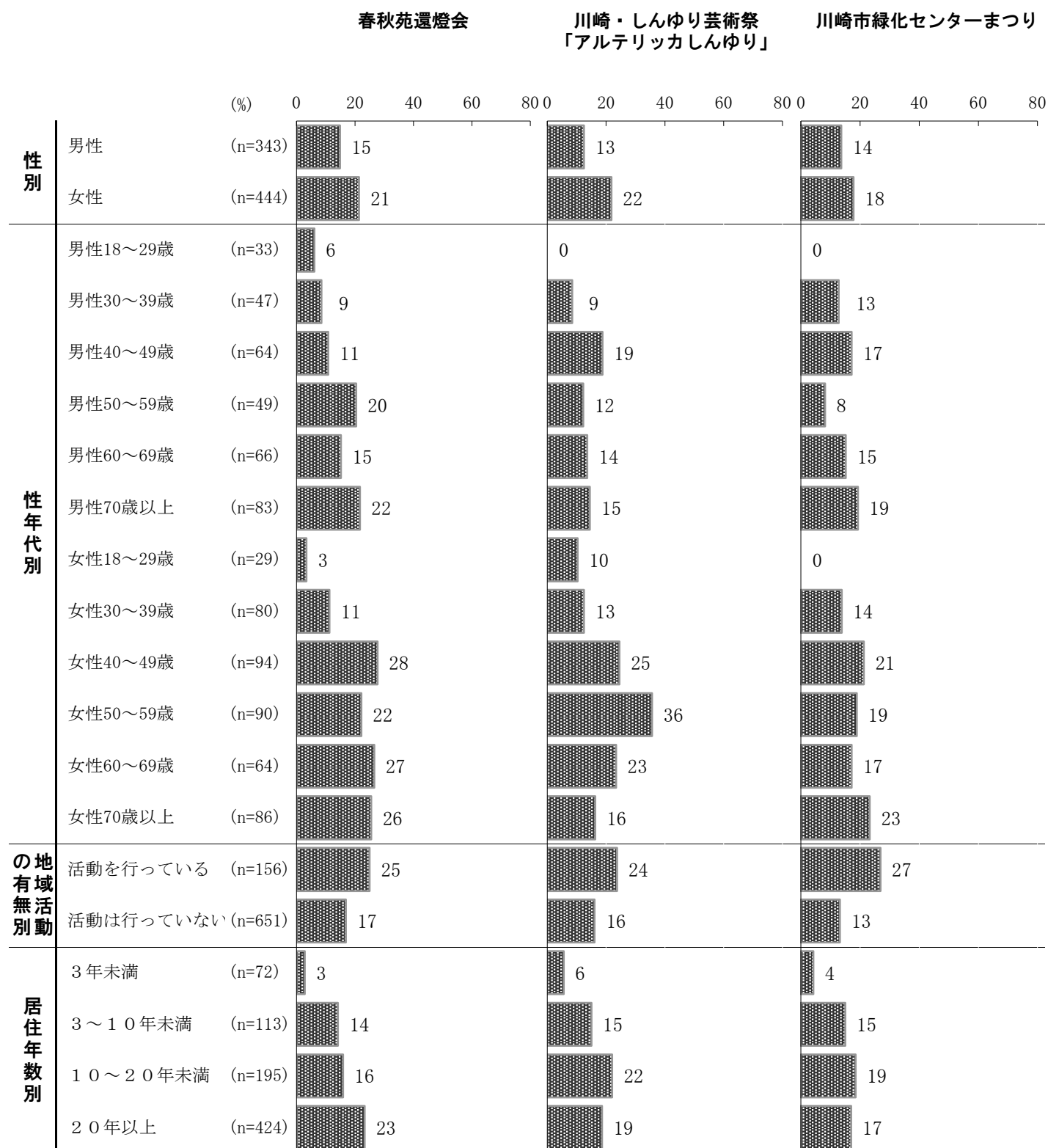
「多摩区民祭」では、居住年数が上昇するにつれ、参加したことがある／知っている地域イベントの率が高くなる傾向となっている。また「よみうりランドジュエルミネーション」では、男性より女性の方が15ポイント高く、性年代別でも女性18～69歳で40%を超え、他の性年代より高い結果となった。

図 22-3 参加したことがある／知っている地域イベント②
 ＜上位9項目＞（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別）



「桜まつり（二ヶ領用水）」と「日本民家園まつり」では、居住年数が上昇するにつれ、参加したことがある／知っている地域イベントの率が高くなる傾向となっている。また上記3項目では、相対的に男女の18～29歳が低い結果となった。

図 2 2 - 4 参加したことがある／知っている地域イベント ③
 <上位 9 項目> (性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別)

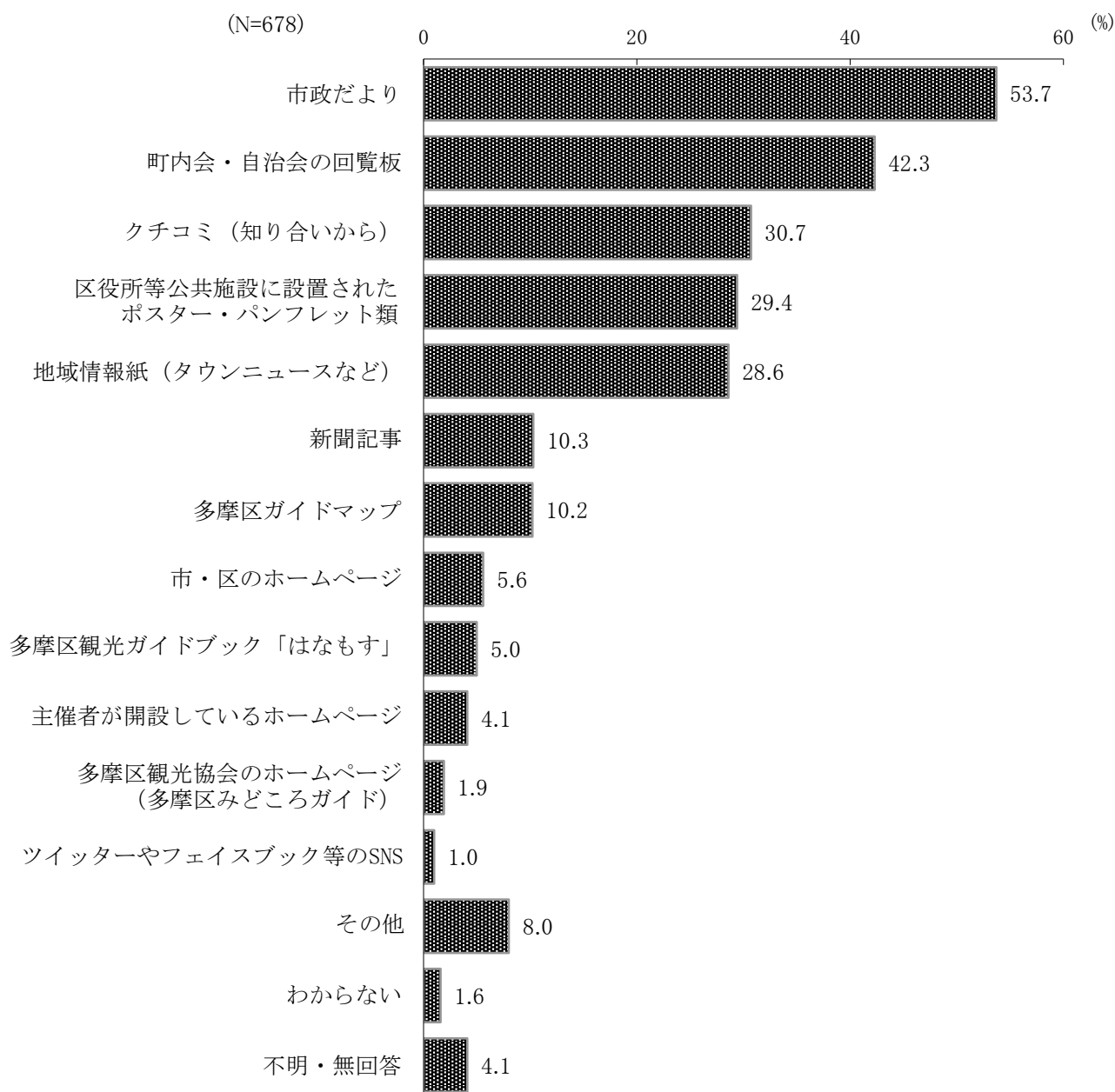


「川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり」」では、女性が22%と男性より9ポイント高い結果となり、女性50～59歳で36%と他の性年代と比較して高い結果となった。

23. 参加した（知っている）地域イベントの情報源

問17 上の問16で○をつけたあなたが参加した（知っている）イベントは何を見て知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

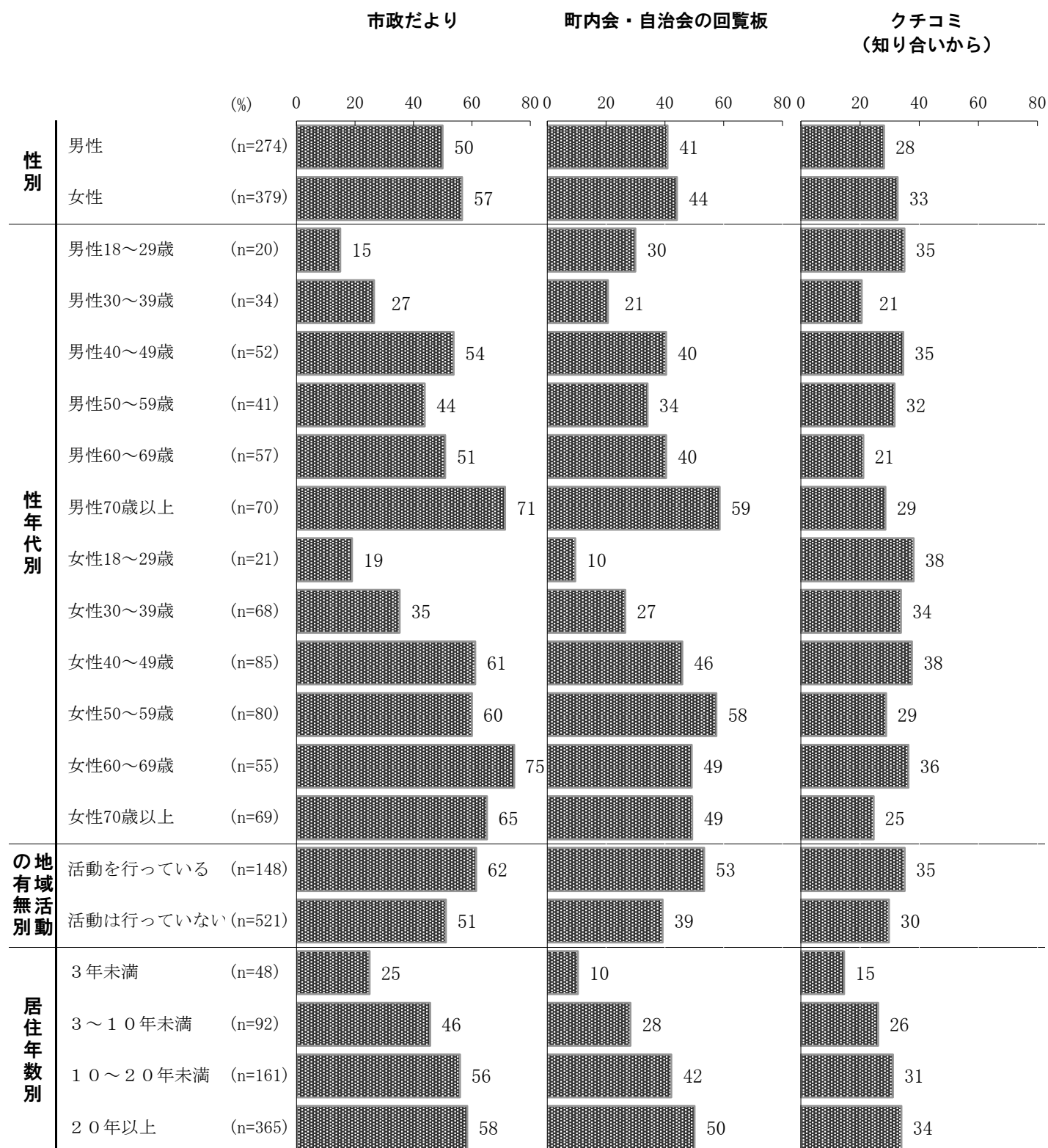
図 23-1 参加した（知っている）地域イベントの情報源



（22）の参加したことがある／知っている地域イベントで「特になし」と回答した人以外に「参加した（知っている）地域イベントの情報源」について聞いたところ、「市政だより」（53.7%）が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」（42.3%）、「クチコミ（知り合いから）」

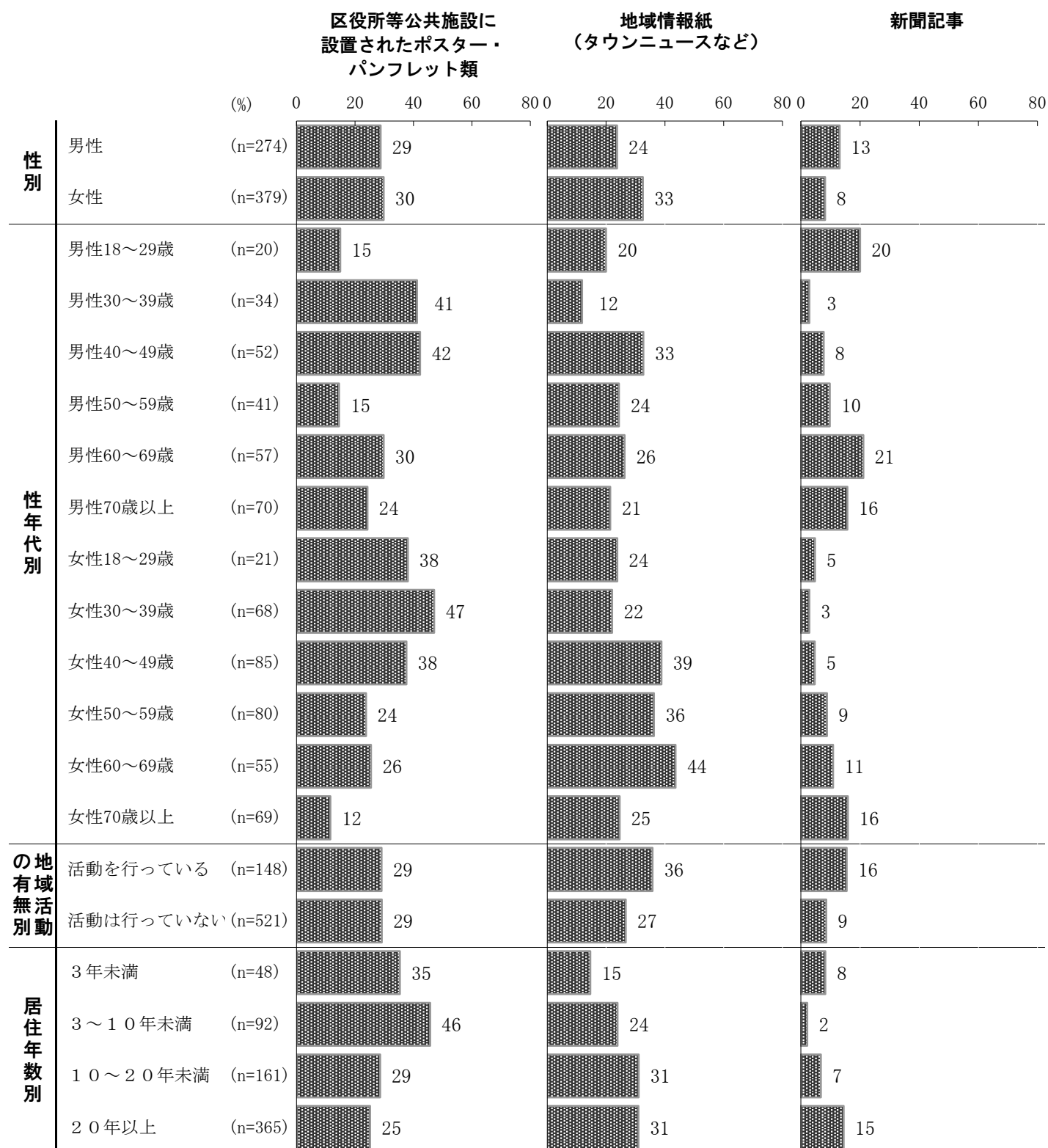
（30.7%）、「区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類」（29.4%）、「地域情報紙（タウンニュースなど）」（28.6%）までが比較的高い結果となった。

図 23-2 参加した（知っている）地域イベントの情報源①
 ＜上位6項目＞（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別）



「市政だより」では、男性70歳以上と女性60～69歳が70%を超え、高い結果となった。「市政だより」、「町内会・自治会の回覧板」は男女ともに18～39歳の率が、他の年代に比べて、特に低い結果となった。

図 23-3 参加した（知っている）地域イベントの情報源②
 ＜上位6項目＞（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別）

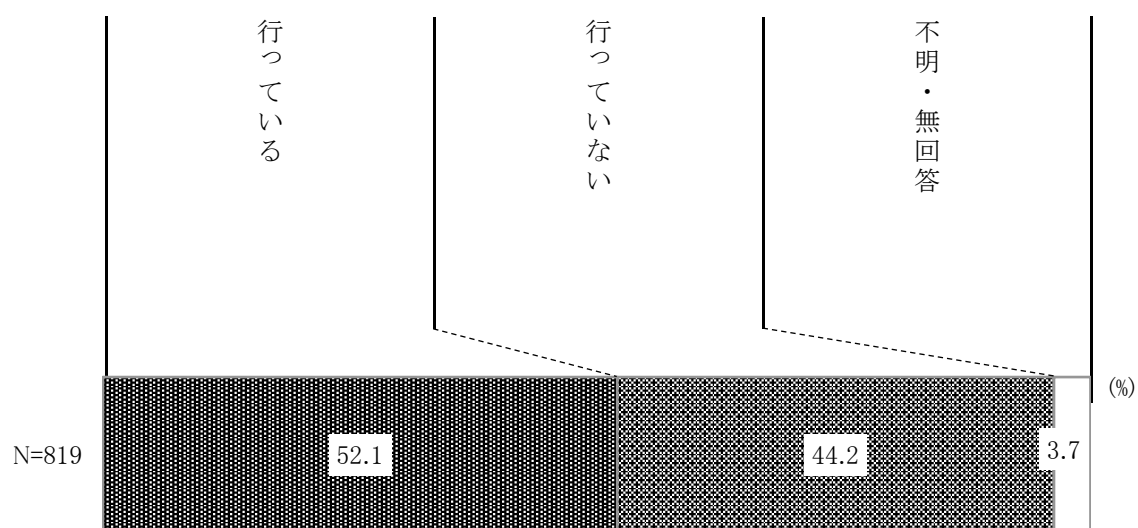


「区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類」では、男性30～49歳と女性30～39歳で40%を超え、他性年代と比較して高い結果となった。また「地域情報紙（タウンニュースなど）」では、男性より女性の方が9ポイント高い結果となった。

24. スポーツの取り組み状況

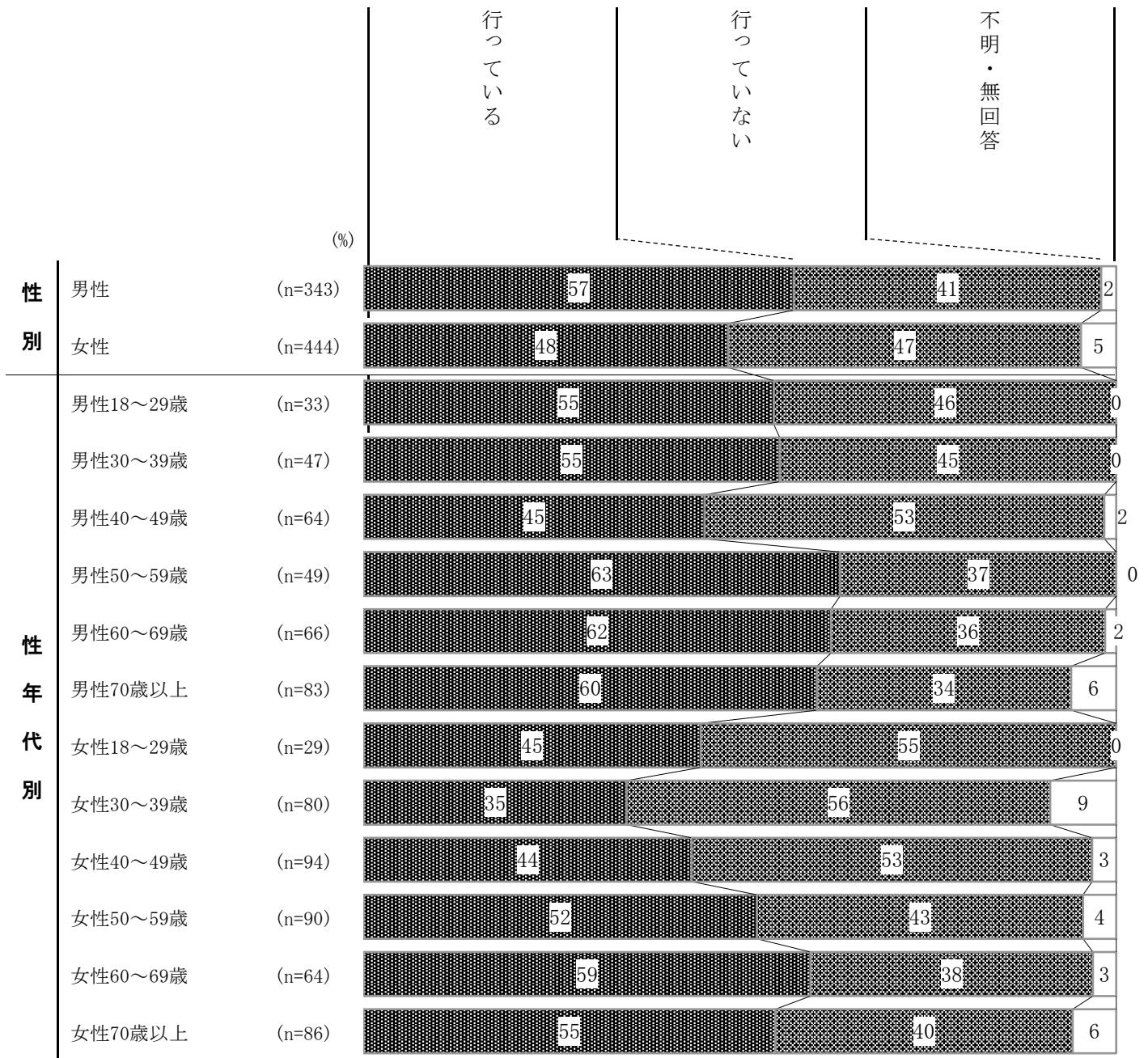
問18 あなたは、趣味や健康づくりとして、日頃からスポーツを行っていますか。
(○は1つだけ)

図 24-1 スポーツの取り組み状況



「日頃からの趣味や健康づくりとしてスポーツの取り組み状況」について聞いたところ、「行っている」（52.1%）が半数を超える結果となった。

図 2 4 - 2 スポーツの取り組み状況
(性別・性年代別・地域活動の有無別・居住年数別)

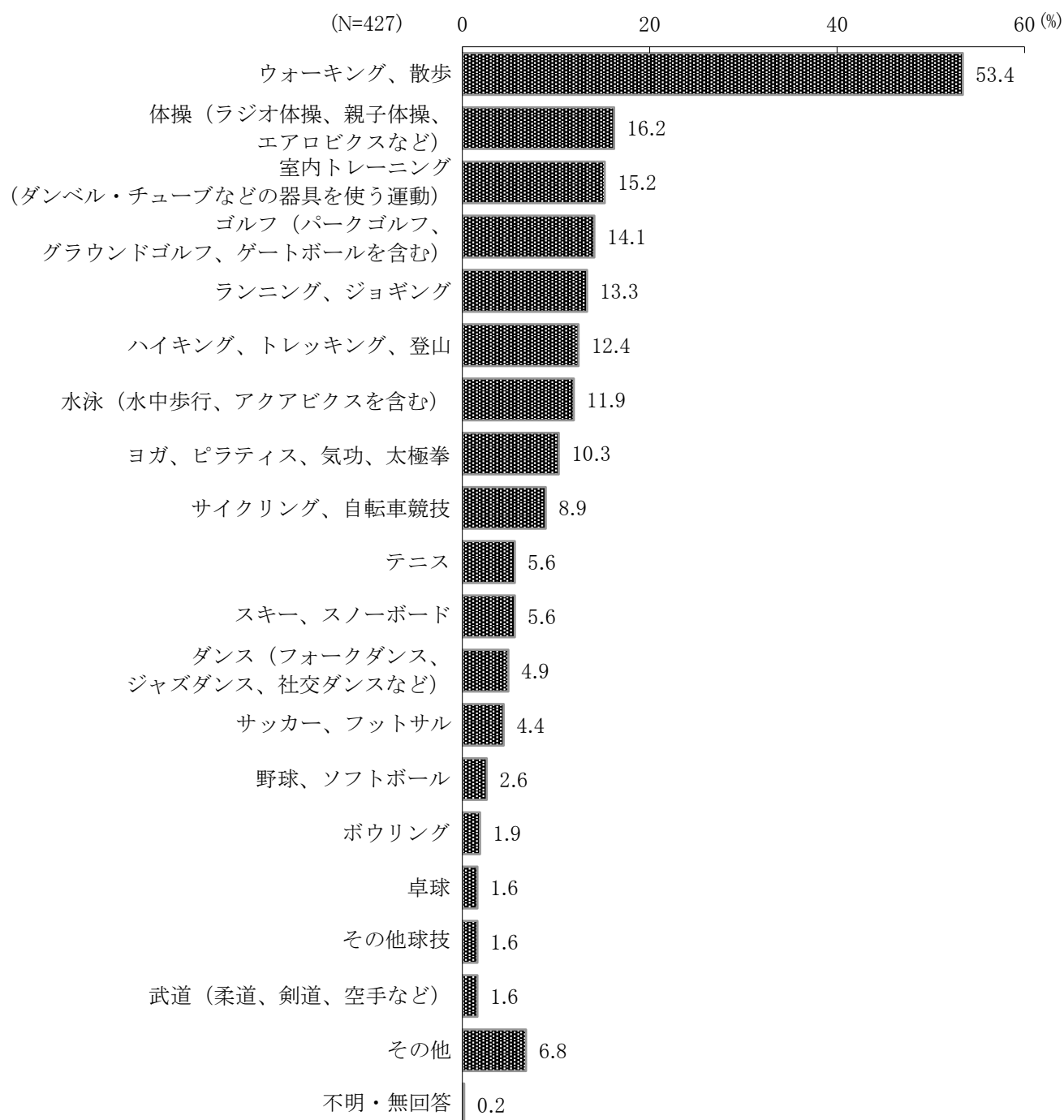


スポーツへの取り組み状況では、「行っている」と回答した男性が57%であったが、女性は48%と半数を下回る結果となった。また性年代別で男性は40～49歳以外、「行っている」が半数を超えたのに対して、女性は50～69歳と70歳以上のみ半数を超える結果となった。

25. 行っているスポーツ

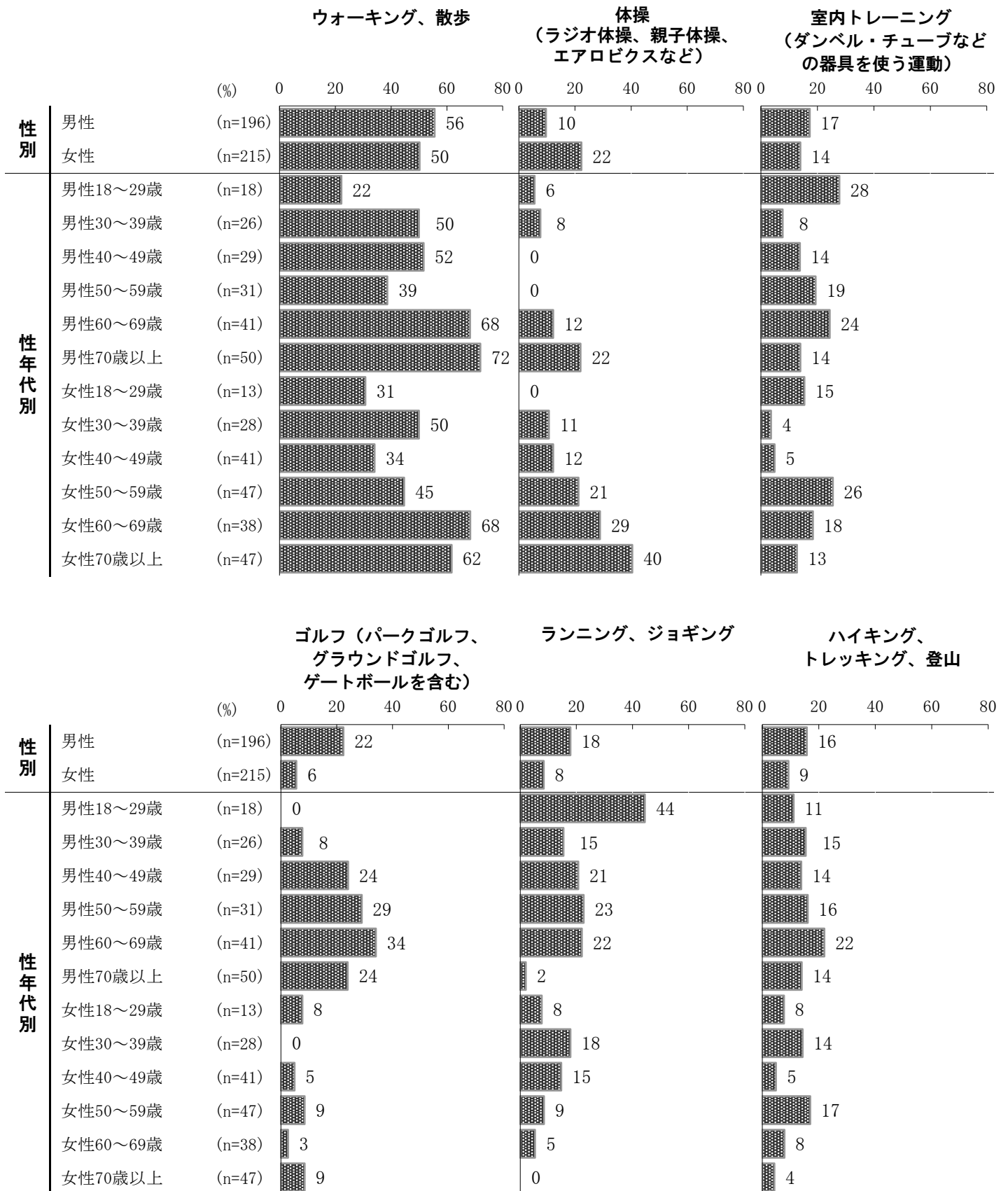
問18-1 あなたが行っているスポーツは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 25-1 行っているスポーツ



（24）のスポーツの取り組み状況で「行っている」と回答した人に「行っているスポーツ」について聞いたところ、「ウォーキング、散歩」（53.4%）が最も高く、次いで「体操（ラジオ体操、親子体操、エアロビクスなど）」（16.2%）、「室内トレーニング（ダンベル・チューブなどの器具を使う運動）」（15.2%）の順となった。

図 25-2 行っているスポーツ ＜上位6項目＞（性別・性年代別）



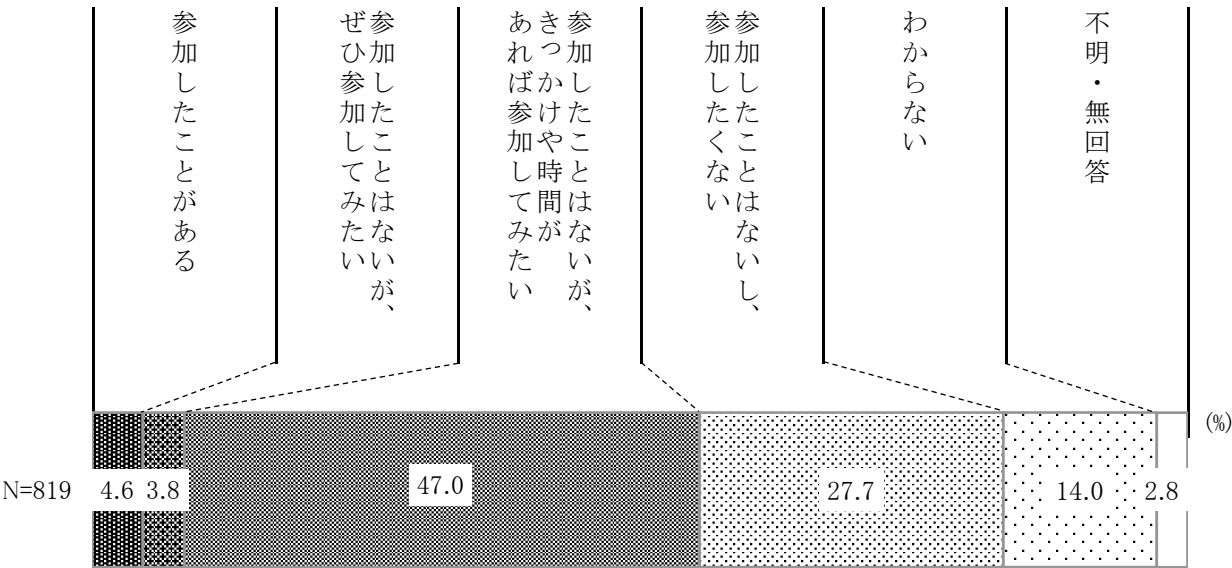
「ウォーキング、散歩」では、男女ともに60～69歳と70歳以上で60%を超える高い結果となった。「体操（ラジオ体操、親子体操、エアロビクスなど）」では、特に女性で年齢が上昇するにつれ高くなる傾向となった。「ゴルフ（パークゴルフ、グラウンドゴルフ、ゲートボールを含む）」では、男性の40～69歳と70歳以上で20%を超える結果となり、「ランニング、ジョギング」では、男性18～29歳で40%を超えるなど、性別や年代による特長が大きい結果となった。

26. 地域の健康づくり活動への参加経験

問19 多摩区では、健康づくりや仲間づくりを目的に、身近な地域で「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウォーク」などが行われています。これらの活動に参加したことがありますか、また参加したいと思いますか。

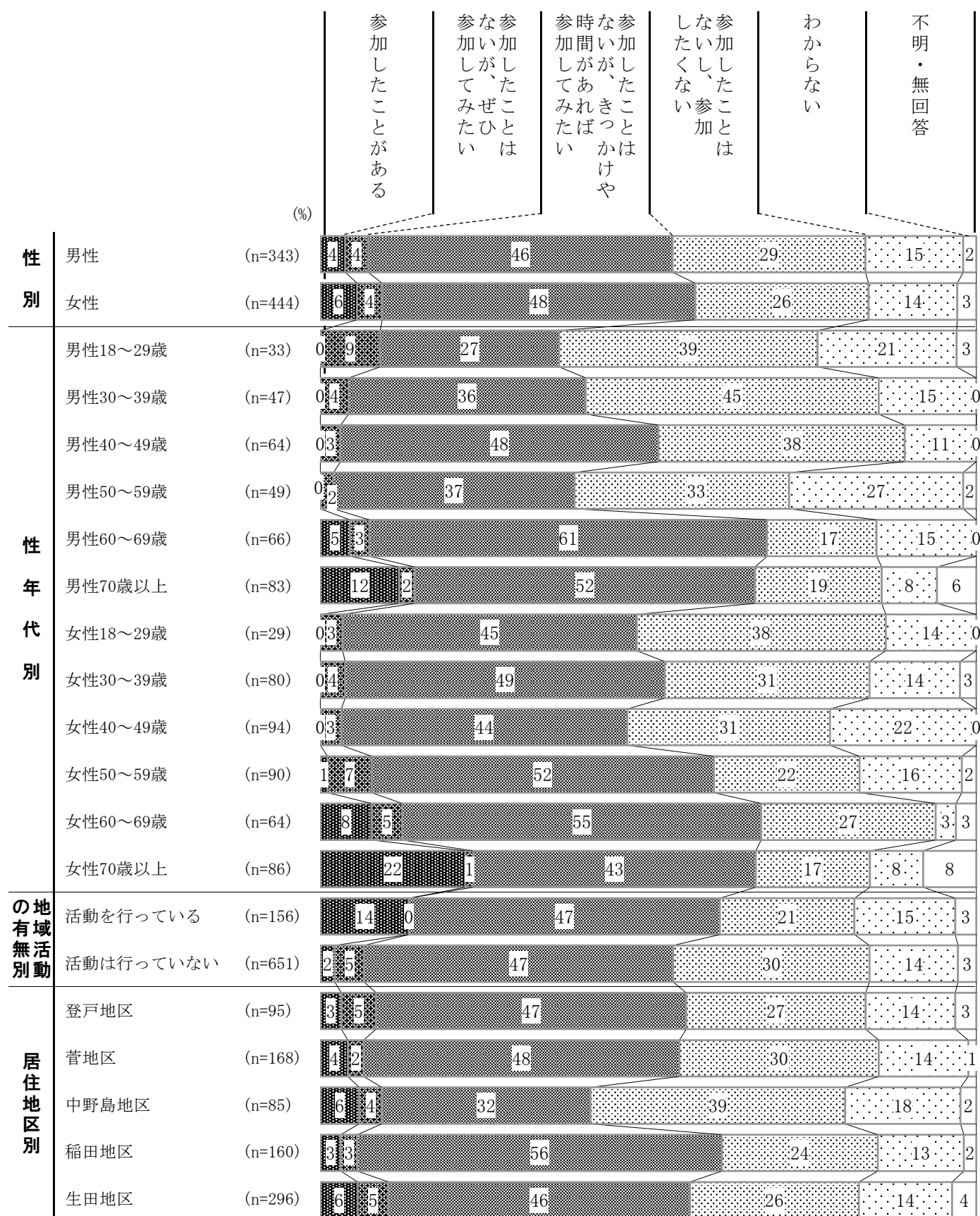
(○は1つだけ)

図 26-1 地域の健康づくり活動への参加経験



「地域の健康づくり活動への参加経験」について聞いたところ、「参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい」(47.0%)が最も高く、次いで「参加したことはないし、参加したくない」(27.7%)、「わからない」(14.0%)の順となった。

図 26-2 地域の健康づくり活動への参加経験（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地域別）

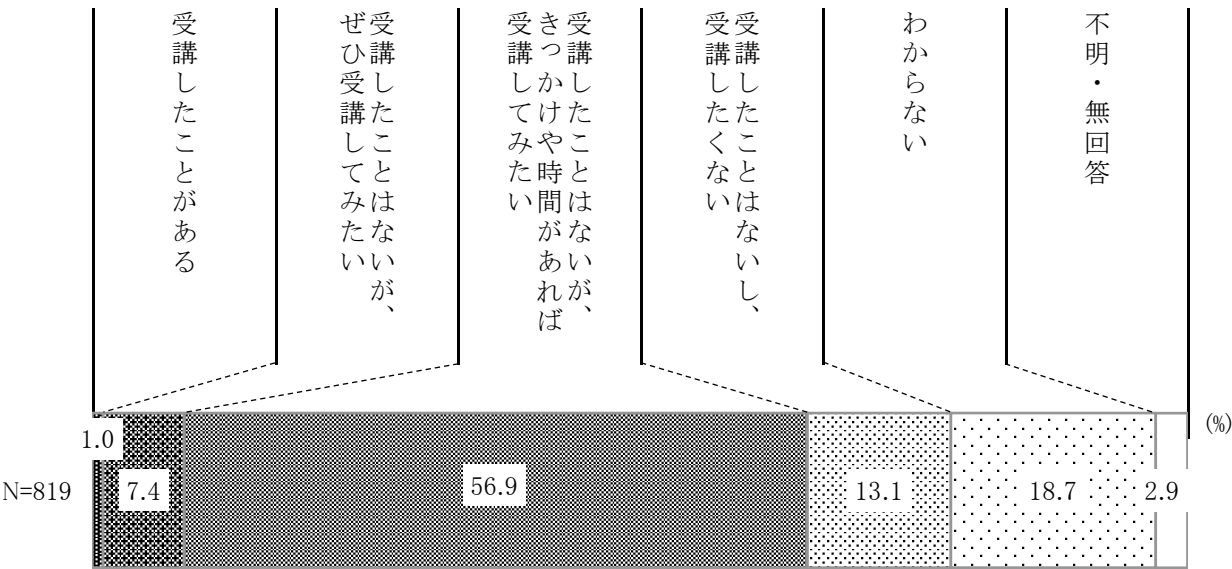


「参加したことはないが、きつかけや時間があれば参加してみたい」では、男性60～69歳、男性70歳以上、女性50～69歳で50%を超え、他の性年代より高い結果となった。また、「参加したことがある」では、男女ともに70歳以上が他の同年代と比較して高い結果となった。

27. 認知症サポーター養成講座の受講経験

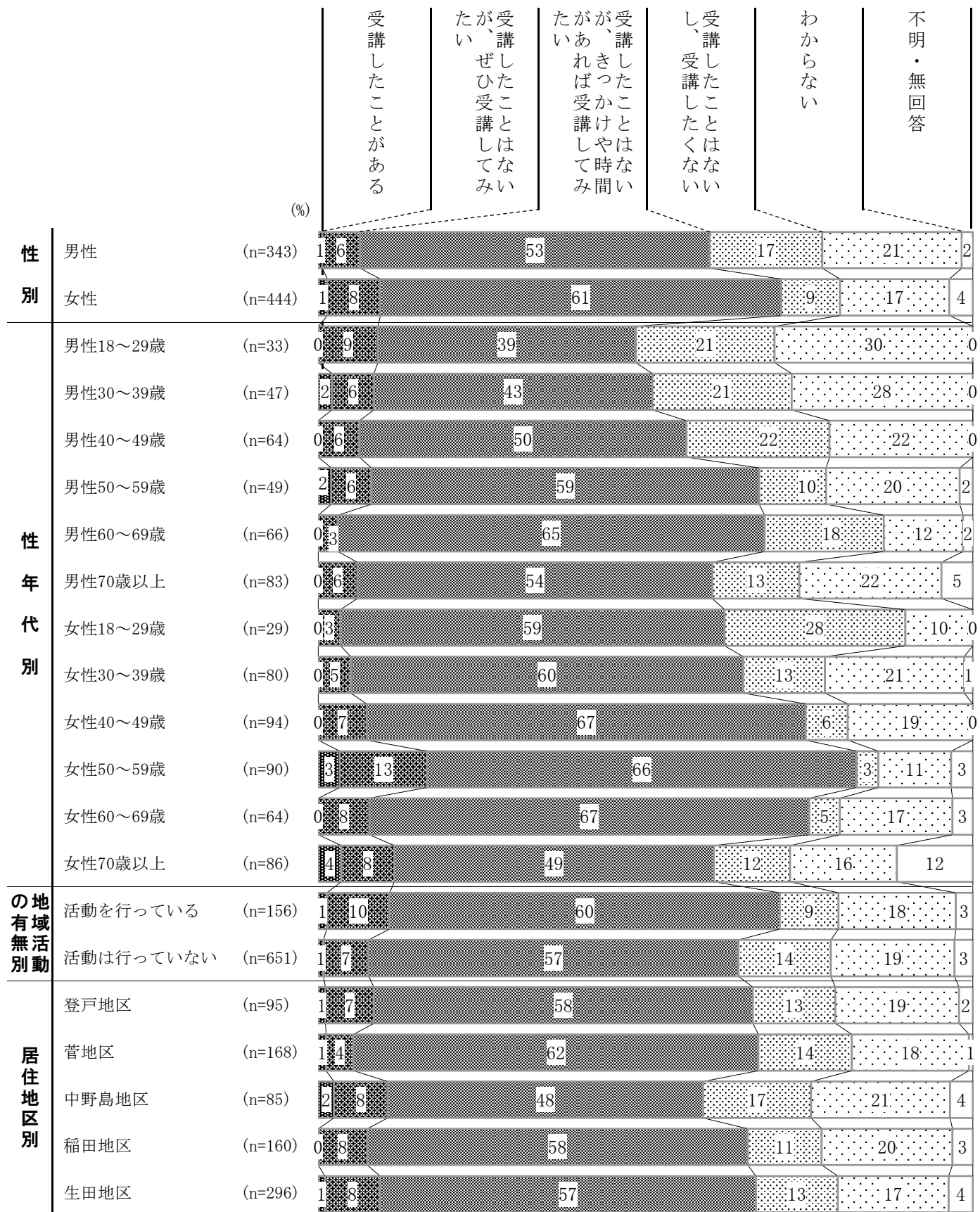
問20 多摩区役所では、増加する認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。この講座を受講したことがありますか。また、受講したいと思いますか。 (○は1つだけ)

図 27-1 認知症サポーター養成講座の受講経験



「認知症サポーター養成講座の受講経験」について聞いたところ、「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」(56.9%)が最も高く、次いで「わからない」(18.7%)、「受講したことはないし、受講したくない」(13.1%)の順となった。

図 27-2 認知症サポーター養成講座の受講経験（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地域別）

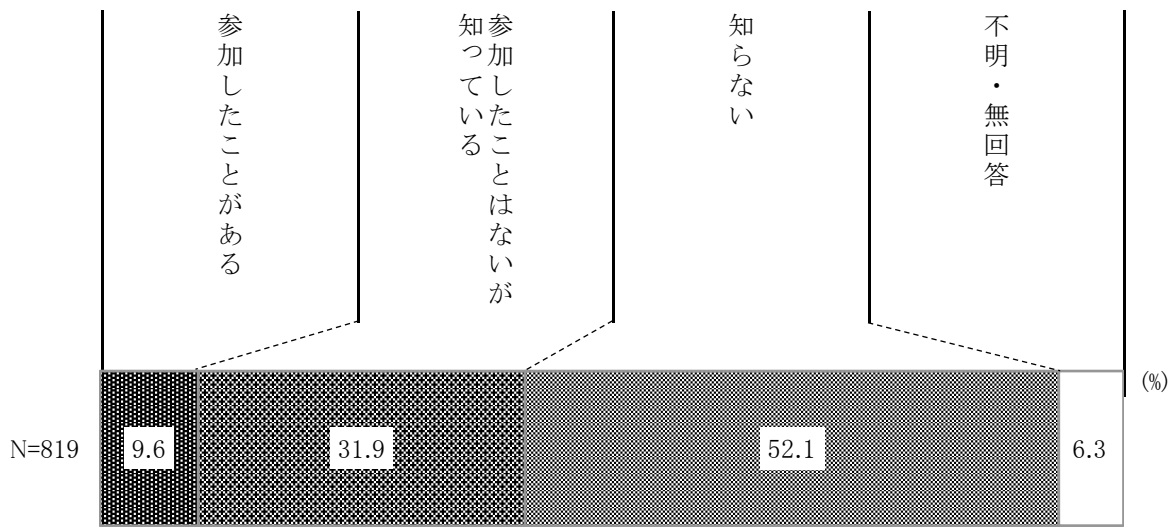


「受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい」では、男性よりも女性の方が8ポイント高く、特に女性30～69歳で60%を超える結果となった。

28. 3大学関連イベントへの参加経験

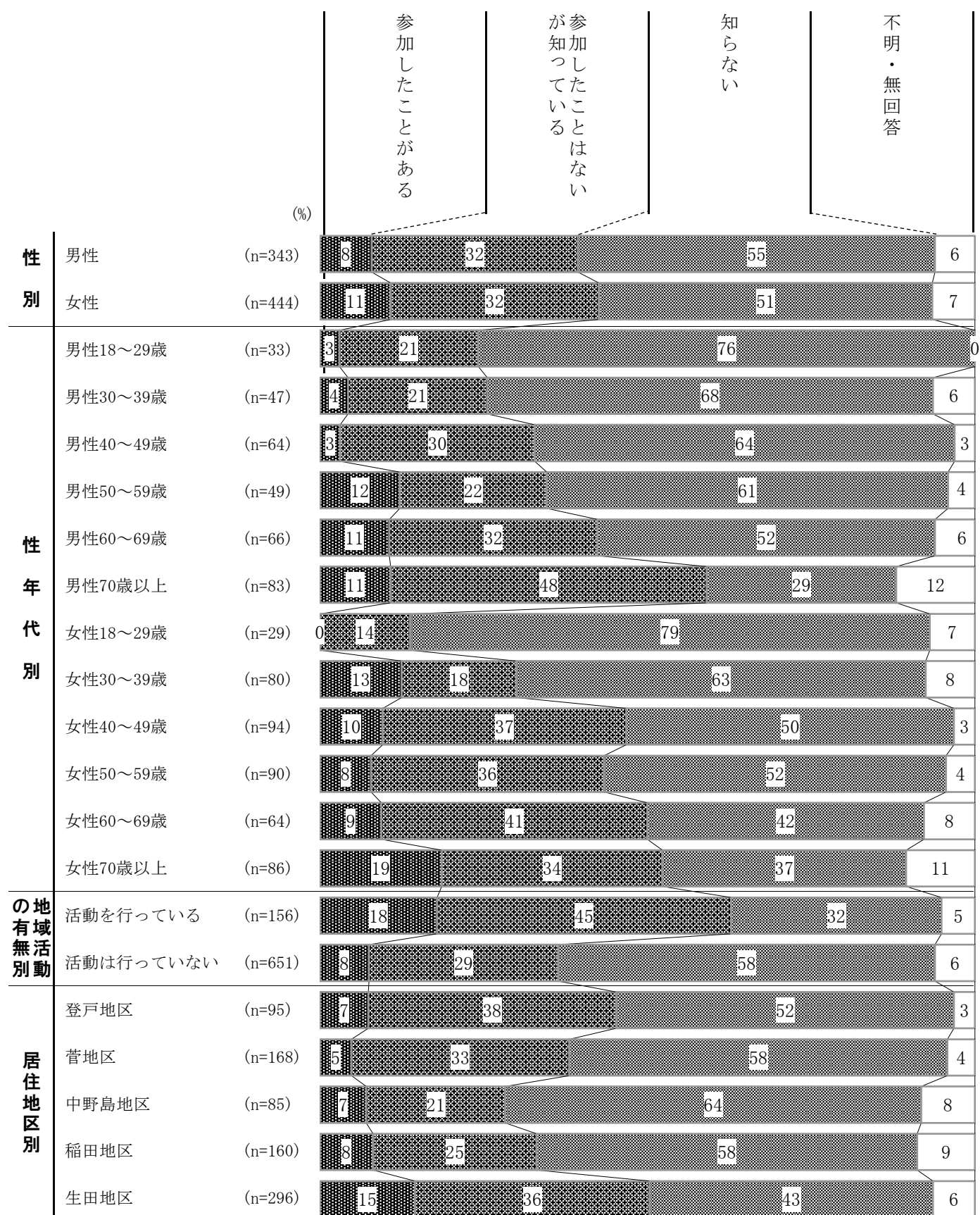
問21 多摩区には、専修、明治、日本女子の3つの大学が立地しています。これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、大学と地域社会との交流連携を深めてきました。あなたは、大学が関連したイベントなどに参加したことがありますか、もしくは知っていますか。（いくつでも○）

図 28-1 3大学関連イベントへの参加経験



「3大学関連イベントへの参加経験」について聞いたところ、「知らない」（52.1%）が半数を超える結果となった。

図 28-2 3大学関連イベントへの参加経験（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別）

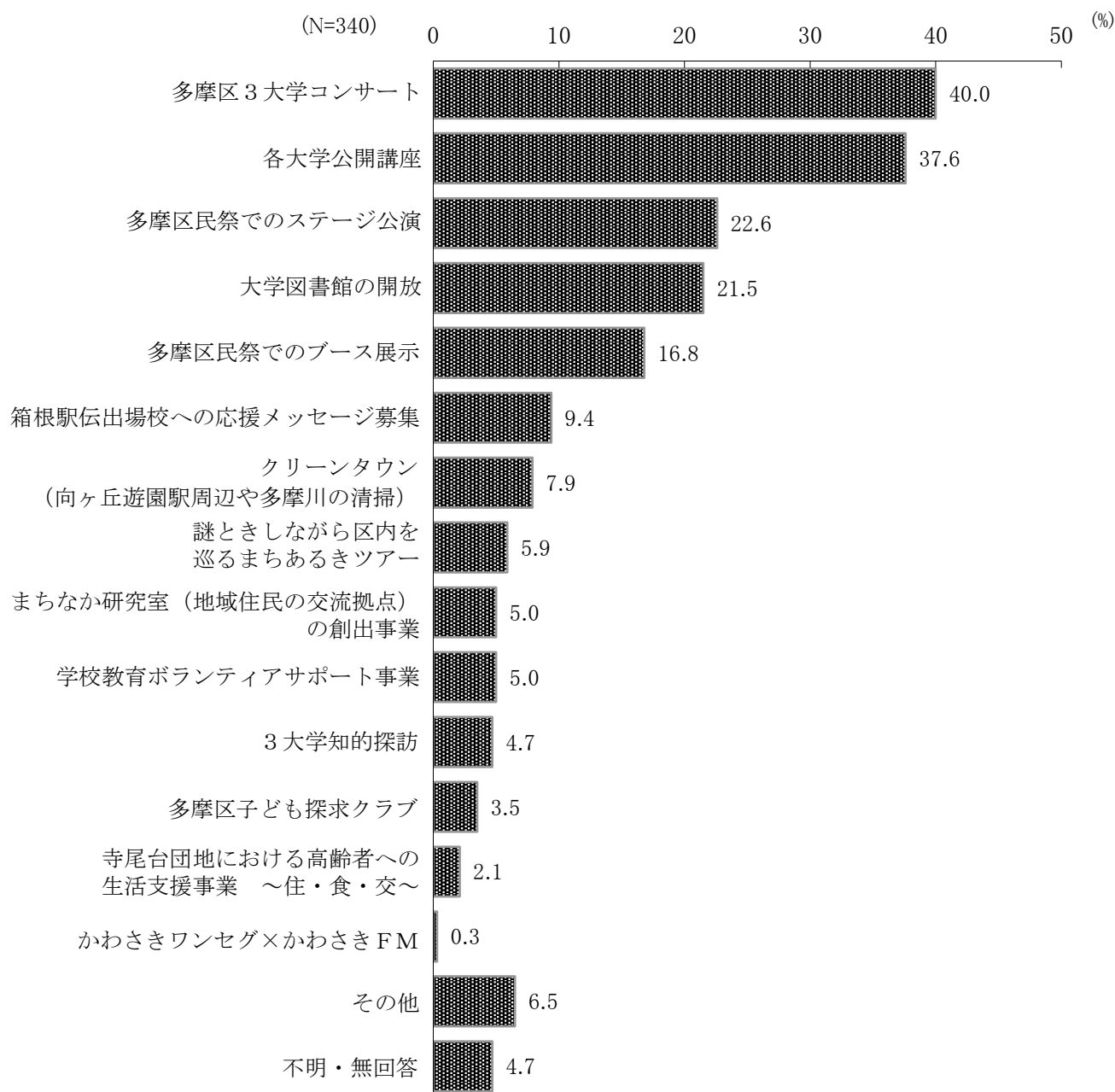


「参加したことがある」、「参加したことはないが知っている」を合わせた『認知計』では、男女ともに、年代が上昇するにつれ高い傾向となっている。また居住地区別の『認知計』では、中野島地区と稲田地区が他地区より低い結果となった。

29. 参加している（知っている）3大学関連イベント

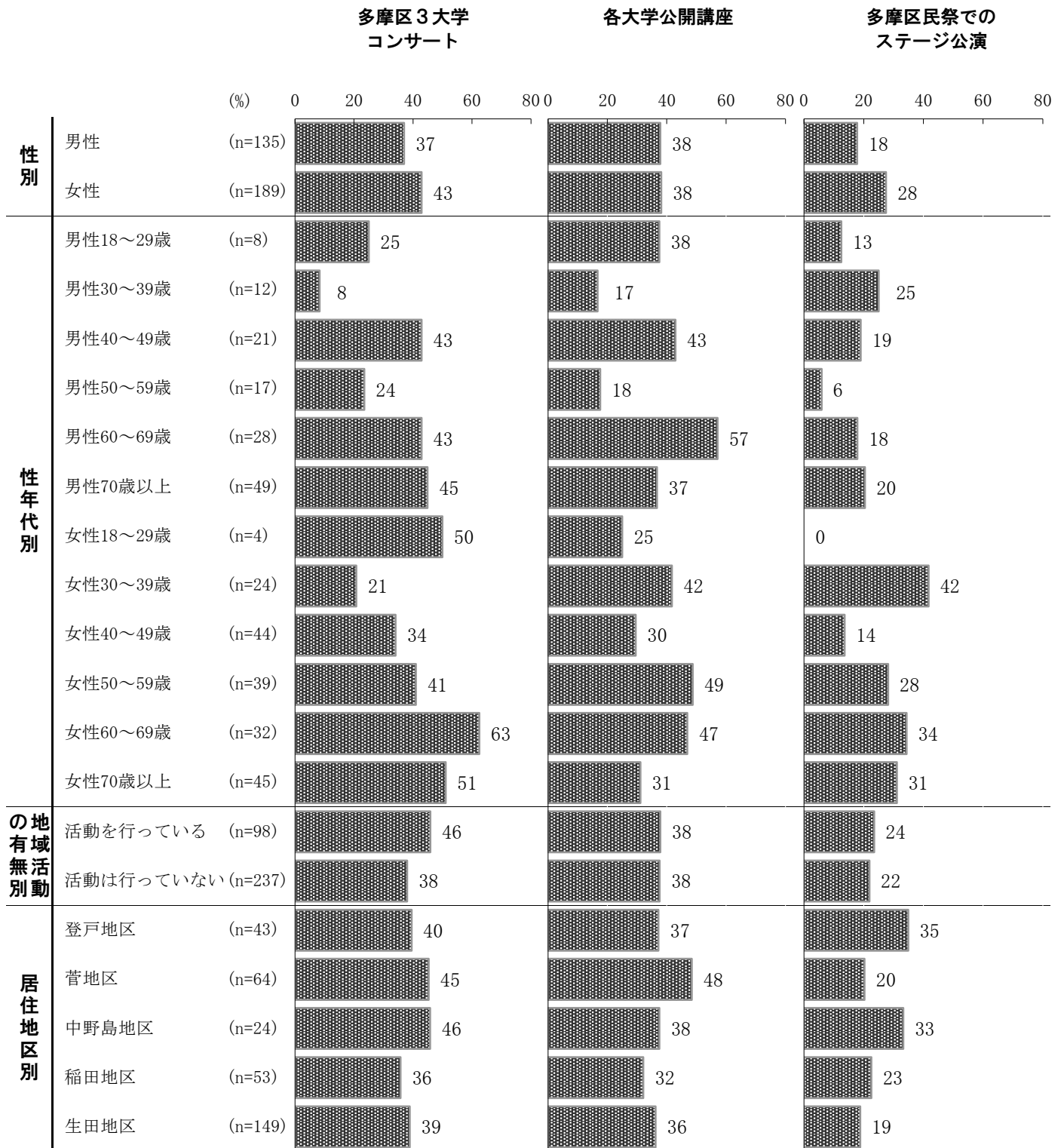
問21-1 参加もしくは知っているイベントは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

図 29-1 参加している（知っている）3大学関連イベント



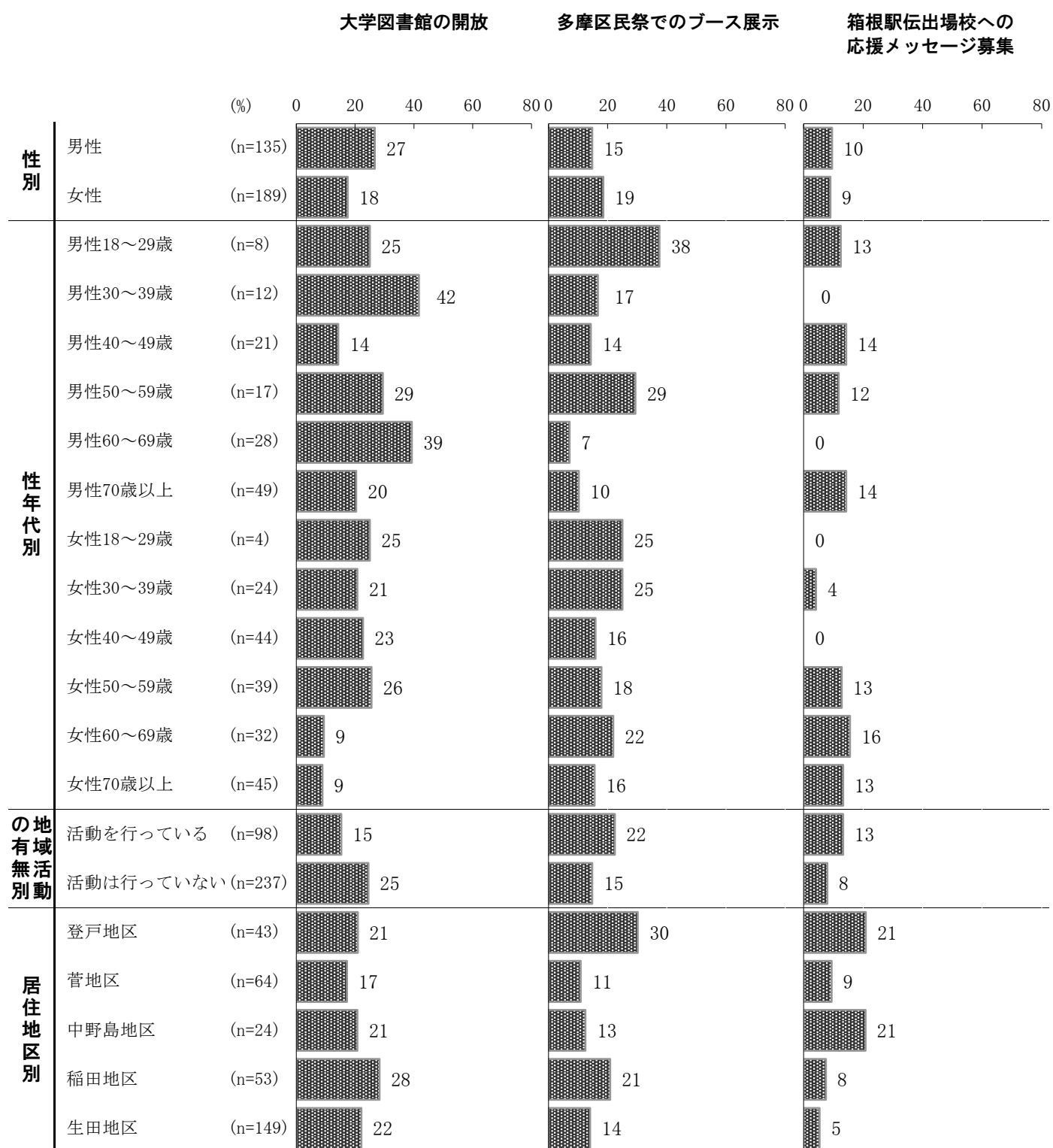
（29）の3大学関連イベントへの参加経験で「参加したことがある」、「参加したことはないが知っている」と回答した人に「参加している（知っている）3大学関連イベント」について聞いたところ、「多摩区3大学コンサート」（40.0%）が最も高く、次いで「各大学公開講座」（37.6%）が30%を超える結果となった。

図 29-2 参加している（知っている）3大学関連イベント①
 <上位6項目>（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別）



「多摩区民祭でのステージ公演」の居住地区別では、登戸地区と中野島地区が他地区よりも高い結果となった。また地域活動の有無別では、活動の有無に関わらず大きな変化は見られなかった。

図 29-3 参加している（知っている）3大学関連イベント②
 <上位6項目>（性別・性年代別・地域活動の有無別・居住地区別）

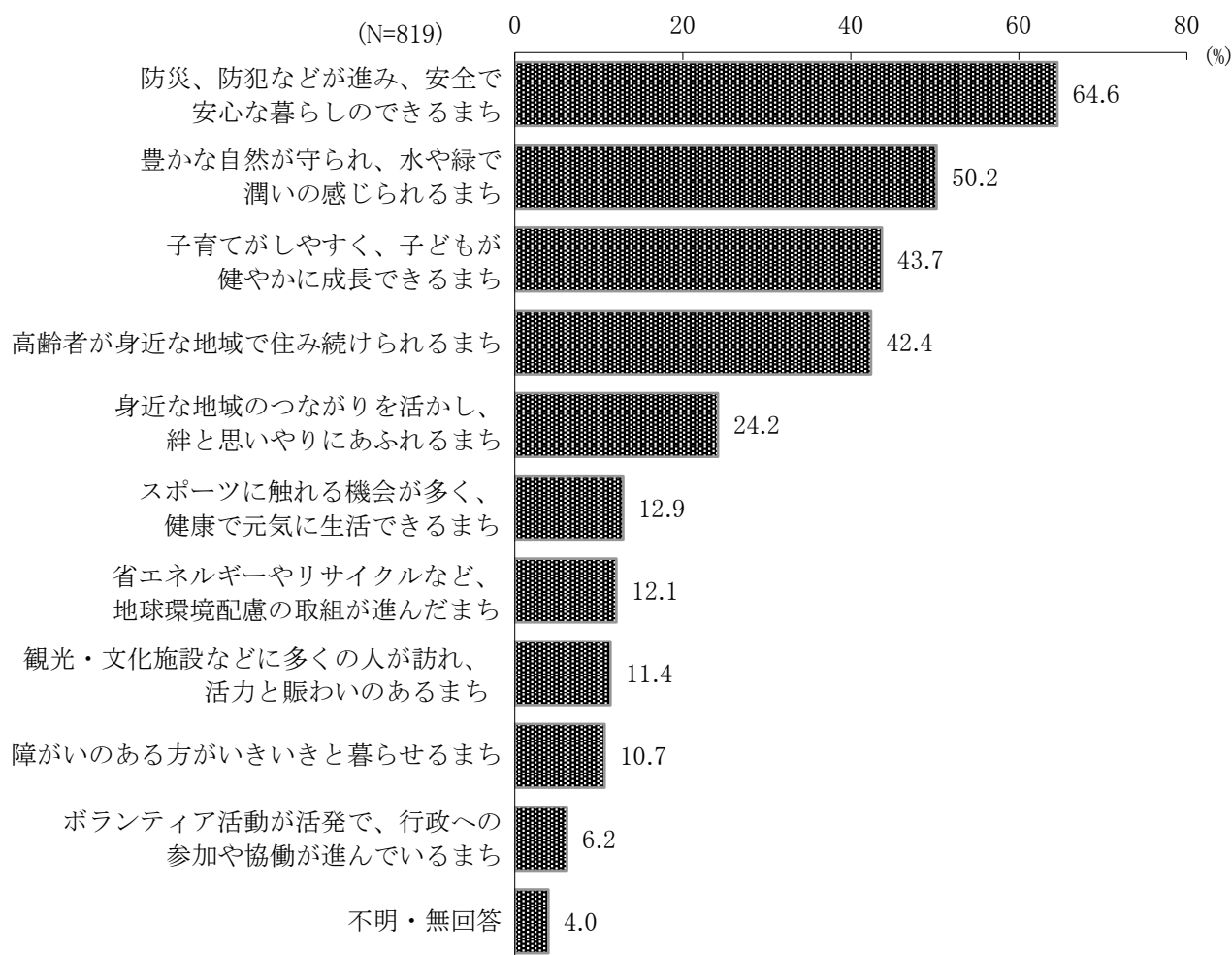


「多摩区民祭でのブース展示」の居住地区別では、登戸地区が30%と他地区よりも高い結果となった。また「箱根駅伝出場校への応援メッセージ募集」の居住地区別では、登戸地区と中野島地区が21%と他地区より高い結果となり、居住地区による差が見られる結果となった。

30. 今後10年程度で目指すべきまちのイメージ

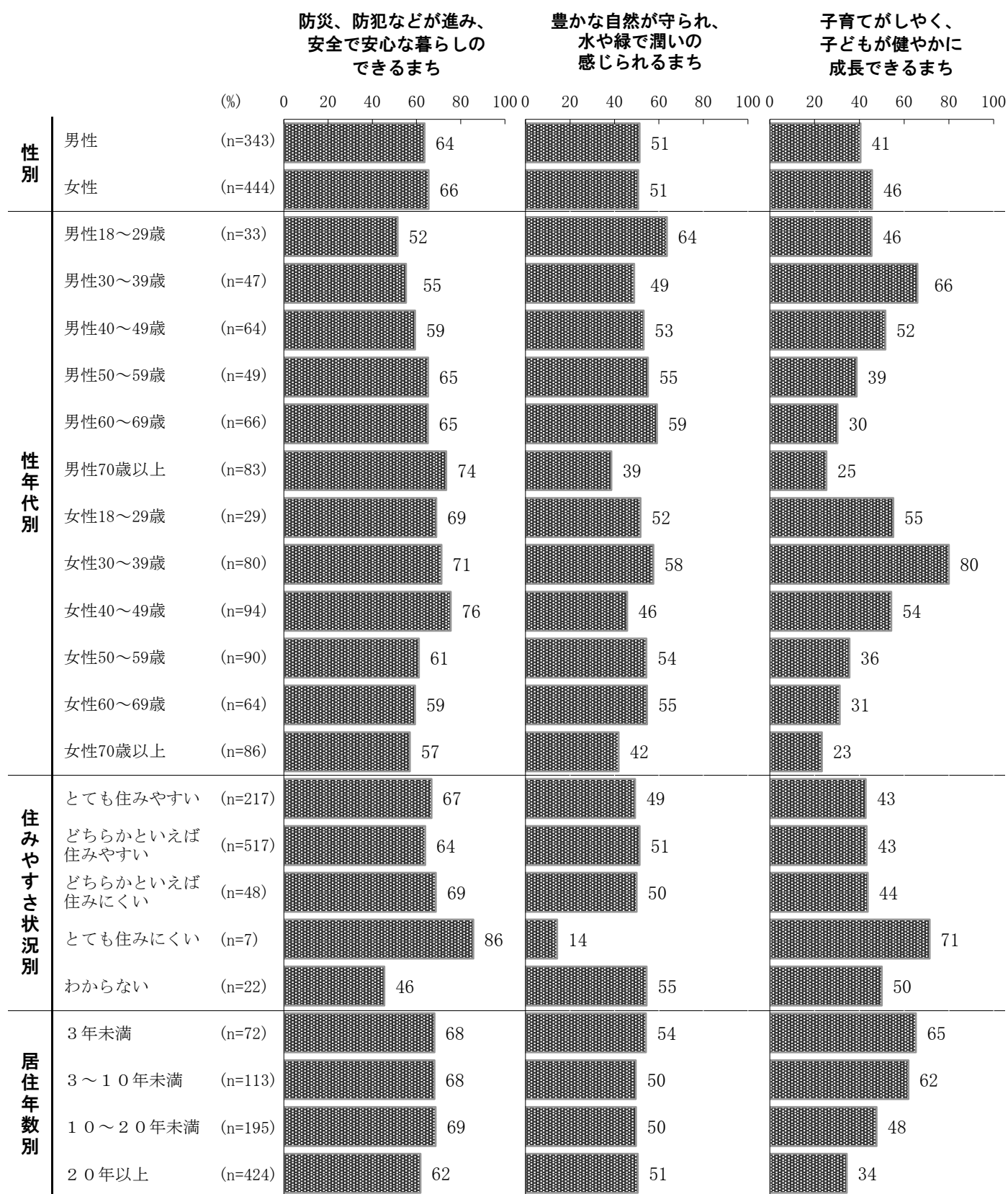
問22 川崎市では、現在、これから本市がめざす方向について、総合的なビジョンと目標を示す新たな総合計画の策定に向けた取組を進めています。今後10年程度で、多摩区はどのようなまちを目指すべきだと考えますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

図 30-1 今後10年程度で目指すべきまちのイメージ



「今後10年程度で目指すべきまちのイメージ」について聞いたところ、「防災、防犯などが進み、安全で安心な暮らしのできるまち」（64.6%）が最も高く、次いで「豊かな自然が守られ、水や緑で潤いの感じられるまち」（50.2%）、「子育てがしやすく、子どもが健やかに成長できるまち」（43.7%）、「高齢者が身近な地域で住み続けられるまち」（42.4%）の順までが、40%を超える結果となった。

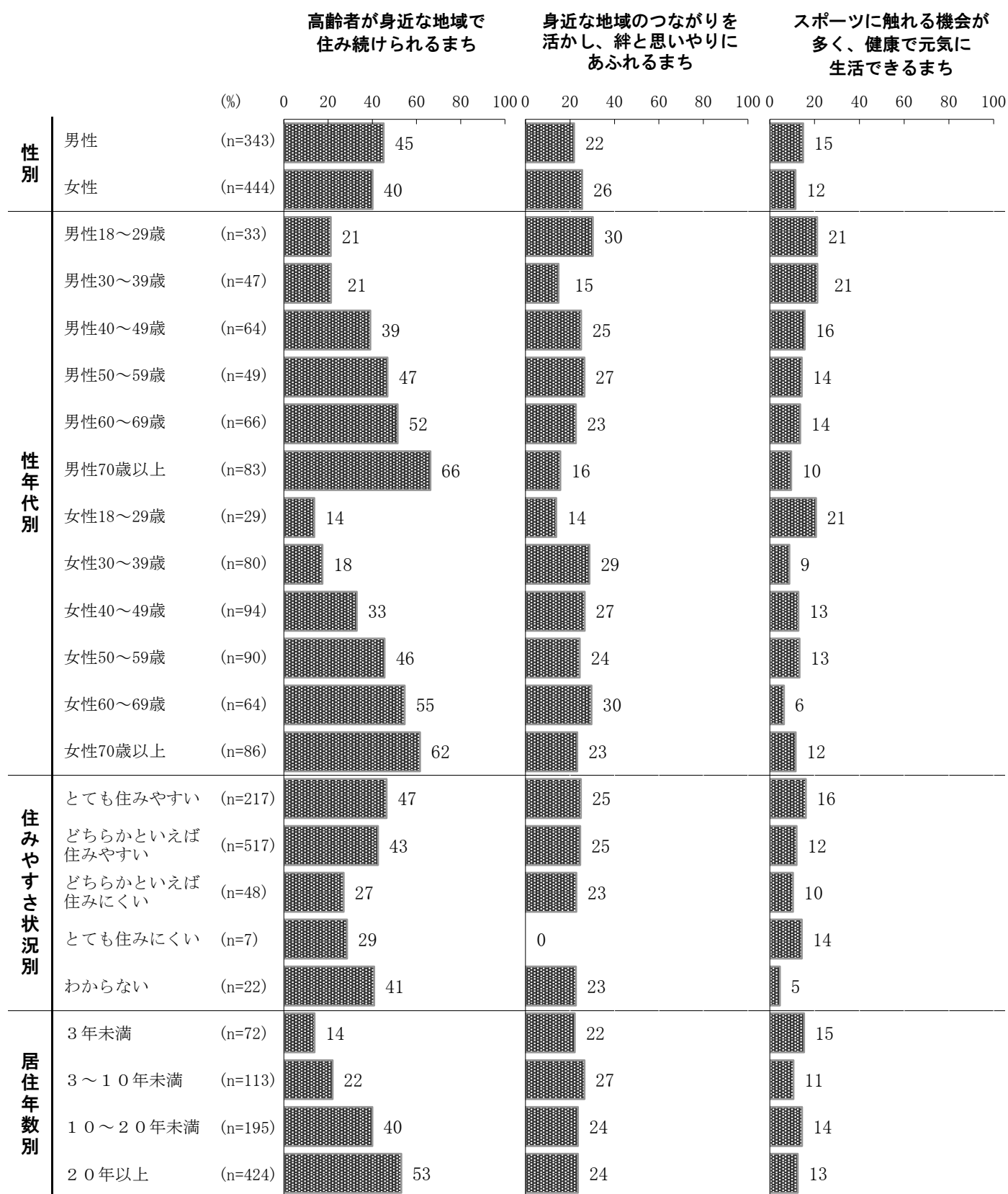
図 30-2 今後10年程度で目指すべきまちのイメージ①
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住年数別)



「防災、防犯などが進み、安全で安心な暮らしのできるまち」では、どの分析軸でもほぼ半数を超える高い結果であった。

「子育てがしやすく、子どもが健やかに成長できるまち」では、男女ともに30～39歳が最も高く、特に女性は80%と高い結果となった。また居住年数別では、3年未満が最も高く、居住年数が短いほど、高い結果となった。

図 30-3 今後10年程度で目指すべきまちのイメージ ②
 <上位6項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住年数別)

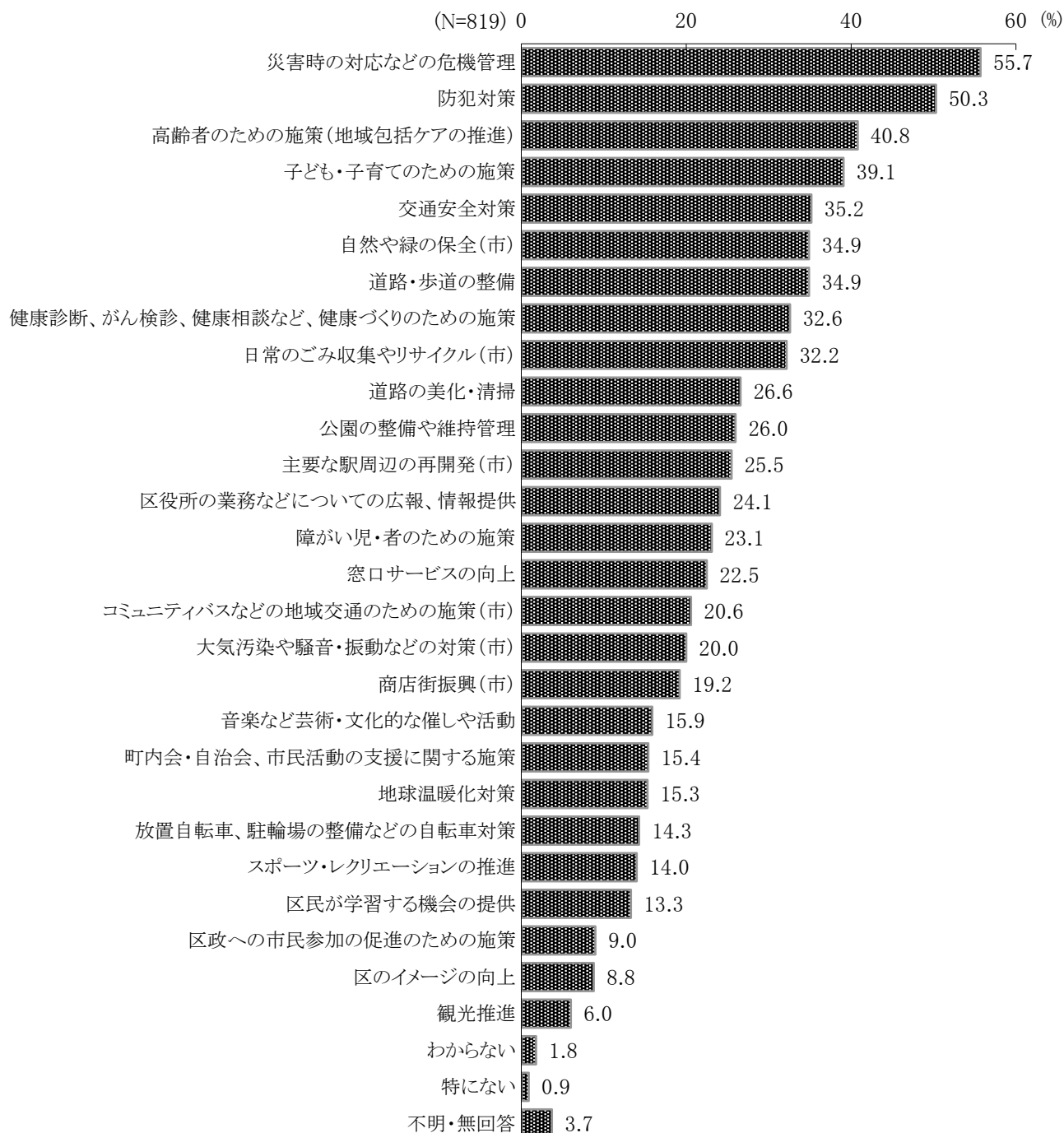


「高年齢者が身近な地域で住み続けられるまち」では、男女ともに年代が上昇するにつれ高い結果となり、特に70歳以上では60%を超える結果となった。また居住年数も長くなるほど、高い結果となった。

3 1. 新たな総合計画で力を入れるべき施策

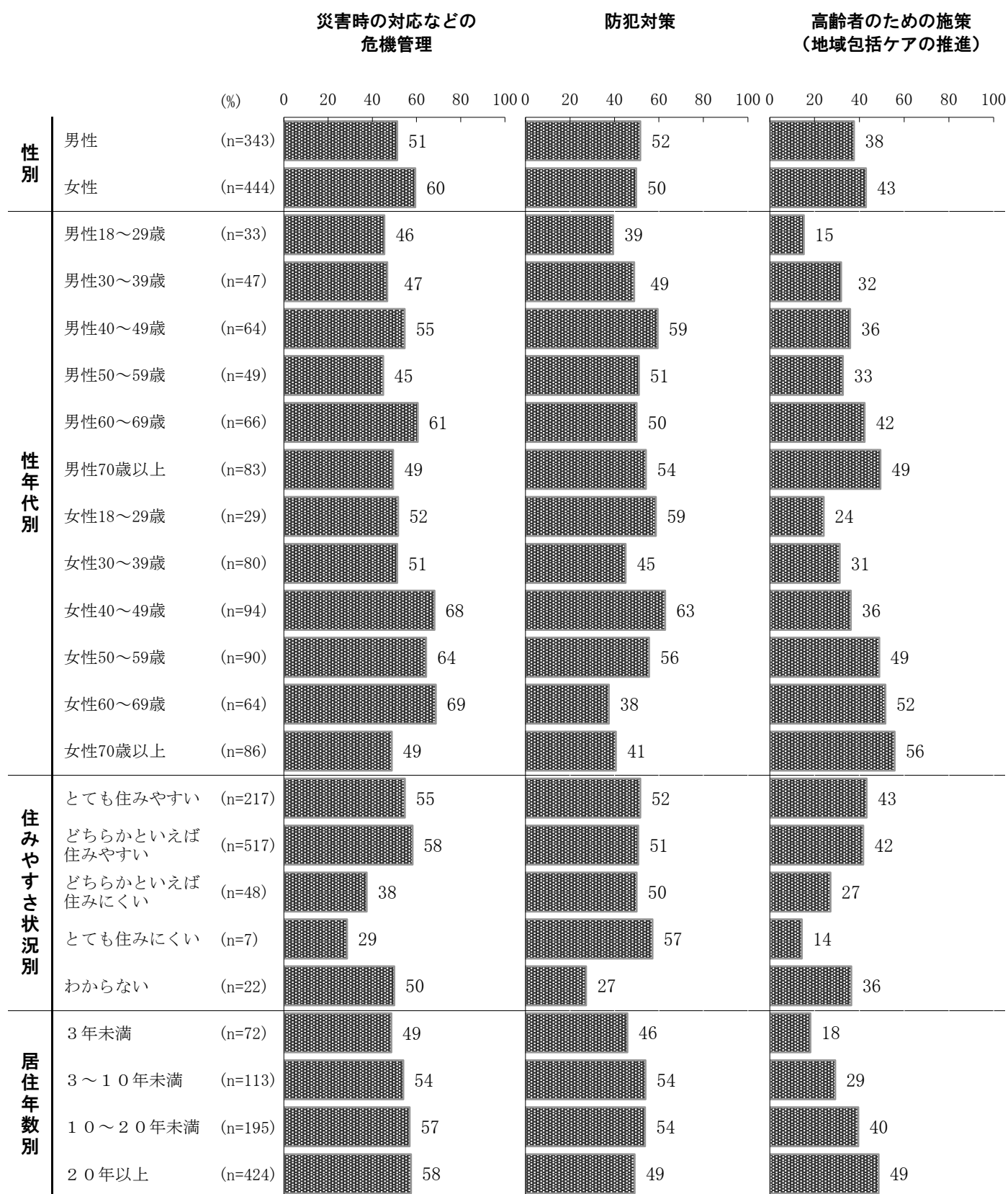
問23 川崎市では、地域の課題はできるだけ身近な区役所で解決することができるよう、区役所改革を推進しています。新たな総合計画（今後10年程度）で、区民に身近な区役所の役割として、力を入れるべき施策は何であると考えますか。（あてはまるものすべてに○）

図 3 1 - 1 新たな総合計画で力を入れるべき施策



「新たな総合計画で力を入れるべき施策」について聞いたところ、「災害時の対応などの危機管理」（55.7%）が最も高い結果となり、次いで「防犯対策」（50.3%）、「高齢者のための施策（地域包括ケアの推進）」（40.8%）の順となった。

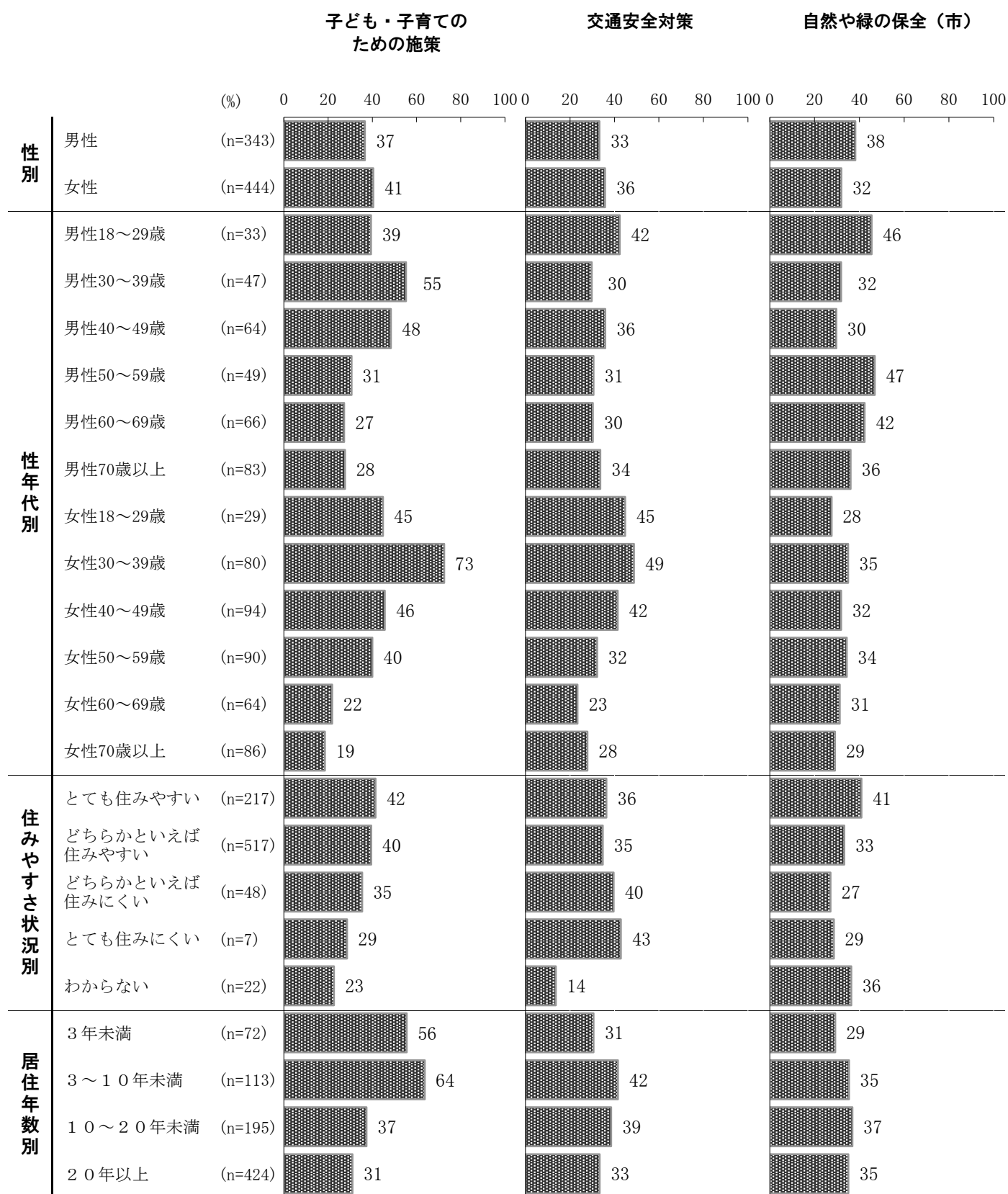
図 3 1 - 2 新たな総合計画で力を入れるべき施策 ①
 <上位 9 項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住年数別)



「災害時の対応などの危機管理」では、女性の方が男性よりも9ポイント高く、性年代別では男性60～69歳と女性40～69歳で60%を超える高い結果となった。

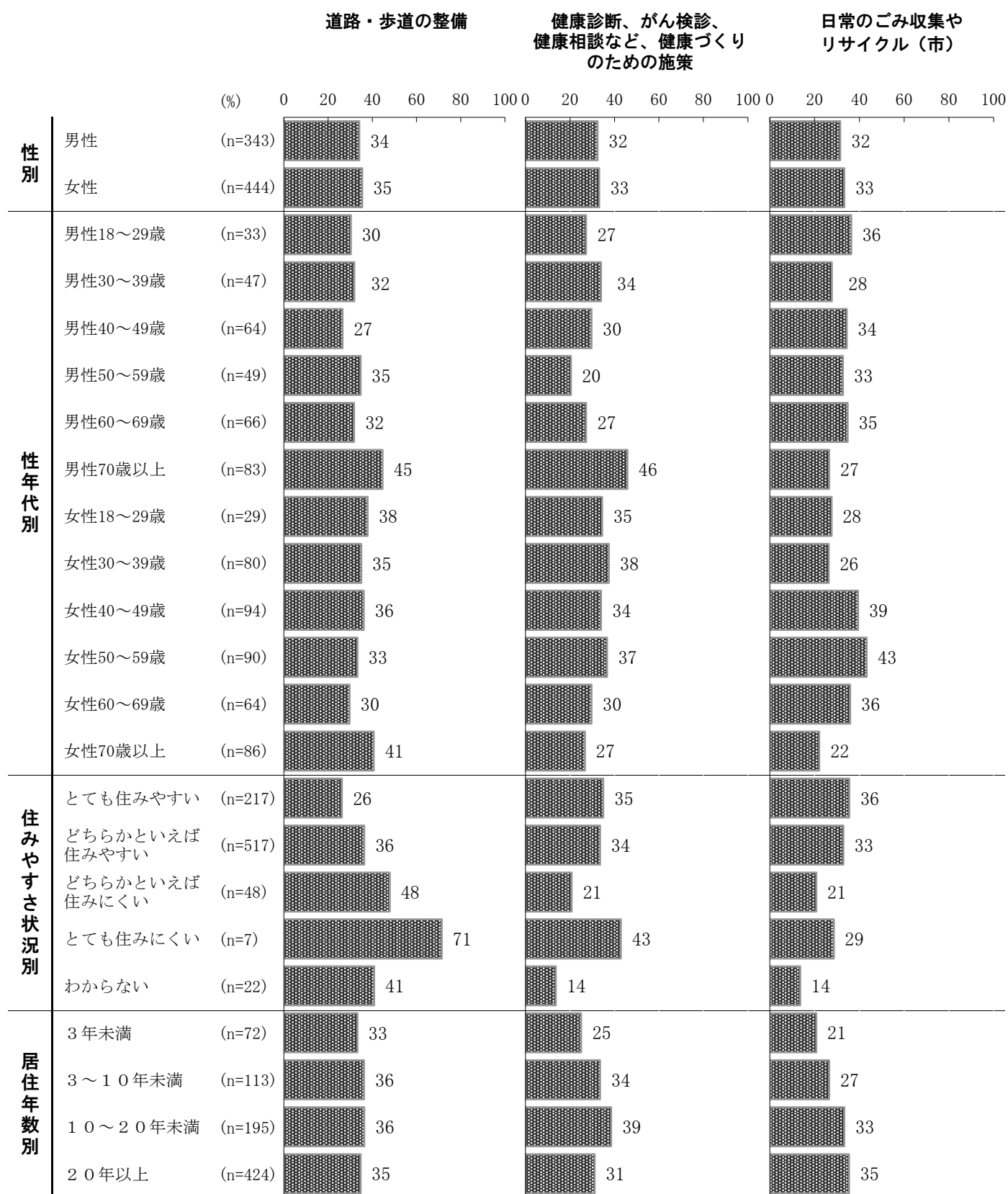
「高齢者のための施策（地域包括ケアの推進）」では、男女ともに年代が上昇するにつれ高い傾向となり、特に女性の60～69歳と70歳以上で50%を超える結果となった。また居住年数別でも居住年数が上昇するにつれ、高い傾向が見られる結果となった。

図 3 1 - 3 新たな総合計画で力を入れるべき施策 ②
 <上位 9 項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住年数別)



「子ども・子育てのための施策」では、女性30～39歳が73%で最も高く、同じく男性の30～39歳でも55%と半数を超える結果となり、他性年代より高い結果となった。また居住年数別でも3～10年未満が64%で最も高く、次いで3年未満が56%となった。

図 3 1 - 4 新たな総合計画で力を入れるべき施策 ③
 <上位 9 項目> (性別・性年代別・住みやすさ状況別・居住年数別)



「道路・歩道の整備」では、住みやすさ状況別で「住みにくい」が71%で最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が46%と定住意向が段階的に差が出る結果となった。

「日常のごみ収集やリサイクル(市)」では、微増ながら居住年数別で年数が上昇するにつれ高い結果となった。

IV. 調查票

多摩区区民意識アンケート調査へのご協力について（お願い）

日頃から、多摩区の行政に御理解、御協力をいただき、本当にありがとうございます。

多摩区役所では、区民の皆様が普段多摩区について感じていることや、地域でのボランティア活動などに関する意識などについてお聞きし、今後の取組の基礎資料とすることを目的として、区民意識アンケートを実施することといたしました。

今回の調査にあたり、調査対象者として、多摩区内にお住まいの2,000人の皆様を、満18歳以上の方から統計的な方法（外国人を含む住民基本台帳から無作為抽出）で選ばせていただきました。お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

- ◆ この調査は、行政上の基礎資料として活用します。他の目的に使用することは決してありません。
- ◆ この調査は無記名調査です。あなたのお名前や御住所を書いていただく必要はありません。
- ◆ この調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの調査内容や皆様の個人情報が入り漏れることは一切ありません。

◎あて名の御本人がアンケートにお答えください。

◎お答えは、当てはまる答えの番号を○で囲んでいただくか、番号を御記入いただきます。

○の数は、各問の指示に従ってください。「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的にその内容を御記入ください。

◎各問のお答えについては、あなたが日頃感じていることをありのままにお答えください。

◎御記入いただいたアンケートは、**10月31日（金）**までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

◎アンケートの結果は、市政日より多摩区版、多摩区のホームページなどでお知らせいたします。

平成26年10月

多摩区長 池田健児

- ◆ 本調査について、御不明な点がございましたら、調査担当課までお問い合わせください。
なお、区のホームページにもお知らせを掲載しています。

<http://www.city.kawasaki.jp/tama/>

調査担当課 多摩区役所まちづくり推進部企画課
〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775番地1
電話 : 044-935-3147
FAX : 044-935-3391
メール : 71kikaku@city.kawasaki.jp

■ 生活環境の満足度について

あなたがお住まいの多摩区について、普段感じていることなどについてお伺いします。

問1 あなたが多摩区の長所・魅力と思っているものは何ですか。（いくつでも○）

1. 公共交通の利便性がよい
2. 買い物や銀行、病院など日常生活の利便性がよい
3. 教育・文化環境がよい
4. 住環境がよい
5. 治安や風紀がよい
6. 自然環境がよい
7. その他（ ）

問2 あなたにとって多摩区はどの程度住みやすいですか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. とても住みやすい | 4. とても住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問3 あなたは多摩区に住み続けたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 多摩区内に住み続けたい | —————▶ 次ページ問4へ |
| 2. 多摩区以外の川崎市内に住みたい | —————▶ 問3-1へ |
| 3. 川崎市外に転居したい | —————▶ 問3-1へ |
| 4. わからない | —————▶ 次ページ問4へ |

【問3で「2. 多摩区以外の川崎市内に住みたい」「3. 川崎市外に転居したい」のいずれかに答えた方にお伺いします。】

問3-1 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 通勤・通学が不便だから | 5. 医療環境がよくないから |
| 2. 買い物が不便だから | 6. 保育環境がよくないから |
| 3. 住宅事情がよくないから
（家賃が高い、家が狭いなど） | 7. 介護環境がよくないから |
| 4. 住環境がよくないから
（日照、騒音、治安など） | 8. 子どもの教育のため |
| | 9. その他（ ） |

【全員の方へ】

問 4 多摩区の生活環境についてお伺いします。次にあげる項目についてどの程度満足していますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	満足している	まあ満足している	少し不満である	不満である	わからない
回 答 例	1	②	3	4	5
(ア) 地震・火災・風水害などの災害に対する安心感	1	2	3	4	5
(イ) 風紀上・防犯上の安心感	1	2	3	4	5
(ウ) 交通事故・危険物からの安心感	1	2	3	4	5
(エ) 空気や自然のきれいさ	1	2	3	4	5
(オ) 家の周りの静けさ	1	2	3	4	5
(カ) 公園や緑の豊かさ	1	2	3	4	5
(キ) 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5
(ク) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(ケ) 病院や医院までの距離	1	2	3	4	5
(コ) 休日、夜間などの救急医療体制の充実度	1	2	3	4	5
(サ) 市民館、図書館、スポーツ施設などへの距離	1	2	3	4	5
(シ) 市や区の窓口サービス	1	2	3	4	5

問5 市政について総合的に伺います。次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

問6 また、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答例	問5 よくやっている と思うもの ↓	問6 今後特に力を入 れてほしいもの ↓
1. 海外姉妹都市との国際交流事業	1	1	1
2. 行財政改革	2	2	2
3. 市や区の仕事などについての情報提供	3	3	3
4. 市政への市民参加の促進のための施策	4	4	4
5. 地域の問題が解決できるような区役所機能の強化	5	5	5
6. 防犯対策	6	6	6
7. 交通安全対策	7	7	7
8. 美術館、各種ホールなど文化施設の整備	8	8	8
9. 映画祭、国際会議など文化的な催しや活動	9	9	9
10. 女性の地位向上のための施策	10	10	10
11. 中小企業などで働く人々の生活と権利を守る施策	11	11	11
12. 観光推進、シティーセールス（都市イメージの向上）	12	12	12
13. 道路、公園、広場の美化・清掃	13	13	13
14. 公園の整備や維持管理	14	14	14
15. 自然や緑の保全	15	15	15
16. 大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	16	16	16
17. 日常のごみ収集やリサイクル	17	17	17
18. 子どものための施策	18	18	18
19. 高齢者のための施策	19	19	19
20. 障がい者のための施策	20	20	20
21. 病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	21	21	21
22. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための施策	22	22	22
23. 市営住宅の建設・整備	23	23	23
24. 主要な駅周辺の再開発	24	24	24
25. 河川の整備	25	25	25
26. 下水道の整備	26	26	26
27. 道路・歩道の整備	27	27	27
28. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策	28	28	28
29. 市民が親しむことのできる港湾の整備	29	29	29
30. 水道水の安定供給	30	30	30
31. バスなどの交通網の整備	31	31	31
32. 消防力の強化や防災体制の整備	32	32	32
33. 市民が学習する機会や施設の整備	33	33	33
34. スポーツ・レクリエーションの施設整備	34	34	34
35. 小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	35	35	35
36. わからない	36	36	36
37. 特にない	37	37	37

問7 川崎市が進めている施策や事業を総合的に見た場合、どの程度満足していますか。（○は1つだけ）

1. 満足している	3. 少し不満である	5. わからない
2. まあ満足している	4. 不満である	

■ 市政への参加、地域でのボランティア活動などについて

川崎市では、「誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり」を基本戦略の1つとして、地域の多様な人材や資源を活かし、市民の参加や協働による暮らしやすい地域社会づくりを進めています。

今後も、町内会・自治会活動の活性化を促進するとともに、NPOや地域の活動団体などの多様な主体の連携・協働により、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化を進め、より豊かで成熟した市民社会の形成を図っていきます。

町内会・自治会や市民活動団体での取組など、皆様の地域でのボランティア活動などへの参加状況や考え方についてお伺いします。

問8 あなたは、地域のボランティア活動、サークル活動などを行っていますか。
(○は1つだけ)

- 1. 活動を行っている —————▶ 問8-1へ
- 2. 活動は行っていない —————▶ 次ページ問8-2へ

【問8で「1. 活動を行っている」と答えた方にお伺いします。】

問8-1 あなたが地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 町内会・自治会に関する活動
- 2. 子育てや教育に関する活動
- 3. 地域のまちづくりに関する活動
- 4. 防犯・防火に関する活動
- 5. 交通安全に関する活動
- 6. 福祉や健康増進に関する活動
- 7. 街の美化や緑化、生活環境に関する活動
- 8. 文化、観光、産業振興に関する活動
- 9. スポーツ振興に関する活動
- 10. 趣味や余暇をいかした活動
- 11. 環境保全に関する活動
- 12. その他（）

【前ページ問8で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】

問8-2 あなたが地域でのボランティア活動などを行っていない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わないため
2. 地域で活動するきっかけがないため
3. 地域での活動に関心がないため
4. 地域での付き合いがわずらわしいため
5. 地域での活動に参加する体力がないため
6. その他 ()

【引き続き、前ページ問8で「2. 活動は行っていない」と答えた方にお伺いします。】

問8-3 地域でのボランティア活動などを行うとした場合、どのようなかたちで地域で活動をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の住んでいる地域で貢献できる活動をしたい
2. 市民館などの公共施設で生涯学習に関する活動に取り組みたい
3. 区役所が市民と協働で取り組む事業に参加したい
4. その他 ()
5. 地域でのボランティア活動などには参加したくない

【全員の方へ】

問9 あなたは、町内会・自治会に加入していますか。(○は1つだけ)

1. 加入している —————▶ 次ページ問10へ
2. 加入していない —————▶ 問9-1へ

【問9で「2. 加入していない」と答えた方にお伺いします。】

問9-1 あなたが町内会・自治会に加入していない理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 加入するきっかけがない
2. 加入しなくても日常生活に支障がない
3. 仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない
4. 加入の仕方がわからない
5. 会費の支払いに負担を感じる
6. いろいろな役をやるのが負担を感じる
7. 町内会・自治会の地域活動に関心がない
8. 隣近所とのつきあいがわずらわしい
9. 町内会・自治会以外で地域活動を行っている
10. その他 ()
11. 特になし

【全員の方へ】

問10 区民（NPOや市民活動団体などを含む）と行政が協働して取り組んだほうが効果的だと思うものは何ですか。次の中から**3つ以内**で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。（番号は3つまで）

1. 防犯対策
2. 交通安全対策
3. 文化・芸術活動の振興
4. 商業の振興
5. 観光推進、シティーセールス（区のイメージ向上）
6. 道路、公園、広場の美化・清掃
7. 公園の活用や維持管理
8. 自然や緑の保全
9. ごみの分別やリサイクル
10. 子どものための施策
11. 高齢者のための施策
12. 障がい者のための施策
13. 健康づくりのための施策
14. 放置自転車対策
15. 消防力の強化や防災対策
16. 市民が学習する機会の増加や内容の充実
17. スポーツ・レクリエーションの促進
18. シニア世代の積極的な社会活動の促進
19. 若者の積極的な社会活動の促進
20. 温暖化防止に関する施策（緑のカーテンや節電など）
21. 近隣住民同士のコミュニティ活性化
22. 市民活動団体の活動の促進
23. その他（
24. わからない
25. 特になし

下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。

問11 あなたは今後、地域での活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

1. ぜひ参加したい
2. きっかけや時間があれば参加してみたい
3. 活動内容を知る機会があれば、参加するかどうか考えてみたい
4. その他（
5. 参加したくない

■ 区役所が推進する主な取組について

たまっ子（多摩区の子どもたち）を区民みんなで育てるまちづくりに
ついてお伺いします。

問12 子育てにやさしい地域づくりのために、区役所が地域とともに協力して進める取組として、より充実した方がよいものは何だと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子育て中の保護者同士が交流できる機会の提供
2. 保護者が子育ての知識やスキルを身につけられる機会の提供
3. 子育てに関して相談できる機会の提供
4. 父親の育児参加促進の取組
5. 家事育児サポートの充実
6. 子どもたちが思いきり身体を動かして遊べる場の提供
7. 子どもたちが自然と触れ合う機会の提供
8. 子どもが地域の人々と交流をする機会の提供
9. 子どもや親子の安全を守るための活動（パトロール、訪問など）
10. 子育てを温かく見守る地域の理解を促す取組
11. 障がい等のある子どもや親子のサポート・相談の機会の提供
12. 障がい等の正しい知識や地域の理解を促す取組
13. 子育て支援を担うための人材育成
14. 地域の子育て支援活動の支援・ネットワークづくり
15. その他（ ）

災害に強く安全で安心できるまちづくりについてお伺いします。

問13 あなたは、この1年の間に、災害発生への備えとして、具体的に取り組んだことがありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. ある —————→ 問13-1へ | 2. ない —————→ 次ページ問14へ |
| | 3. わからない —————→ 次ページ問14へ |

【問13で「1. ある」と答えた方にお伺いします。】

問13-1 具体的に取り組んだことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 家族などでの話し合い | 7. 地域の防災訓練に参加した |
| 2. 避難の場所、方法について確認した | 8. 地域の危険箇所について確認した |
| 3. 食料・飲料水を備蓄した | 9. 過去に起きた地域の災害について確認した |
| 4. 非常持ち出し品を用意した | 10. 過去に起きた他の地域の災害について確認した |
| 5. 家族や親族との連絡手段について確認した | 11. その他（ ） |
| 6. 家屋の安全について点検した | |

【全員の方へ】

問14 あなたが、防犯に関して、身近な問題として特に気になっているものは何ですか。
次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。
(番号は3つまで)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 住宅や店舗への侵入窃盗 | 11. 悪徳商法 |
| 2. ひったくり | 12. 放火 |
| 3. 不審者の出没 | 13. 繁華街の客引き |
| 4. 自転車の盗難 | 14. 売春、買春行為 |
| 5. 車上荒らし | 15. 違法薬物、危険ドラッグの取引 |
| 6. 子どもを狙った犯罪 | 16. 青少年の非行 |
| 7. 器物損壊 | 17. ゴミの不法投棄 |
| 8. 暴走自転車 | 18. 空き地や空き家の荒廃 |
| 9. 落書き | 19. その他 () |
| 10. 振り込め詐欺 | 20. 特にない |

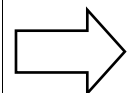
下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。



問15 あなたが、交通安全に関して、身近な問題として気になっているものは何ですか。
次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。
(番号は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 歩道が歩きにくい(幅が狭い、段差が多い、障害物が多い等) |
| 2. 規則やマナーを守らない歩行者や自転車が多い |
| 3. 自転車が歩道を通り危ない |
| 4. 乱暴な運転の人が多い(自動車、バイク) |
| 5. 歩道の少ない道路が多い |
| 6. 街灯が少ない |
| 7. 住宅地を通過する車が多い |
| 8. 横断歩道が少ない |
| 9. 見えにくい場所に設置してある標識がある |
| 10. 歩行者用信号機が少ない |
| 11. その他 () |
| 12. 特にない |

下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。



地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりについてお伺いします。

問16 地域の魅力を活かしたイベントなどのうち、あなたが参加したことがある、または知っているイベントはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 生田緑地サマーミュージアム | 16. 多摩区スポーツフェスタ |
| 2. 生田緑地ばら苑一般開放（春・秋） | 17. 多摩区文化祭 |
| 3. 生田緑地★星空コンサート | 18. 多摩区民祭 |
| 4. エコカップいかだくんだり | 19. たまたま子育てまつり |
| 5. 川崎国際生田緑地ゴルフ場一般開放
「川国で遊ぼう」 | 20. 多摩ふれあいまつり |
| 6. 川崎市緑化センターまつり | 21. たま寄席 |
| 7. 川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカ
しんゆり」 | 22. 灯籠流し（二ヶ領用水宿河原掘） |
| 8. 桜まつり（二ヶ領用水） | 23. 長尾の里あじさいまつり |
| 9. 春秋苑還燈会 | 24. 長沢にこにこハーモニー（長沢音楽祭） |
| 10. 菅の獅子舞 | 25. 中野島音楽祭 |
| 11. たまアトリウムコンサート（年4回） | 26. 日本民家園まつり |
| 12. たま音楽祭 | 27. 登戸はしご酒 |
| 13. 多摩川夕涼みコンサート | 28. 武州稲毛七福神めぐり |
| 14. 多摩区健康フェスタ | 29. 民家園通り商店会夏まつり |
| 15. 多摩区3大学コンサート | 30. よみうりランドジュエルミネーション |
| | 31. その他（ ） |
| | 32. 特にない → 次ページ問18へ |

問17 上の問16で○をつけたあなたが参加した（知っている）イベントは何を見て知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 多摩区観光ガイドブック「はなもす」 |
| 2. 多摩区ガイドマップ |
| 3. 市政だより |
| 4. 多摩区観光協会のホームページ（多摩区みどころガイド） |
| 5. 市・区のホームページ |
| 6. 主催者が開設しているホームページ |
| 7. ツイッターやフェイスブック等のSNS |
| 8. 町内会・自治会の回覧板 |
| 9. 新聞記事 |
| 10. 地域情報紙（タウンニュースなど） |
| 11. クチコミ（知り合いから） |
| 12. 区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類 |
| 13. その他（ ） |
| 14. わからない |

スポーツと地域福祉・健康のまちづくりについてお伺いします。

問18 あなたは、趣味や健康づくりとして、日頃からスポーツを行っていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 行っている | ————→ 問18-1へ |
| 2. 行っていない | ————→ 問19へ |

【問18で「1. 行っている」と答えた方にお伺いします。】

問18-1 あなたが行っているスポーツは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. ウォーキング、散歩 | 10. 野球、ソフトボール |
| 2. ランニング、ジョギング | 11. サッカー、フットサル |
| 3. ハイキング、トレッキング、登山 | 12. テニス |
| 4. サイクリング、自転車競技 | 13. ゴルフ (パークゴルフ、グラウンドゴルフ、ゲートボールを含む) |
| 5. 室内トレーニング (ダンベル・チューブなどの器具を使う運動) | 14. 卓球 |
| 6. 体操 (ラジオ体操、親子体操、エアロビクスなど) | 15. ボウリング |
| 7. ヨガ、ピラティス、気功、太極拳 | 16. その他球技 |
| 8. ダンス (フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンスなど) | 17. スキー、スノーボード |
| 9. 水泳 (水中歩行、アクアビクスを含む) | 18. 武道 (柔道、剣道、空手など) |
| | 19. その他 () |

【全員の方へ】

問19 多摩区では、健康づくりや仲間づくりを目的に、身近な地域で「みんなの公園体操」・「いきいき体操」・「健康ウオーク」などが行われています。
これらの活動に参加したことがありますか、また参加したいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 参加したことがある |
| 2. 参加したことはないが、ぜひ参加してみたい |
| 3. 参加したことはないが、きっかけや時間があれば参加してみたい |
| 4. 参加したことはないし、参加したくない |
| 5. わからない |

問20 多摩区役所では、増加する認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るために、認知症サポーター養成講座を行っています。
この講座を受講したことがありますか、また、受講したいと思いますか。
(○は1つだけ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 受講したことがある |
| 2. 受講したことはないが、ぜひ受講してみたい |
| 3. 受講したことはないが、きっかけや時間があれば受講してみたい |
| 4. 受講したことはないし、受講したくない |
| 5. わからない |

問21 多摩区には、専修、明治、日本女子の3つの大学が立地しています。
これまで、さまざまな取組を通して、大学の持つ知的資源や多彩な人材を活用し、
大学と地域社会との交流連携を深めてきました。
あなたは、大学が関連したイベントなどに参加したことがありますか、もしくは
知っていますか。（○は1つだけ）

1. 参加したことがある → 問21-1へ
2. 参加したことはないが知っている → 問21-1へ
3. 知らない → 次ページ問22へ

問21-1 参加もしくは知っているイベントは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 114 -

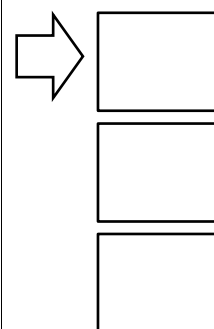
■ 10年後の多摩区のイメージについて

10年後の多摩区のイメージについてお伺いします。

問22 川崎市では、現在、これから本市がめざす方向について、総合的なビジョンと目標を示す新たな総合計画の策定に向けた取組を進めています。今後10年程度で、多摩区はどのようなまちを目指すべきだと考えますか。あなたのイメージに近いものを、次の中から3つ以内で番号をお選びいただき、右の枠内に番号を御記入ください。
(番号は3つまで)

1. 防災、防犯などが進み、安全で安心な暮らしのできるまち
2. 障がいのある方がいきいきと暮らせるまち
3. 高齢者が身近な地域で住み続けられるまち
4. 子育てがしやすく、子どもが健やかに成長できるまち
5. 省エネルギーやリサイクルなど、地球環境配慮の取組が進んだまち
6. 豊かな自然が守られ、水や緑で潤いの感じられるまち
7. 観光・文化施設などに多くの人を訪れ、活力と賑わいのあるまち
8. スポーツに触れる機会が多く、健康で元気に生活できるまち
9. 身近な地域のつながりを活かし、絆と思いやりにあふれるまち
10. ボランティア活動が活発で、行政への参加や協働が進んでいるまち

下の枠内に番号を
1つずつ、3つまで
記入してください。



問23 川崎市では、地域の課題はできるだけ身近な区役所で解決することができるよう、区役所改革を推進しています。新たな総合計画（今後10年程度）で、区民に身近な区役所の役割として、力を入れるべき施策は何であると考えますか。
(あてはまるものすべてに○)

※項目の後ろに（市）とあるものは、現時点で主に本庁部署を中心として進めているもの

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 区役所の業務などについての広報、
情報提供 | 16. 大気汚染や騒音・振動などの対策（市） |
| 2. 区政への市民参加の促進のための施策 | 17. 日常のごみ収集やリサイクル（市） |
| 3. 町内会・自治会、市民活動の支援に
関する施策 | 18. 子ども・子育てのための施策 |
| 4. 災害時の対応などの危機管理 | 19. 高齢者のための施策（地域包括ケアの推進） |
| 5. 防犯対策 | 20. 障がい児・者のための施策 |
| 6. 交通安全対策 | 21. 健康診断、がん検診、健康相談など、健康
づくりのための施策 |
| 7. 音楽など芸術・文化的な催しや活動 | 22. 主要な駅周辺の再開発（市） |
| 8. 商店街振興（市） | 23. 道路・歩道の整備 |
| 9. 観光推進 | 24. 放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策 |
| 10. 区のイメージの向上 | 25. コミュニティバスなどの地域交通のための
施策（市） |
| 11. 窓口サービスの向上 | 26. 区民が学習する機会の提供 |
| 12. 道路の美化・清掃 | 27. スポーツ・レクリエーションの推進 |
| 13. 公園の整備や維持管理 | 28. わからない |
| 14. 自然や緑の保全（市） | 29. 特にない |
| 15. 地球温暖化対策 | |

■ あなた自身のことについて

このアンケートの統計分析に必要なため、次の項目についてお伺いします。

問24 あなたの性別をお聞かせください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問25 あなたの年齢をお聞かせください。（○は1つだけ）

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 5. 40～44歳 | 9. 60～64歳 |
| 2. 25～29歳 | 6. 45～49歳 | 10. 65～69歳 |
| 3. 30～34歳 | 7. 50～54歳 | 11. 70～74歳 |
| 4. 35～39歳 | 8. 55～59歳 | 12. 75歳以上 |

問26 あなたの現在の職業をお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 自営業
2. 家族従業（家業手伝い）
3. 勤め（全日）
4. 勤め（パートタイム）

→ 問26-1へ

5. 内職
6. 主婦・主夫（家事専業）
7. 学生
8. 無職（収入が年金のみの方を含む）
9. その他（ ）

→ 次ページ問27へ

【問26で「1. 自営業」「2. 家族従業（家業手伝い）」「3. 勤め（全日）」「4. 勤め（パートタイム）」のいずれかに答えた方にお伺いします。】

問26-1 お仕事の内容を具体的にお聞かせください。（○は1つだけ）

自営業、家族従業の方
（1～3の中からお選びください）

1. 農林漁業
2. 商工サービス業
3. 自由業

勤め（全日／パートタイム）の方
（4～8の中からお選びください）

4. 経営・管理職
5. 専門・技術職
6. 事務職
7. 技能・労務職
8. 販売・サービス職

【全員の方へ】

問27 お勤め先あるいは通学先はどちらですか。（○は1つだけ）

1. 川崎市内（多摩区）	5. 東京都（23区内）
2. 川崎市内（多摩区以外）	6. 東京都（23区以外）
3. 横浜市	7. その他（ ）
4. 神奈川県内（川崎市・横浜市以外）	8. 通勤・通学していない

問28 あなたのお住まいをお聞かせください。（○は1つだけ）

1. 生田1～3丁目	10. 菅1～6丁目	19. 東三田2丁目
2. 生田4～8丁目	11. 堰1～3丁目	20. 布田
3. 宿河原1～7丁目	12. 中野島	21. 枅形1～7丁目
4. 菅稲田堤1～3丁目	13. 中野島1～6丁目	22. 栗谷1～4丁目
5. 菅北浦1～5丁目	14. 長尾1～7丁目	23. 寺尾台1～2丁目
6. 菅城下	15. 登戸	24. 長沢1～4丁目
7. 菅仙谷1～4丁目	16. 登戸新町	25. 西生田1～5丁目
8. 菅野戸呂	17. 東生田1～4丁目	26. 三田1～5丁目
9. 菅馬場1～4丁目	18. 東三田1、3丁目	27. 南生田1～8丁目

問29 あなたのお住まい（住居）は次のどれにあたりますか。（○は1つだけ）

1. 持ち家（一戸建て）	5. 借家（アパート・間借・下宿）
2. 持ち家（マンション・団地）	6. 社宅・寮・公務員社宅
3. 借家（一戸建て）	7. その他（ ）
4. 借家（マンション・団地・公営住宅）	

問30 あなたの世帯は何人家族ですか。御自分を含めた人数を（ ）内に御記入ください。
また、ひとり暮らし以外の方は、同居している家族すべてに○をつけてください。
あなたからみた続柄でお答えください。

あなたの世帯の人数（御自分を含む）・・・（ ）人		
同居家族 （ひとり暮らし以外の方）	1. 夫	7. 兄弟、姉妹
	2. 妻	8. 孫
	3. 父	9. 父母の親（祖父母）
	4. 母	10. 配偶者の兄弟、姉妹
	5. 子ども	11. 配偶者の父母の親
	6. 配偶者の父母	12. その他（ ）

問31 お子さんをお持ちの方にお伺いします。どの年代のお子さんがいらっしゃいますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------|--------|-----------------|
| 1. 就学前 | 3. 中学生 | 5. 大学生 |
| 2. 小学生 | 4. 高校生 | 6. この年代の子どもはいない |

問32 普段最寄り駅までどのような交通手段をご利用になりますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 3. バイク (原付含む) | 5. 自動車 (送迎含む) |
| 2. 自転車 | 4. バス | |

問33 あなたは多摩区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 3年未満 | 3. 10～20年未満 |
| 2. 3～10年未満 | 4. 20年以上 |

問34 多摩区役所からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 市政だより |
| 2. 区(市)のホームページ |
| 3. 町内会・自治会の回覧板 |
| 4. 地域の掲示板 |
| 5. 新聞記事 |
| 6. 地域情報紙(タウンニュースなど) |
| 7. 区役所等公共施設に設置されたポスター・パンフレット類 |
| 8. 区役所から送られるお知らせ文書 |
| 9. その他 () |
| 10. 特に多摩区役所からのお知らせや情報は入手していない |

以上でアンケートは終了です。
御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**10月31日(金)**までに御投函ください。

平成 2 7 年 3 月発行

平成26年度 多摩区区民意識アンケート調査 報告書

調査主体 川崎市多摩区役所 まちづくり推進部 企画課
〒214-8570
神奈川県川崎市多摩区登戸 1 7 7 5 - 1
電話 : 044-935-3140

調査実施 株式会社 綜 合 企 画
〒111-0053
東京都台東区浅草橋 1 丁目 7 番 2 号 岩崎ビル 4 階
電話 : 03-5829-6203

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
再生紙を使用しています。



KAWASAKI CITY

川崎市